

消 防 年 報

令 和 2 年 度 版



香 川 県

三親広域行政組合消防本部

令和3年刊行

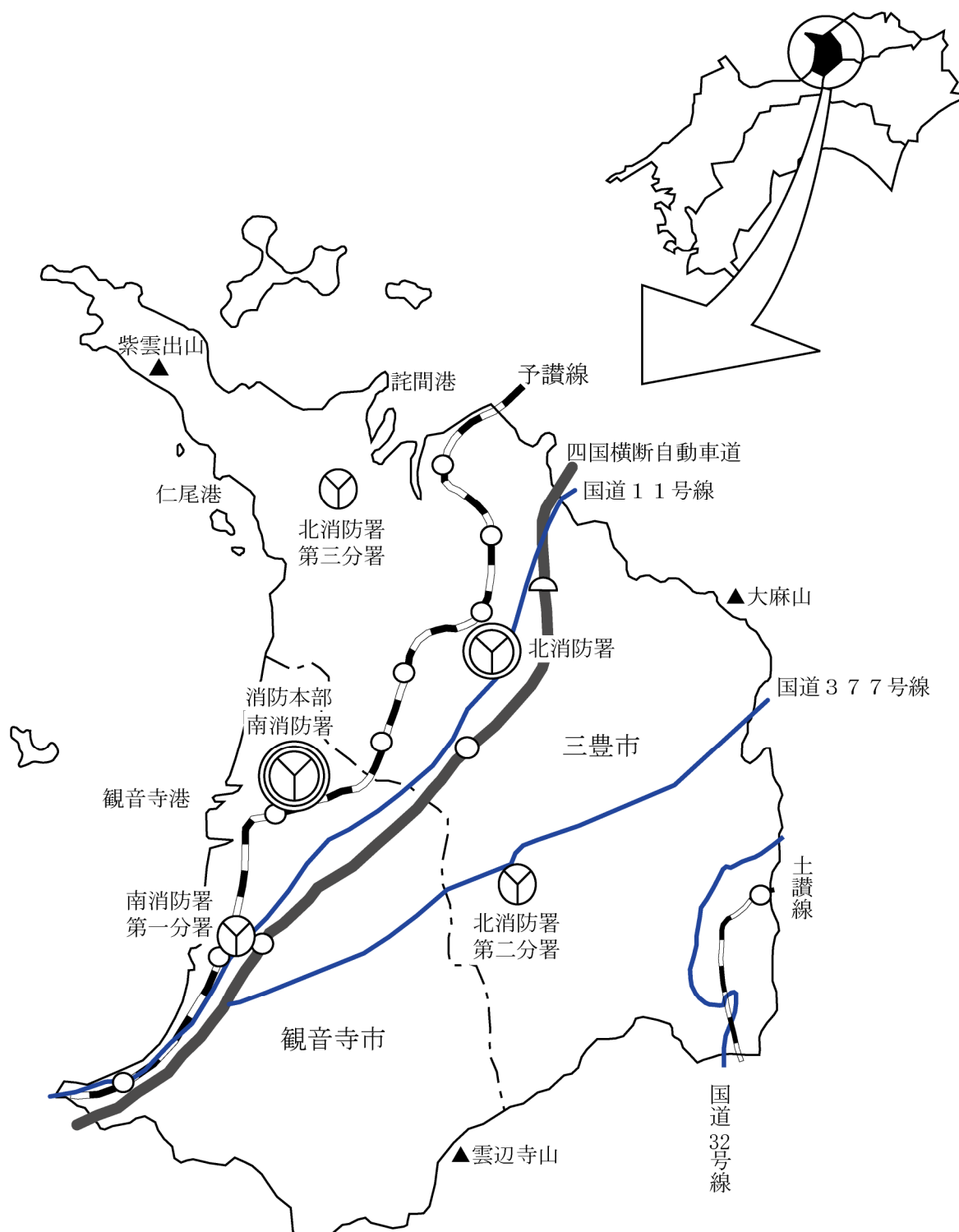
は　じ　め　に

この年報は、三観広域行政組合消防行政をひろく一般に紹介するとともに近年ますます複雑多様化する災害に対処するための資料として、本広域消防の現勢及び令和２年中の消防業務の内容、火災、救急統計等を収録編さんしたものであります。

三観広域行政組合消防本部

三観広域の位置及び管内図

三観広域行政組合は香川県の西端に位置し、総面積は約 340 km²、人口は約 **123,000** 人で、県全域面積の約 18%、人口では約 13%を占めています。圏域の西は燧灘に、北は備讃瀬戸に面し、東は大麻山（616.3m）系を境に中讃広域圏に接し、南は讃岐山脈を境に徳島県と愛媛県に接しています。そしてこれらの山系と、北西部で瀬戸内海に突出した荘内半島（紫雲出山 352.4m）に連なる七宝山系（最高 444.2m）に囲まれるようにして、中央部に三豊平野が広がっています。また気候は温暖で、山紫水明の恵まれた自然環境に包まれています。



三観広域行政組合消防本部の沿革

昭和44年	8月 1日	広域市町村圏設定の認可
昭和44年	8月12日	三豊地区広域市町村圏振興協議会の設立
昭和46年	3月20日	一部事務組合規約の許可
昭和46年	3月22日	三豊地区広域市町村圏振興事務組合の設立
昭和47年	3月14日	組合規約変更（消防事務加入）許可（昭和47年4月1日施行）
昭和47年	4月 1日	消防本部、南消防署設置 観音寺市消防職員35名派遣〈職員定数92名〉 消防本部業務全域開始（9名）南消防署観音寺市域業務開始（26名） （消防ポンプ車5台 救急車1台 指令車1台配置）
昭和47年	4月15日	政令指定告示（昭和48年4月1日効力発生）
昭和47年	9月 1日	三豊広域消防連絡協議会設置
昭和47年12月	1日	北消防署設置 業務開始（16名）（消防ポンプ車1台 救急車1台配置）
昭和47年12月	1日	消防本部と1市9町消防団との協定
昭和48年	4月 1日	南署第一分署、第二分署及び北署第三分署仁尾分駐所設置（消防本部2名増員、南署1名増員、南署第一分署15名、第二分署15名、北署2名増員、第三分署20名の配置）〈職員定数108名〉 （南署第一分署、第二分署、北署第三分署にそれぞれ消防ポンプ車1台、救急車1台を配置）
昭和48年	4月 1日	三豊広域全域消防業務開始 本部消防救急指令装置設置
昭和49年	4月 1日	〈職員定数117名〉
昭和50年	3月31日	本部指令車1台及び広報車1台配置 本部指令車1台北署へ配置替
昭和50年	4月 1日	〈職員定数122名〉
昭和51年	3月28日	県共済農協連より救急自動車1台寄贈（共済号） 南署配置
昭和51年	3月31日	本部消防救急無線指令装置附加設置
昭和51年	4月 1日	〈職員定数127名〉
昭和51年	9月14日	水槽付消防ポンプ車1台日本損保協会より寄贈 北署へ配置
昭和51年10月21日		はしご付消防ポンプ車（24m級）1台南署へ配置 消防ポンプ車1台北署へ配置
昭和52年	4月 1日	本部に課制をしき総務課に庶務係、経理係、警防課に予防係、保安係、警防係、通信係となる。 〈職員定数134名〉
昭和52年	4月 1日	消防音楽隊（同好会）発足
昭和52年12月21日		救助工作車1台、化学車1台南署へ配置 化学車1台北署第三分署配置
昭和53年	3月16日	県共済農協連より救急車1台寄贈 北署へ配置
昭和53年	4月 1日	〈職員定数140名 発足時基本計画数充足〉
昭和54年	1月19日	消防ポンプ車1台南署へ配置 搬送車1台北署第三分署へ配置
昭和54年	1月24日	日本損保協会より救急車1台寄贈、南署へ配置
昭和54年	7月31日	査察広報車1台（更新）北署へ配置
昭和54年10月25日		搬送車南署第一分署、第二分署へ各1台配置
昭和55年	9月18日	軽四バン（査察・広報用）本部へ配置
昭和55年	9月22日	搬送車、南・北署へ各1台配置
昭和55年12月15日		屈折はしご付消防ポンプ車（15m級）北署へ配置
昭和56年	2月28日	県共済農協連より救急車1台寄贈、南署第二分署へ配置
昭和56年	3月19日	仁尾太陽博覧会々場救急業務用として救急車1台、北署第三分署仁尾分駐所へ配置

昭和57年 1月27日	軽四バン（査察用）南・北署へ各1台配置
昭和57年10月 4日	軽四バン（査察用）本部へ配置
昭和57年10月28日	軽四バン（査察・広報用）南署第一分署、第二分署、北署第三分署へ各1台配置
昭和57年10月30日	指令車本部へ配置
昭和58年11月21日	（財）日本防火協会より広報車1台寄贈（婦人防火クラブ連合会）
昭和59年 3月 6日	救急車1台（更新）南署へ配置
昭和59年 3月 9日	消防庁長官竿頭授受賞
昭和59年 3月23日	消防ポンプ車（高圧ポンプ積載）（更新）北署へ配置
昭和59年 3月28日	指令車（更新）南署へ配置
昭和59年 7月20日	テレホンサービス業務（25-5000）を10回線で開始
昭和59年12月21日	消防ポンプ車（更新）南署第一分署、第二分署、北署第三分署へ各1台配置
昭和60年 3月30日	3県境を接点とする3組合2市7町1村間において広域消防相互応援協定締結
昭和60年10月25日	林野火災工作車南署第二分署へ配置
昭和61年 9月29日	軽四査察車1台（更新）本部へ配置
昭和61年12月 1日	香川県消防相互応援協定締結（5市38町6組合）
昭和62年 4月 1日	〈職員定数148名〉
昭和62年 4月 1日	南署に特別救助隊、北署に救助隊を設置
昭和62年 9月14日	（財）日本消防協会より救急車1台寄贈
昭和62年12月 1日	香川県消防相互応援協定に基づく高速自動車道に関する覚書締結（善通寺市）
昭和62年12月 1日	広域消防相互応援協定に基づく高速自動車道に関する覚書締結（宇摩広域組合）
昭和62年12月16日	高速自動車道救急業務開始
昭和62年12月16日	高松、松山自動車道（善通寺～土居）における火災及び救急業務に関する覚書締結（宇摩広域組合、善通寺市、日本道路公団高松建設局）
昭和63年 3月 9日	消防庁長官表彰旗受賞
昭和63年 4月 1日	消防本部に予防課増設3課となる
平成 元年 2月 1日	指令車（更新）北署へ配置
平成 元年 4月27日	三豊広域防災センター開設
平成 元年 8月18日	（財）日本消防協会より指令広報車1台寄贈、本部へ配置
平成 元年 9月 3日	北署第三分署新築移転落成式
平成 元年 9月21日	日本損保協会より消防ポンプ車（BD-1）1台寄贈北署へ配置
平成 2年 9月28日	離島対策用防災車両（三輪動力運搬車）伊吹島へ配置
平成 2年10月 5日	軽四査察車（更新）南署へ配置
平成 2年10月 6日	離島対策用防災車両（軽四輪可搬ポンプ積載車）栗島へ配置
平成 2年10月31日	軽四査察広報車（更新）北署第三分署へ配置
平成 3年 2月 5日	安田生命保険相互会社より救急車1台寄贈、北署第三分署へ配置
平成 3年 3月27日	救急車（更新）北署へ配置
平成 3年 8月19日	軽四査察車1台（更新）本部へ配置
平成 3年 8月20日	（財）日本消防協会より救急車1台寄贈 南署第二分署へ配置
平成 3年 8月30日	軽四査察車（更新）南署第一分署・第二分署へ各1台配置
平成 4年 1月 3日	高速自動車道（高知自動車道）に関する覚書締結（宇摩広域組合）
	高知自動車道（川之江JCT～大豊）における火災及び救急業務等に関する覚書締結（宇摩広域組合、日本道路公団高松建設局）
平成 4年 1月22日	軽四搬送車4WD1台（更新）北署第三分署へ配置
平成 4年 3月31日	本部 消防緊急通信指令施設Ⅱ型配置
平成 4年 6月 1日	〈職員定数175名〉
平成 4年 7月28日	クレーン付搬送車 南署へ配置
平成 4年 8月24日	軽四査察車1台（更新）北署へ配置
平成 4年 8月30日	軽四搬送車4WD（更新）南署第一分署・第二分署へ各1台配置
平成 5年 2月 6日	日本自動車工業会より救急自動車1台寄贈 南署第一分署へ配置

平成 5 年 3 月 9 日	集団災害時の医師出動に係る協定締結
平成 5 年 1 2 月 9 日	消防ポンプ車（更新）南署へ配置
平成 6 年 1 月 2 0 日	香川県防災ヘリコプター派遣職員に関する協定締結 1 月 2 0 日より 1 名派遣
平成 6 年 2 月 1 日	香川県防災行政無線に関する協定締結
平成 6 年 3 月 7 日	香川県防災ヘリコプター応援協定締結
平成 6 年 4 月 1 日	警防課に救急救助係増設
平成 6 年 1 0 月 3 1 日	南消防署第一分署改築工事
平成 6 年 1 1 月 2 1 日	救助工作車（更新）南署へ配置
平成 6 年 1 2 月 2 0 日	消防ポンプ車（更新）南署へ配置
平成 7 年 9 月 9 日	救急医療情報システム運用開始（県設置）
平成 7 年 1 1 月 1 0 日	水槽付消防ポンプ自動車（更新）南署へ配置 消防ポンプ自動車（更新）北署へ配置
平成 7 年 1 2 月 2 6 日	指令車（更新）消防本部へ配置
平成 8 年 1 月 3 1 日	北消防署改修工事 南消防署第二分署改築工事
平成 8 年 3 月 1 日	テレホンサービス業務 1 0 回線増設し 2 0 回線で運用
平成 8 年 3 月 2 5 日	日本損害保険協会より高規格救急車 1 台寄贈 高度救急資機材整備積載南署へ配置
平成 8 年 1 0 月 2 3 日	はしご付消防自動車（4 0 m）（更新）南署へ配置
平成 8 年 1 2 月 2 7 日	南署一部改修工事
平成 9 年 4 月 1 日	三豊広域消防計画制定
平成 9 年 1 0 月 3 0 日	高度救助資機材整備南署へ配置
平成 9 年 1 2 月 1 2 日	消防ポンプ自動車（更新）北署第三分署へ配置
平成 9 年 1 2 月 2 4 日	高規格救急車（更新）北署へ配置
平成 1 0 年 3 月 2 5 日	軽四査察車（更新）北署第三分署へ配置
平成 1 0 年 1 1 月 1 日	携帯電話等による 1 1 9 番の受信開始
平成 1 0 年 1 2 月 8 日	消防ポンプ自動車（更新）南署第一分署・第二分署へ配置
平成 1 1 年 3 月 1 0 日	軽四査察車（更新）南署へ配置
平成 1 1 年 8 月 2 日	化学車（更新）北署第三分署へ配置
平成 1 1 年 8 月 5 日	軽四査察車（更新）南署第一分署・第二分署へ各 1 台配置
平成 1 2 年 2 月 1 日	指令車（更新）南署へ配置
平成 1 2 年 6 月 1 日	香川県防災情報システム端末装置の設置及び管理運営に関する協定締結
平成 1 2 年 1 0 月 1 2 日	軽四査察車（更新）消防本部・北署へ各 1 台配置
平成 1 2 年 1 0 月 2 7 日	広報車（更新）消防本部へ配置
平成 1 3 年 1 月 2 3 日	指令車（更新）北署へ配置
平成 1 3 年 3 月 2 9 日	香川県消防相互応援協定に基づく高速自動車道等に関する覚書締結 高松自動車道における救急業務、火災消火業務等に関する覚書締結
平成 1 3 年 6 月 1 2 日	高圧送水装置（ウィック 3 7 5）を南署第二分署（林野工作車）へ配置
平成 1 3 年 1 2 月 6 日	高規格救急車（更新）北署第三分署へ配置
平成 1 4 年 3 月 1 日	総務省消防庁よりテロ対策資機材（B セット）の貸与あり南署へ配置
平成 1 4 年 4 月 1 日	香川県消防学校派遣職員に関する協定締結 1 名派遣
平成 1 4 年 4 月 1 日	三豊地区消防連合会事務委託協定締結 受託業務開始
平成 1 4 年 1 1 月 1 日	E-mail 運用開始
平成 1 4 年 1 2 月 2 5 日	高規格救急車（更新）南署第一分署へ配置
平成 1 5 年 4 月 1 日	HP（ホームページ）開設
平成 1 5 年 4 月 1 日	香川県メディカルコントロール協議会救急活動事後検証開始
平成 1 5 年 8 月 2 0 日	指令車（更新）消防本部へ配置
平成 1 5 年 1 1 月 1 日	各課・署へ E-mail 運用開設
平成 1 5 年 1 2 月 1 日	鉄道災害時の安全対策に関する覚書締結（四国旅客鉄道株式会社）

平成15年12月24日	高規格救急車（更新）南署第二分署へ配置（高規格救急車更新整備完了）
平成16年 1月 1日	火災報告等オンライン処理システム運用
平成16年 3月30日	火災調査協力員に関する協定書締結（独立行政法人消防研究所）
平成16年 4月 1日	緊急消防援助隊 救助小隊 登録
平成16年10月 1日	指令施設連携地図等検索装置賃貸契約
平成16年12月14日	梯子車（15m級）更新 北消防署へ配置
平成17年 4月 1日	消防本部に情報指令課増設4課となる
平成17年 4月 1日	緊急消防援助隊 救急小隊 登録
平成17年10月11日	組合構成市町合併 観音寺市（観音寺市・大野原町・豊浜町）
平成17年11月 1日	携帯電話119番通報直接受信・転送等回線受付装置を指令台に併設設置
平成17年11月24日	救助工作車（Ⅱ型） 南消防署・北消防署へ配置
平成17年12月 9日	IP電話119番受信開始
平成17年12月17日	高規格救急車（更新）南消防署へ配置
平成18年 1月 1日	組合構成町7町合併 三豊市 （高瀬町・山本町・三野町・豊中町・詫間町・仁尾町・財田町）
	組合構成市町合併により、南消防署第二分署が北消防署第二分署へ名称変更。
平成18年 4月 1日	構成市町の合併により消防本部名称変更 （三豊地区広域市町村圏振興事務組合消防本部から三観広域行政組合消防本部へ）
平成18年 4月 1日	緊急消防援助隊 消火小隊・毒劇物等対応小隊 登録
平成18年 8月28日	軽四搬送車4WD（更新）南署第一分署・第二分署へ各1台配置
平成18年10月 1日	予防技術資格者認定開始
平成18年11月20日	エアーテント（SAT-453）消防本部へ配置
平成19年 1月23日	消防OAシステム（NEFOAP）運用開始
平成19年 1月23日	小型動力ポンプ付水槽車〔10t〕（更新）南消防署第一分署へ配置
平成19年 2月20日	軽四査察車（更新）消防本部へ配置
平成19年 3月19日	軽四査察車（更新）北消防署第三分署へ配置
平成20年 1月16日	消防ポンプ自動車（更新）南消防署へ配置
平成20年 1月31日	水槽付消防ポンプ自動車（更新）北消防署へ配置
平成20年11月28日	人員搬送用マイクロバス消防本部へ配置
平成20年12月 8日	はしご付消防自動車（40m）オーバーホール実施
平成21年 2月16日	高規格救急車（更新）北消防署へ配置
平成21年11月 9日	査察車（更新）消防本部へ配置
平成21年12月 1日	消防緊急通信指令施設部分改修整備（指令伝送・順次指令・音声合成装置整備）
平成22年 1月22日	電動アシストホースカーを北消防署第三分署へ配置
平成22年 2月24日	消防ポンプ自動車（更新）南消防署へ配置
平成22年 4月22日	位置情報通知システム〔統合型〕運用開始
平成23年 1月27日	消防ポンプ自動車（更新）北消防署へ配置
平成23年10月31日	南消防署第一分署耐震大規模改修工事
平成23年10月31日	北消防署第二分署耐震大規模改修工事
平成24年 2月 1日	消防OAシステム更新整備
平成24年 3月14日	高規格救急車（更新）北消防署第三分署へ配置
平成24年 3月24日	全国瞬時警防システム（J-ALERT）運用開始
平成25年 3月 1日	救助工作車（更新）北消防署へ配置
平成26年 1月31日	水槽付消防ポンプ自動車（更新）南消防署へ配置
平成26年 2月18日	軽四査察車（更新）南消防署第一分署へ配置
平成26年 2月18日	軽四査察車（更新）北消防署第三分署へ配置
平成26年 9月29日	はしご付消防自動車（15m級）オーバーホール実施
平成26年12月26日	消防本部・南消防署新庁舎建設工事（Ⅰ期）竣工
平成27年 2月 9日	消防本部・南消防署新庁舎（事務所棟）業務開始

平成27年 2月 9日	消防救急デジタル無線及び高機能消防指令センター運用開始
平成27年 2月24日	高規格救急車（更新）南消防署第一分署へ配置
平成27年 4月 1日	緊急消防援助隊 救急小隊1 隊増隊登録
平成27年 9月10日	軽四査察車（更新）消防本部・北消防署へ各1 台配置
平成27年10月 9日	広報車（更新）北消防署へ配置
平成27年11月19日	資機材搬送車（更新）南消防署へ配置
平成28年 1月 5日	指揮車（更新）南消防署へ配置
平成28年 2月23日	消防ポンプ自動車（更新）北消防署第三分署へ配置
平成28年 3月18日	消防本部・南消防署新庁舎建設工事（Ⅱ期）竣工
平成28年 3月26日	消防本部・南消防署（車庫棟・訓練塔）業務開始
平成28年 3月30日	北消防署新庁舎建設工事竣工
平成28年 4月 1日	緊急消防援助隊 指揮隊1 隊・消火小隊1 隊増隊登録
平成28年 4月27日	北消防署新庁舎業務開始
平成28年10月20日	北消防署第三分署庁舎一部改修
平成28年10月27日	はしご付消防自動車（30m級・更新）南消防署へ配置
平成28年11月24日	高規格救急車（更新）南消防署へ配置
平成29年 1月17日	高規格救急車（更新）北消防署へ配置
平成29年 4月 1日	緊急消防援助隊（その他の特殊装備小隊【梯子車】）に登録
平成29年 6月27日	査察車（更新）消防本部へ配置
平成29年10月23日	高規格救急車（更新）北消防署第二分署へ配置
平成29年12月26日	指揮車（更新）北消防署へ配置
平成30年 1月15日	資機材搬送車（更新）南消防署へ配置
平成30年 2月20日	消防ポンプ自動車（更新）北消防署第二分署へ配置
平成30年 3月 5日	三観広域防災センター一部改修
平成30年 4月 1日	緊急消防援助隊 後方支援小隊1 隊登録
平成30年11月15日	消防ポンプ自動車（更新）南消防署第一分署へ配置
平成30年11月29日	査察車（更新）南消防署へ配置
平成30年12月 6日	高規格救急自動車（更新）北消防署第三分署へ配置
平成31年 3月19日	大規模災害時における消防用水等の確保に関する協定書締結 （香川県内9消防（局）本部、香川県生コンクリート協同組合連合会）
平成31年 4月 1日	〈職員定数190名〉
令和 元年 6月 4日	はしご付き消防自動車（15m級）オーバーホール実施
令和 元年 7月 1日	119番通報等多言語電話通訳 運用開始
令和 元年 9月13日	査察車（更新）消防本部へ配置
令和 元年 9月30日	三観広域防災センター一部改修
令和 3年 1月20日	南消防署第一分署非常用発電設備設置
令和 3年 1月20日	北消防署第二分署非常用発電設備設置
令和 3年 1月20日	高規格救急自動車（更新）南消防署へ配置
令和 3年 2月25日	北消防署第三分署非常用発電設備設置
令和 3年 2月25日	北消防署第三分署重機及び重機搬送車車庫新築工事竣工
令和 3年 2月26日	軽四搬送車（更新）北消防署第三分署へ配置
令和 3年 3月 5日	重機及び重機搬送車（国有財産等の無償使用として）消防本部へ配置
令和 3年 3月12日	救助工作車（更新）南消防署へ配置
令和 3年 3月18日	化学消防ポンプ自動車（更新）北消防署へ配置

総務

三 観 消 防
SANKAN FIRE DEPT.

Call 119



■消防本部組織図

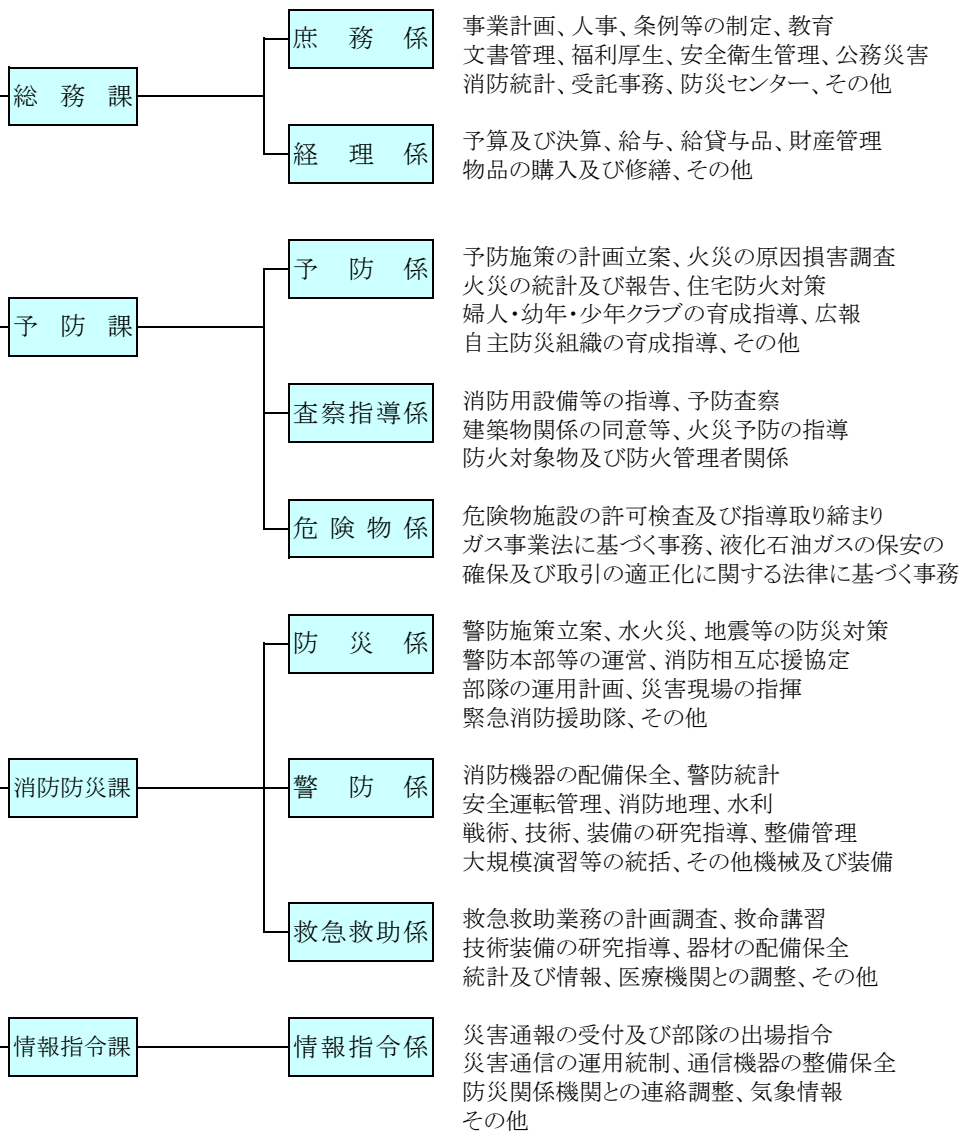
令和3年4月1日 現在

消防本部名	三観広域行政組合消防本部		
消防本部所在地	〒768－0067 香川県観音寺市坂本町一丁目1番7号		
消防本部 署所・組織図	消防長 — 消防次長 総務課（課長） — 課長補佐 — 庶務係 経理係 予防課（課長） — 課長補佐 — 予防係 査察指導係 危険物係 消防防災課（課長） — 課長補佐 — 防災係 警防係 救急救助係 情報指令課（課長） — 課長補佐 — 情報指令係 南消防署（署長） — 副署長 — 署長補佐 — 管理係 予防係 消防係 救急係 救助係 第一分署（分署長） — 予防係 消防係 救急係 北消防署（署長） — 副署長 — 署長補佐 — 管理係 予防係 消防係 救急係 救助係 第二分署（分署長） — 予防係 消防係 救急係 第三分署（分署長） — 予防係 消防係 救急係		
消防職員定員数	190人	消防職員実員数	176名
電話番号	0875－24－0119（代表） 0875－23－3970（総務課） 0875－23－3972（予防課） 0875－23－3973（消防防災課） 0875－24－0119（情報指令課） 0875－24－2119（南消防署） 0875－52－2119（南署第一分署） 0875－72－2119（北消防署） 0875－63－2119（北署第二分署） 0875－83－2119（北署第三分署）	FAX番号 0875－23－3975（代表） （情報指令課） 0875－23－3971 （総務課・予防課・消防防災課） 0875－24－2109（南消防署） 0875－56－3371（南署第一分署） 0875－56－2780（北消防署） 0875－56－7319（北署第二分署） 0875－56－5302（北署第三分署）	

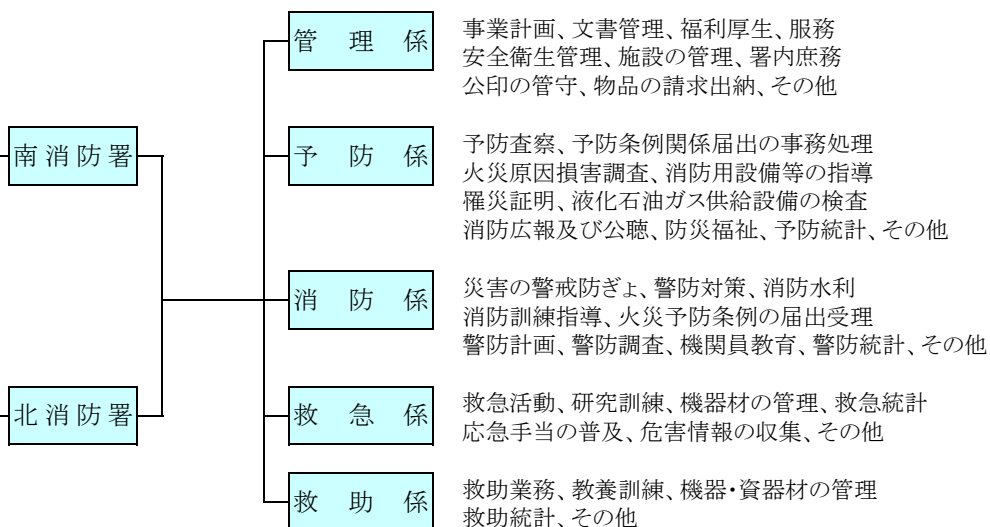
■事務分掌

消 防 本 部

消 防 長
消 防 次 長



消 防 署



■ 三観広域行政組合消防機関の名称、位置等

名 称	位 置	敷地面積(㎡)	構 造	延面積(㎡)	建築年月
三観広域行政組合消防本部	観音寺市坂本町 一丁目1番7号	市有地使用 3,159.48	鉄骨造 (制振構造) 一部免震床構造 3階建 (一部中2階)	3F消防本部 2F情報指令課 1F南消防署 3,021.77	事務所棟 H26年12月 車庫棟・訓練塔 H28年 3月
三観広域行政組合南消防署			鉄筋コンクリート 5階建	155.67	
救助訓練施設 (訓練塔)					
三観広域行政組合南消防署 第一分署	観音寺市大野原町 大野原4929番地1	1,200.71	鉄筋 コンクリート 平屋建	397.86	S48年 3月 (増築) S62年 3月 (耐震改修) H23年10月
三観広域行政組合北消防署	三豊市高瀬町 下勝間2344番地1	市有地使用 3,335.39	鉄骨造 (制振構造) 2階建	1752.91	H28年 3月
救助訓練施設 (訓練塔A・B・C)			鉄筋コンクリート 5階建	409.78	
三観広域行政組合北消防署 第二分署	三豊市山本町 財田西1051番地1	1,103.80	鉄筋 コンクリート 平屋建	319.00	S48年 3月 (増築) S60年10月 (耐震改修) H23年10月
三観広域行政組合北消防署 第三分署	三豊市詫間町 詫間7042番地27	3,765.07	鉄筋コンクリート 平屋建	628.48	H元年 8月 (一部改修) H28年10月 R2年 8月
重機及び重機搬送車車庫			鉄骨造平屋建	96.00	(新築) R3年 2月
三観広域防災センター	観音寺市坂本町 一丁目1番7号	市有地使用 534.60	鉄筋 コンクリート 2階建	806.53	H元年 3月 (一部改修) H30年 3月

■三観広域管内面積・人口状況

令和3年4月1日 現在

市 町 別	面積 (km ²)	人口			世帯数
		男	女	計	
観音寺市	117.84	28,508	30,610	59,118	25,514
三豊市	222.70	30,899	33,077	63,976	26,287
計	340.54	59,407	63,687	123,094	51,801

■消防力の現状

令和3年4月1日 現在

区 分 署 所	消 防 吏 員	面 積 (km ²)	人 口 (人)	ポ ン プ 車 等	救 急 自 動 車	吏 員	ポ ン プ 車	救 急 車
						一人当たり	一台あたり	一台あたり
						面積 (km ²)	面積 (km ²)	面積 (km ²)
管内全域	176	340.54	123,094	10	8	1.93	34.05	42.57
						699	12,309	15,387
消防本部	39	—	—	0	1	—	—	—
						—	—	—
南消防署	59	117.84	59,118	5	3	2.00	23.57	39.28
						1,002	11,824	19,706
北消防署	78	222.70	63,976	5	4	2.86	44.54	55.68
						820	12,795	15,994

■消防力の整備指針と現勢

令和3年4月1日 現在

区 分		消防力の整備指針	現有消防力
施 設	消 防 署 所 数	5	5
	消防ポンプ自動車	9	10
	はしご自動車	2	2
	化学消防車	1	1
	救急自動車	7	8
	救助工作車	2	2
	指揮車	2	3
	合 計	28	31

消防職員の現況

■消防職員の現員及び配置状況

令和3年4月1日 現在

課 署 別		階 級	合 計	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士
合 計			176	1	8	20	31	59	20	37
消防本部	消 防 長		1	1						
	消 防 次 長		1		1					
	総務課	小 計	14		1	2	3	1		7
		課 長	1		1					
		課 長 補 佐	2			2				
		庶 務 係	2				1			1
		経 理 係	1					1		
		出 向 ・ 入 校 中	8				2			6
	予防課	小 計	5		1	1	2		1	
		課 長	1		1					
		課 長 補 佐	1			1				
		予 防 係	再任用(1)				再任用(1)			
		査 察 指 導 係	2				1		1	
		危 険 物 係				課長補佐兼務				
	消防防災課	再 任 用	1				1			
		小 計	4			1	2		1	
		課 長			消防次長兼務					
		課 長 補 佐	1			1				
		防 災 係				課長補佐兼務				
		警 防 係	2				1		1	
	情報指令課	救 急 救 助 係	1				1			
		小 計	14		1	5		6	2	
		課 長	1		1					
		課 長 補 佐	5			5				
南消防署	本署	情 報 指 令 係	8					6	2	
		小 計	59		2	5	10	21	7	14
		計	41		2	4	7	13	3	12
		署 長	1		1					
		副 署 長	1		1					
		署 長 補 佐	4			4				
		管 理 係			副署長兼務					
		予 防 係	1				1			
		消 防 係	15				2	5	1	7
	第一分署	救 急 係	8				1	4	1	2
		救 助 係	10				2	4	1	3
		再 任 用	1				1			
		計	18			1	3	8	4	2
		分 署 長	1			1				
		予 防 係	1				1			
		消 防 係	12				1	5	4	2
		救 急 係	4				1	3		
		小 計	78		2	6	14	31	9	16
北消防署	本署	計	41		2	4	7	15	2	11
		署 長	1		1					
		副 署 長	1		1					
		署 長 補 佐	4			4				
		管 理 係			副署長兼務					
		予 防 係	1				1			
		消 防 係	14				2	6	1	5
		救 急 係	10				2	4	1	3
		救 助 係	9				1	5		3
		再 任 用	1				1			
	第一分署	計	18			1	2	9	4	2
		分 署 長	1			1				
		予 防 係	1					1		
		消 防 係	12				1	5	4	2
		救 急 係	4				1	3		
	第三分署	計	19			1	5	7	3	3
		分 署 長	1			1				
		予 防 係	1				1			
		消 防 係	12				1	5	3	3
		救 急 係	4				2	2		
		副 主 幹	1				1			

■消防職員の年齢

令和3年4月1日 現在

階 級 年 齢	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	計
合 計	1	8	20	31	59	20	37	176
18才～20才							8	8
21才～25才							22	22
26才～30才					8	19	7	34
31才～35才					27	1		28
36才～40才				4	23			27
41才～45才				15	1			16
46才～50才			12	7				19
51才～55才		1	4					5
56才～60才	1	7	4	2				14
再任用(61才～)				3				3
平 均 年 齢	58.0	56.3	50.8	46.1	34.4	27.8	23.1	36.3

■消防職員勤続年数(消防歴)

令和3年4月1日 現在

階 級 年 齢	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	計
合 計	1	8	20	31	59	20	37	176
1 年 未 満							6	6
1 年 ～ 5 年							21	21
6 年 ～ 10 年					12	16	10	38
11 年 ～ 15 年					32	4		36
16 年 ～ 20 年				7	15			22
21 年 ～ 25 年			1	12				13
26 年 ～ 30 年		1	11	7				19
31 年 ～ 35 年		3	6	1				10
36 年 ～ 40 年	1	4	2	1				8
41 年 以 上				3				3
平均 勤 続 年 数	37.0	35.9	30.7	25.2	13.1	8.5	3.2	15.8

■ 職員特殊技能資格一覧

令和3年4月1日現在

階級別 資格別		計	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
大型自動車	特 殊	4				2	1	1	
	第1種	135	1	6	14	30	50	18	16
中型自動車		2							2
自動二輪	大型	12		1	2	3	4		2
	普通	58		7	10	14	16	5	6
牽引免許		1				1			
小型移動式クレーン		88	1	8	13	24	38	4	
玉掛け技能		87	1	7	12	25	37	4	1
巻上げ機		44			1	6	33	4	
潜水士		60	1	3	9	14	27	5	1
小型船舶操縦士		53	1	6	10	13	18	3	2
予防技術資格者	防火査察	74		2	6	12	35	9	10
	消防用設備等	36		2	4	11	15	4	
	危険物	22		1		8	10	3	
危険物取扱者	乙	85				14	43	8	20
消防設備士	甲	5				4	1		
	乙	6				2	4		
応急手当指導員		131	1	6	14	35	52	16	7
救急救命士		46	1	4	10	16	12	1	2
認定救命士	気管挿管	32	1	3	8	13	6	1	
	薬剤投与	40	1	1	7	16	12	1	2
	心肺停止前静脈路確保 血糖測定・ブドウ糖投与	36			6	15	12	1	2
指導救命士		4			4				
電気工事士		13			1	6	3	1	2
アセチレンガス溶接士		20		1	2	12	1	2	2
酸素欠乏危険作業主任者		109		5	10	25	50	13	6
毒物・劇物取扱者		2				2			
特定化学物質等作業主任者		1			1				
陸上特殊無線技士		35		4	7	13	11		
衛生管理者		5				3	1		1
防災士		5		1	1	1	1		1
車両系建設機械		14			1	1	10	2	

消防決算等状況

■過去5年間組合会計決算と消防関係費の割合

(単位千円)

年度別	区 別	一般会計決算額	消防関係費決算額	割 合
平成28年度		2,440,939	1,734,447	71.06%
平成29年度		2,017,866	1,664,679	82.50%
平成30年度		2,072,486	1,736,149	83.77%
令和元年度		2,044,803	1,731,901	84.70%
令和2年度		2,461,571	2,142,791	87.05%

■令和2年度 消防関係費性質別決算見込内訳

(単位千円)

区 分	決 算 額	割 合
人 件 費	1,278,867	59.68%
物 件 費	131,793	6.15%
維 持 補 修 費	0	0.00%
扶 助 費	19,560	0.91%
補 助 費 等	17,579	0.82%
投 資 的 経 費	0	0.00%
普 通 建 設 事 業 費	380,164	17.74%
公 債 費	314,828	14.69%
合 計	2,142,791	100.00%

■令和2年度の構成市の消防費基準財政需要額と組合消防に対する負担金 (単位千円)

市別	区 別	基準財政需要額	消防関係市負担金
観 音 寺 市		920,003	765,819
三 豊 市		1,244,171	1,032,015
合 計		2,164,174	1,797,834

【概 要】

平成元年4月に開設された三観広域防災センターは、住民の皆様方に防災に関する知識や技術を高め、その行動を楽しみながら体験学習をして頂くことを目的として開設しました。

1階の防災展示体験室には、種々な体験資材を揃え楽しんで学習ができる施設を備えてあり、2階の防災研修会議室は、消防防災に関する会議等に利用して頂いております。

今後も、多くの地域住民の方々に防災意識を高めて頂くよう、利用の促進に努めていきたいと考えております。

開館時間

午前9時～午後5時まで

休館日

月曜日

曜日が国民の休日にあたるときは、その翌日)

年末年始(12月29日～1月3日)

※臨時に開館又は閉館することがあります。

場所

〒768-0067 観音寺市坂本町一丁目1番7号

電話

TEL(0875)24-0119(内線410)

入館無料です

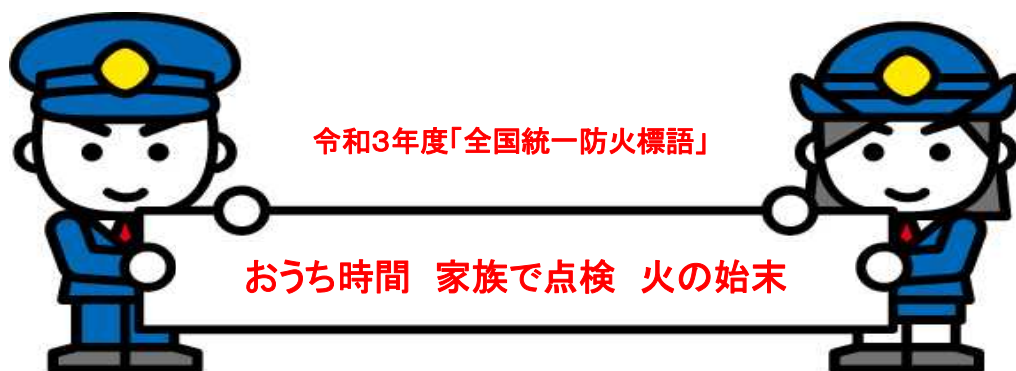


※団体でのご来館あるいは研修ご希望の方は、最寄りの消防署・分署を通じて、あらかじめ人数、研修内容等をご連絡下さい。

■令和2年度 防災センター等利用状況

		保育園 幼稚園	小中学校 高等学校	自主防災 組 織	消防関係 団 体	行政団体	他都市 視 察	一般団体	個人	2階研修 会議室	合計
4月	件数									1	1
	人員									10	10
5月	件数									3	3
	人員									32	32
6月	件数									8	8
	人員									91	91
7月	件数								3	7	10
	人員								6	79	85
8月	件数									6	6
	人員									93	93
9月	件数									7	7
	人員									84	84
10月	件数		3						1	5	9
	人員		102						1	107	210
11月	件数		5						2	12	19
	人員		159						6	152	317
12月	件数					1				9	10
	人員					22				224	246
1月	件数									8	8
	人員									140	140
2月	件数									5	5
	人員									85	85
3月	件数									4	4
	人員									45	45
合計	件数	0	8	0	0	1	0	0	6	75	90
	人員	0	261	0	0	22	0	0	13	1,142	1,438

防 予



■防火対象物状況

令和2年12月31日現在

署所別 市別 対象物別			南消防署管内			北消防署管内							合 計	防 火 管 理 者 の 選 任 を 必 要 と す る 防 火 対 象 物		
			本署	第一分署												
					観音寺市			三 豊 市								
					観 音 寺	大 野 原	豊 浜	高 瀬	三 野	豊 中	山 本	財 田			詫 間	仁 尾
1	イ	劇場 映画館	6			1							7	4		
	ロ	公会堂 集会所	28	8	6	11	6	10	7	2	10	2	90	77		
2	イ	キャバレー ナイトクラブ														
	ロ	遊技場 ダンスホール	6		1		2				1		10	8		
	ハ	性風俗関連 店舗等														
	ニ	カラオケボックス 個室ビデオ等	3										3	3		
3	イ	待料 理 合 店									1		1	1		
	ロ	飲 食 店	49	7	4	6	2	7	3	5	6	3	92	61		
4			百貨 店 舗	126	10	14	33	8	13	8	1	14	3	230	117	
5	イ	旅 館	22	1	6	3		2	1	1	4		40	21		
	ロ	寄 宿 舎 共 同 住 宅	90	10	31	35	14	12	6	2	24	4	228	47		
6	イ	病 診 療 院 所	24	7	4	15	3	9	4		11	2	79	32		
	ロ	特養ホーム グループホーム	15	5	5	8	6	5	2	1	5	5	57	53		
	ハ	ディサービス 保育所	35	4	2	9	10	5	9	1	11	1	87	57		
	ニ	幼稚園	9	1	3	6	3	1	1	1	3	2	30	23		
7			小 学 校 等	46	6	7	31	9	22	8	3	28	7	167	51	
8			図 書 館 博 物 館	2	1	2		1	1	1	1	4		13	11	
9	イ	蒸 気 浴 場														
	ロ	熱 気 浴 場														
			イに掲げる以外の 公衆浴場							1		1	2			
10			車両の停車場発 着場		2								2	1		
11			神 社 院 寺	24	3	7	3	7	1	3	8	1	2	59	10	
12	イ	工 作 業 場	276	101	74	88	55	96	55	27	133	47	952	82		
	ロ	ス タ ジ オ														
13	イ	自動車車庫 格 納 庫	30	2	4	4	3	4	2		1		50			
	ロ	航空機 の 格 納 庫														
14			倉 庫	213	61	38	45	47	58	31	24	92	31	640	12	
15			前各号に該当し ない事業所	157	33	21	53	25	16	18	17	44	22	406	74	
16	イ	複 合 用 途 (特 定)	112	12	5	15	4	10	8	6	23	7	202	84		
	ロ	複 合 用 途 (非 特 定)	31	5	2	3		4	6	1	8	3	63	23		
16の2			地 下 街													
16の3			準 地 下 街													
17			重要文化財	1					2			2	5			
18			延長50m以上の アーケード													
19			市町村長の 指定する山林													
20			総務省令で 定める舟車													
計			1,305	279	236	369	205	278	173	102	424	144	3,515	852		

■中高層建築物狀況

令和2年12月31日現在

[illegible]

■防火対象物定期点検該当数及び報告状況

令和2年12月31日現在

署 市 別				区分 合計	1項		2項				3項		4項	5項	6項					9項	16項	16項		
					イ	ロ	イ	ロ	ハ	ニ	イ	ロ		イ	イ	ロ	ハ	ニ	イ	イ	の2			
南消防署管内	本署	観音寺	要対象物数	35	3	2			3					17	5	1							4	
			うち特例認定	9	1				3					3	1								1	
			点検報告数	18	1	1			1					9	2	1							3	
	一分署	大野原	要対象物数	7		2							2		1								2	
			うち特例認定	5									2		1								2	
			点検報告数	2		1							1											
		豊浜	要対象物数	8		2			1				3		1	1								
			うち特例認定	5		2							1		1	1								
			点検報告数	3					1				2											
北消防署管内	本署	高瀬	要対象物数	9	1								6		1							1		
			うち特例認定	2									1									1		
			点検報告数	6									6											
		三野	要対象物数	4		1						1											2	
			うち特例認定	3								1											2	
			点検報告数	4								1											3	
		豊中	要対象物数	10		2							5						1				2	
			うち特例認定	6		1							3						1				1	
			点検報告数	3		1							1										1	
	二分署	山本	要対象物数	3									1		1								1	
			うち特例認定	3									1		1								1	
			点検報告数	1									1											
		財田	要対象物数																					
			うち特例認定																					
			点検報告数																					
	三分署	詫間	要対象物数	7		1			1				2		1								2	
			うち特例認定	5		1			1				1										2	
			点検報告数	5		1							2		1								1	
		仁尾	要対象物数	1																			1	
			うち特例認定	1																			1	
			点検報告数	1																			1	
合計			要対象物数	84	4	10			5				1	36	5	6	1			1		15		
			うち特例認定	39	1	4			4				1	12	1	3	1			1		11		
			点検報告数	43	1	4			2				1	22	2	2							9	

建築同意

■用途別・市別建築同意事務処理状況

令和2年1月1日～令和2年12月31日

署所別 市別 対象物別			南消防署管内			北消防署管内							合 計
			本署	第一分署		本 署			第二分署		第三分署		
			観音寺市			三 豊 市							
			観 音 寺	大 野 原	豊 浜	高 瀬	三 野	豊 中	山 本	財 田	詫 間	仁 尾	
1	イ	劇場 画館 映画 会 堂 公会 集 会											
	ロ		2									2	
2	イ	キャバレー ナイトクラブ											
	ロ	遊 技 場 ダンスホール											
	ハ	性風俗関連 店 舗 等											
	ニ	カラオケボックス 個室ビデオ等											
3	イ	待 理 合 店									1	1	
	ロ	飲 食 店					1				1	2	
4		百 貨 店 店 舗	6				1					7	
5	イ	旅 館 ホ テ ル									1	1	
	ロ	寄 宿 舎 共 同 住 宅	3		1						1	5	
6	イ	病 診 療 所		1	1							2	
	ロ	特養ホーム グループホーム	1									1	
	ハ	デイサービス 保育所	1	1	1			1				4	
	ニ	幼稚園					2				1	3	
7		小 学 校 中 学 校 等											
8		図 書 館 博 物 館											
9	イ	蒸 気 浴 場 熱 気 浴 場											
	ロ	イに掲げる以外の 公衆浴場											
10		車両の停車場発 着場											
11		神 社 寺 院	2			1					3	1	7
12	イ	工 作 業 場	3	3							2		8
	ロ	ス タ ジ オ											
13	イ	自動車庫 格 納 庫	1										1
	ロ	航 空 機 の 格 納 庫					1		1		6	2	10
14		倉 庫	5			1	5				1	2	14
15		前各号に該当し ない事業所	7				2			1			10
16	イ	複 合 用 途 (特 定)	3										3
	ロ	複 合 用 途 (非 特 定)											
16の2		地 下 街											
16の3		準 地 下 街											
18		アーケード											
併用住宅							4					1	5
専用住宅			4		2		3				2	3	14
許可・認定申請					1		4				2		7
合 計			38	5	6	2	23		2	1	19	11	107

建築同意

■用途別・月別建築同意事務処理状況

令和2年1月1日～令和2年12月31日

月別 対象物別			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合 計
1	イ	劇場 画 館													
	ロ	公会 堂 集 会 場	1			1									2
2	イ	キャバレー ナイトクラブ													
	ロ	遊 技 場 ダンスホール													
	ハ	性風俗関連 店 舗 等													
	ニ	カラオケボックス 個室ビデオ等													
3	イ	待 料 理 店													
	ロ	飲 食 店				1									1
4		百 貨 店 舗			1	2				2	2	1			8
5	イ	旅 館											1		1
	ロ	寄 宿 舎 共 同 住 宅			1					1	2		1		5
6	イ	病 診 療 所	1							1			1		3
	ロ	特養ホーム グループホーム						1							1
	ハ	デイサービス 保育所	1				1	1					1		4
	ニ	幼稚園													
7		小 学 校 等					1						1	1	3
8		図 書 館 博 物 館													
9	イ	蒸 気 浴 場													
	ロ	イに掲げる以外 の公衆浴場													
10		車両の停車場発 着場													
11		神 社 寺 院								1				1	2
12	イ	工 作 場	3	1		4	1			1	1	1		1	13
	ロ	スタジ オ													
13	イ	自動車庫 格 納 庫			1										1
	ロ	航 空 機 の 格 納 庫													
14		倉 庫	1	1	2	2	2		1	2	1		2	4	18
15		前各号に該当し ない事業所	1	2	1		2		1	1	2	1	2	2	15
16	イ	複 合 用 途 (特 定)	1						1	1	1				4
	ロ	複 合 用 途 (非 特 定)													
16の2		地 下 街													
16の3		準 地 下 街													
18		アーケード													
併用住宅															
専用住宅			3	1	5	2		1	1	1	1	2	1		18
許可・認定申請				1	1	1	1	1		1			2		8
合 計			12	6	12	13	8	4	4	12	10	5	12	9	107

予防事務処理状況

■消防用設備等着工届出状況

令和2年1月1日～令和2年12月31日

消防用設備	署所別	南消防署管内	北消防署管内	合 計
	市別	観音寺市	三 豊 市	
屋 内 消 火 栓 設 備		4	5	9
スプリンクラー 設 備		8	2	10
水 噴 霧 消 火 設 備		1		1
泡 消 火 設 備				
不 活 性 ガ ス 消 火 設 備				
ハロゲン化物消火設備				
粉 末 消 火 設 備			1	1
移 動 式 消 火 設 備		1		1
屋 外 消 火 栓 設 備		5	3	8
自 動 火 災 報 知 設 備		33	34	67
ガス漏れ火災警報設備				
火 災 通 報 装 置		3	3	6
非 常 放 送 設 備		6	2	8
避 難 器 具		3		3
連 結 送 水 管		1		1
ドレンチャー 設 備				
パッケージ型消火設備			1	1
そ の 他				
合 計		65	51	116

■消防用設備等設置届出状況

令和2年1月1日～令和2年12月31日

消防用設備	署所別	南消防署管内	北消防署管内	合 計
	市別	観音寺市	三 豊 市	
消 火 器		34	33	67
屋 内 消 火 栓 設 備		7	6	13
スプリンクラー 設 備		8	3	11
水 噴 霧 消 火 設 備				
泡 消 火 設 備				
不 活 性 ガ ス 消 火 設 備				
ハロゲン化物消火設備				
粉 末 消 火 設 備		1		1
移 動 式 消 火 設 備			2	2
屋 外 消 火 栓 設 備		8	5	13
動 力 ポ ン プ 設 備			1	1
自 動 火 災 報 知 設 備		51	56	107
ガス漏れ火災警報設備				
漏 電 火 災 警 報 器				
火 災 通 報 装 置		5	3	8
非 常 警 報 設 備		3	6	9
非 常 放 送 設 備		9	9	18
避 難 器 具		3	1	4
誘 導 灯		34	36	70
消 防 用 水				
排 煙 設 備				
連 結 散 水 設 備				
連 結 送 水 管				
非 常 コ ン セ ン ト 設 備				
無 線 通 信 補 助 設 備				
総 合 操 作 盤				
パッケージ型消火設備			1	1
パッケージ型自動消火設備				
合 計		163	162	325

火災予防条例等届出状況

■消防法・火災予防条例等届出状況

令和2年1月1日～令和2年12月31日

種 別		市別	観 音 寺 市		三 豊 市			合 計
		署々別	南消防署管内		北消防署管内			
		本 署	第一分署	本 署	第二分署	第三分署		
消防法関係	防火管理者選任(解任)	69	23	55	19	27	193	
	消 防 計 画	89	30	68	23	35	245	
	消 防 訓 練 実 施 報 告	228	72	141	55	79	575	
	圧縮アセチレンガス等	9	2	2	5	4	22	
	消防用設備等点検報告	314	139	231	73	119	876	
火災予防条例関係	防火対象物使用開始届	41	17	25	9	21	113	
	炉、かまど、ボイラー、乾燥設備	4	3	5	2	2	16	
	発 変 蓄 電 池 設 備	14	10	9	8	8	49	
	ネ オ ン 管 灯 設 備							
	水素ガス充てん気球届							
	火 災 と ま ぎ ら わ し い	51	66	184	58	85	444	
	煙 火 打 上 仕 掛 届	2		5	3	3	13	
	催 物 開 催 届							
	水 道 断 減 水 届	4	3	1			8	
	道 路 工 事 等 届	424	157	319	91	108	1,099	
	露 店 等 の 開 設	3		1		4	8	
	少量・指定可燃物貯取届	10	15	7	4	10	46	
	少量・指定可燃物廃止届	17	5	2	2	5	31	
	喫煙・裸火・危険物品	9		7	1	2	19	
合 計		1,288	542	1,062	353	512	3,757	

■ 防火関係組織の現状

名 称	所 在 地	結成年月日	備 考
三 観 地 区 防 火 委 員 会	観音寺市坂本町一丁目1番7号	昭和58年 4月12日	
三観地区婦人防火クラブ連合会	観音寺市坂本町一丁目1番7号	昭和55年 4月 1日	休止中

■ 消防クラブ等の設置状況

幼年消防クラブ(11クラブ) 1013 名 令和3年4月1日現在

名 称	所 在 地	結成年月日	クラブ員数		
			男	女	合計
山 本 保 育 所 幼 年 消 防 クラブ	三豊市山本町大野455番地2	昭和58年 2月 1日	23	28	51
大 見 幼 稚 園 幼 年 消 防 クラブ	三豊市三野町大見甲3478-1	昭和62年12月 1日	28	9	37
比 地 二 幼 稚 園 幼 年 消 防 クラブ	三豊市高瀬町比地65	昭和63年 6月 1日	19	23	42
仁 尾 保 育 所 幼 年 消 防 クラブ	三豊市仁尾町仁尾丁636-1	昭和64年 1月 5日	22	27	49
詫 間 保 育 所 幼 年 消 防 クラブ	三豊市詫間町詫間2024-2	平成11年 6月 1日	57	50	107
大 野 原 幼 稚 園 幼 年 消 防 クラブ	観音寺市大野原町大野原1675	平成12年 4月 1日	94	103	197
詫 間 幼 稚 園 幼 年 消 防 クラブ	三豊市詫間町詫間3500-5	平成13年 2月 1日	27	26	53
山 本 幼 稚 園 幼 年 消 防 クラブ	三豊市山本町大野423番地	令 和 2 年 5 月 1 日	67	65	132
観 音 寺 こ ど も 園 幼 年 消 防 クラブ	観音寺市観音寺町甲2558番地2	令 和 2 年 5 月 1 日	54	46	100
観 音 寺 中 央 幼 稚 園 幼 年 消 防 クラブ	観音寺市柞田町丙1566番地	令 和 2 年 5 月 1 日	61	75	136
豊 浜 幼 稚 園 幼 年 消 防 クラブ	観音寺市豊浜町和田浜1000番地	令 和 2 年 5 月 1 日	49	60	109

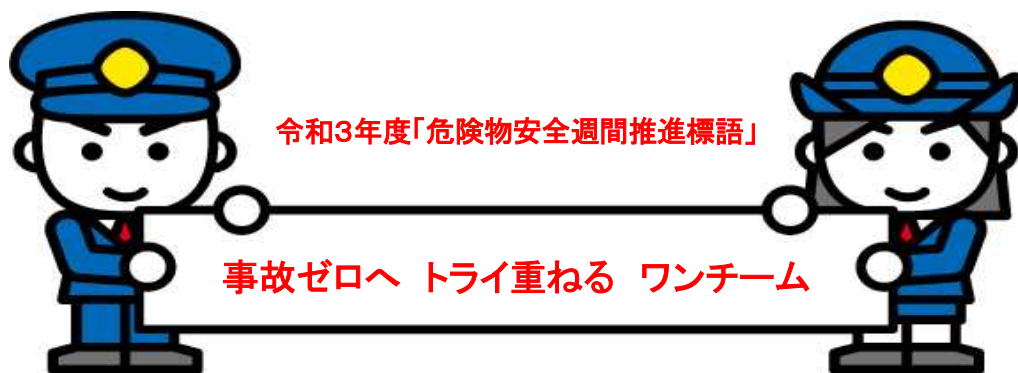
少年消防クラブ(1クラブ) 89 名 令和3年4月1日現在

名 称	所 在 地	結成年月日	クラブ員数		
			男	女	合計
一ノ谷小 学 校 少 年 消 防 クラブ	観音寺市古川町102-1	昭和26年10月 1日	46	43	89

婦人防火クラブ(1クラブ) 休止中(10名) 令和3年4月1日現在

名 称	所 在 地	結成年月日	クラブ員数
山 本 町 長 野 婦 人 防 火 クラブ	三豊市山本町河内2058-1	昭和59年 6月 1日	休止中(10名)

危 険 物



■危険物施設の推移

令和3年3月31日現在

施設の区分 \ 年度別		平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度
製 造 所		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	70	72	77	78	78	78	76	78	71	78	78	78
	屋外タンク貯蔵所	103	102	100	100	92	90	92	95	95	96	96	93
	屋内タンク貯蔵所	15	14	13	13	12	13	13	11	10	10	9	11
	地下タンク貯蔵所	184	181	183	175	170	169	164	154	149	143	140	141
	簡易タンク貯蔵所	7	7	7	8	8	8	8	8	8	8	8	8
	移動タンク貯蔵所	69	68	68	68	78	79	84	83	90	90	94	93
	屋 外 貯 蔵 所	10	10	9	9	10	9	10	10	10	10	10	11
小 計		458	454	457	451	448	446	447	439	433	435	435	435
取 扱 所	給 油 取 扱 所	141	137	132	123	124	125	122	119	115	114	113	112
	販 売 取 扱 所	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	移 送 取 扱 所												
	一 般 取 扱 所	128	133	133	137	135	136	134	129	124	126	122	123
小 計		270	271	266	261	260	262	257	249	240	241	236	236
合 計		729	726	724	713	709	709	705	689	674	677	672	672

■危険物製造所等の設置状況

令和3年3月31日

種 別 署所別市				合 計	製 造 所	貯 蔵 所										取 扱 所						事 業 所 数
						小 計	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	準 特 定	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	自 家 セ ル フ	販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所		
南消防署管内	本署	観音寺市	観音寺	185		126	19	31		1	39	2	28	6	59	29	10	7			30	100
	一分署		大野原	65		41	9	6		3	15		6	2	24	14	6	1			10	37
			豊 浜	39		23	5	5			13				16	8	2	1			8	23
北消防署管内	本署	三豊市	高 瀬	81	1	55	10	8		2	21		14		25	13	8	3			12	40
			三 野	22		10	1	1		3	5				12	9	5	1			3	20
			豊 中	34		18	5	1			12				16	5	2	1			11	15
	二分署		山 本	58		41	5	2			10		23	1	17	7	2	2			10	24
			財 田	35		22	5	4		1	8	4			13	5	3				8	20
	三分署		詫 間	124		83	17	27	6	1	13	2	21	2	41	17	7		1		23	48
			仁 尾	29		16	2	8			5		1		13	5	1				8	21
合 計				672	1	435	78	93	6	11	141	8	93	11	236	112	46	16	1		123	348

■屋外タンク貯蔵所容量別状況

令和3年3月31日現在

署所別市 別種 別				合 計	1kℓ	1kℓ	5kℓ	10kℓ	50kℓ	100kℓ	200kℓ	300kℓ	400kℓ	500kℓ
					未満	以上	以上	以上	以上	以上	以上	以上	以上	以上
					未満	5Kℓ未満	10Kℓ未満	50Kℓ未満	100Kℓ未満	200Kℓ未満	300Kℓ未満	400Kℓ未満	500Kℓ未満	以上
南消防署管内	本署	観音寺市	観音寺	31		2	1	13	4	5	1	3	2	
	一分署		大野原	6				6						
			豊 浜	5				5						
北消防署管内	本署	三豊市	高 瀬	8			1	3		4				
			三 野	1		1								
			豊 中	1		1								
	二分署		山 本	2			1	1						
			財 田	4				3	1					
	三分署		詫 間	27				13	6			2		6
			仁 尾	8		1	3	4						
合 計				93		5	6	48	11	9	1	5	2	6

■危険物関係事務処理状況

令和2年4月1日～令和3年3月31日

区分 種別	合計	製造所	貯蔵所							取扱所				その他
			屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所	
設置許可	13		2	1	1	1		2	1				5	
変更許可	36					4		11	1	16			4	
設置完成検査	15		4	1	1	2		3	1				3	
変更完成検査	33			1		2		10	1	16			3	
タンク水圧検査	3									2				1
タンク水張検査	116													116
仮使用承認	21					2				16			3	
仮貯蔵・仮取扱承認	3		2										1	
予防規定認可	24		1							22			1	
用途廃止届出	22		3	4		1		10		1			3	
許可取消届出														
休止・再開届出														
設置者・名称等変更届出	50	1	3	13		6		7		6			14	
種類・数量変更届出	3		2										1	
譲渡引渡届出	9		1			1		4	1				2	
保安監督者選解任届出	57		8	3		15			1	11			19	
軽微な工事変更届出	47			2		2				35			8	
合計	452	1	26	25	2	36		47	6	125			67	117

液化石油ガス設備工事届	8件
液化石油ガス意見書の交付	0件

■危険物関係手数料徴収状況

令和2年4月1日～令和3年3月31日(単位:円)

区分 月別	設置許可	変更許可	設置完成検査	変更完成検査	水圧検査	水張検査	仮貯蔵仮取扱	仮使用承認	合計
4月	39,000	39,000		13,000		18,000		10,800	119,800
5月	65,000	26,000	13,000	26,000			5,400	5,400	140,800
6月		13,000	39,000			12,000	5,400		69,400
7月	59,000	201,500	13,000	39,000		114,000		27,000	453,500
8月	26,000			58,500	11,000	192,000			287,500
9月	26,000	124,000	46,000	13,000		186,000		21,600	416,600
10月	164,000	78,000	13,000	45,500	22,000	90,000		16,200	428,700
11月	78,000	130,000	42,500	39,250		24,000		21,600	335,350
12月	39,000		26,000	78,000		54,000			197,000
1月		26,000	13,000	13,000		6,000		5,400	63,400
2月		19,500	56,000	9,750		12,000			97,250
3月		26,000				6,000	5,400	5,400	42,800
計	496,000	683,000	261,500	335,000	33,000	714,000	16,200	113,400	2,652,100

防 警



消防機器の現況

■署所別車両配置状況

令和3年4月1日現在

署 所 別 車 別		合 計	本 部	南消防署		北消防署		
				本 署	第 一 分 署	本 署	第 二 分 署	第 三 分 署
合 計		43	8	10	5	11	4	5
ポン プ 車	C D - I 型	7		2	1	2	1	1
	水槽付消防ポンプ自動車	2		1				1
	小型動力ポンプ付水槽車	1			1			
化学車	II 型 化 学 車	1				1		
梯子 車	30m級はしご付消防自動車 (先端屈折型)	1		1				
	15m級はしご付消防自動車	1				1		
高 規 格 救 急 車		8	1	2	1	2	1	1
救 助 工 作 車		2		1		1		
人員資機材搬送車(マイクロ)		1	1					
指 揮 車		3	1	1		1		
査 察 車 ・ 広 報 車		9	4	1	1	1	1	1
重 機 及 び 重 機 搬 送 車		1	1					
ク レ ー ン 付 搬 送 車		1		1				
搬 送 車		1				1		
軽 四 輪 搬 送 車 (4 W D)		3			1		1	1
小 型 自 動 二 輪 車		1				1		

■車両・ポンプ種別

令和3年4月1日現在

区分 所属・呼称		車両番号	種別	車体	年式	製作所	ポンプ		備考
							型式	級別	
本部	消 1 号車	香川 88 さ 7719	指揮車	ニッサン	21				
	消 2 号車	香川 300 む 2470	査察車	ニッサン	29				
	消 3 号車	香川 581 え 4192	査察車	ニッサン	R元				
	消 4 号車	香川 587 け 4	査察車	ミツビシ	27				
	消 5 号車	香川 801 せ 5	広報車	ニッサン	27				広報車35w
	消 6 号車	香川 230 さ 6	人員資機材搬送車	ヒノ	20				マイクロバス(25人乗り)
	消 7 号車	香川 800 は 1121	重機及び重機搬送車	ヒノ	R3				5t重機・クレーン3段アーム2.9t吊り
	救急 4 号車	香川 830 さ 995	救急車	トヨタ	21				高規格
	小型動力ポンプ				10	ラビット	P-381S	C-1	(旧72号車積載 予備本部保管)
南消防署	南 11 号車	香川 831 す 11	指揮車	トヨタ	28				100w広報設備
	南 12 号車	香川 830 つ 13	消防ポンプ自動車	ヒノ	20	モリタ	ME-5A	A-2	CD-I
	南 13 号車	香川 830 す 19	消防ポンプ自動車	トヨタ	22	ニッキ	R3	A-2	CD-I・カーナビ
	南 14 号車	香川 830 て 12	水槽付ポンプ自動車	ヒノ	26	モリタ	MZ-1	A-2	水槽1-A型(キャフス付)
	南 15 号車	香川 800 は 1123	救助工作車Ⅱ型	ヒノ	R3	テイセン			照明・ウインチ・クレーン
	南 16 号車	香川 830 そ 16	梯子付消防自動車	ヒノ	28	モリタ			30m級先端屈折
	南 17 号車	香川 830 ん 17	クレーン付き搬送車	ミツビシ	29				クレーン3段アーム2t吊り・パワーゲート
	南 18 号車	香川 883 あ 18	広報車	ニッサン	30				
	救急 1 号車	香川 830 つ 991	救急車	トヨタ	R2				高規格
	救急 2 号車	香川 830 そ 991	救急車	ニッサン	28				高規格
	小型動力ポンプ				20	ラビット	P-380S	C-1	親子式(12号車積載)
	小型動力ポンプ				22	トーハツ	VF21A	C-1	親子式(13号車積載)
	南 32 号車	香川 830 ち 32	消防ポンプ自動車	ヒノ	30	モリタ	MZ-1	A-2	CD-I (キャフス付)
	南 34 号車	香 830 さ 35	小型動力ポンプ付水槽車	ヒノ	19	ラビット	P555	B-2	水槽(10t)
	南 37 号車	香川 883 あ 32	軽四輪搬送車4WD	ミツビシ	18				
	南 38 号車	香川 883 あ 33	広報車	ミツビシ	26				
	救急 3 号車	香川 800 す 201	救急車	ニッサン	27				高規格
	小型動力ポンプ				30	シバウラ	FT-300	C-1	親子式(32号車積載)
北消防署	北 51 号車	香川 800 ち 51	指揮車	トヨタ	29				100w広報設備
	北 52 号車	香川 830 せ 52	消防ポンプ自動車	ヒノ	23	モリタ	ME-5	A-2	CD-I
	北 53 号車	香川 88 す 1297	消防ポンプ自動車	イズズ	9	モリタ	ME-3A	A-2	CD-I
	北 54 号車	香川 800 は 1125	化学車	ヒノ	R3	モリタ	MZI	A-2	化学Ⅱ型
	北 55 号車	香川 830 す 55	救助工作車Ⅱ型	ヒノ	25	モリタ			照明・ウインチ・クレーン
	北 56 号車	香川 830 な 119	梯子付消防自動車	ヒノ	16	モリタ			15m級
	北 57 号車	香川 830 せ 17	搬送車	トヨタ	27				
	北 58 号車	香川 883 あ 58	広報車	ミツビシ	27				50w広報設備
	救急 5 号車	香川 830 せ 995	救急車	トヨタ	29				高規格
	救急 6 号車	香川 830 さ 997	救急車	トヨタ	24				高規格
	小型動力ポンプ				23	ラビット	P-383	C-1	親子式(52号車積載)
	小型動力ポンプ				10	ラビット	P-381S	C-1	親子式(53号車積載)
	北 72 号車	香川 830 た 72	消防ポンプ自動車	ヒノ	29	モリタ	MZ-1	A-2	CD-I (キャフス付)
	北 77 号車	香川 883 あ 42	軽四輪搬送車4WD	ミツビシ	18				
	北 78 号車	香川 883 あ 43	広報車	ミツビシ	26				
	救急 7 号車	香川 830 す 997	救急車	ニッサン	29				高規格
	小型動力ポンプ				29	シバウラ	FT-300	C-1	親子式(72号車積載)
	北 82 号車	香川 830 そ 82	消防ポンプ自動車	ヒノ	28	モリタ	MZ-1	A-2	CD-I (キャフス付)
	北 84 号車	香川 830 す 54	水槽付ポンプ自動車	ヒノ	20	モリタ	ME-5B	A-2	水槽Ⅱ型 2,000 ^{リットル}
	北 87 号車	香川 883 あ 87	軽四輪搬送車4WD	スズキ	R3				
	北 88 号車	香川 880 え 88	広報車	ミツビシ	19				50w広報設備
第三分署	救急 8 号車	香川 830 す 998	救急車	トヨタ	30				高規格
	小型動力ポンプ				28	ラビット	P-383S	C-1	親子式(82号車積載)
	小型動力ポンプ				20	ラビット	P-382M	C-1	親子式(84号車積載)

■消防特殊機器材配置状況

令和3年4月1日現在

配置署別 用具別		本部	南消防署		北消防署			合計
			本署	第一分署	本署	第二分署	第三分署	
予防・保安用具	可燃性ガス測定器		6	2	4	2	2	16
	超音波厚さ測定器	1						1
	タンク検査工具セット	1	1	1	1	1	1	6
	電池式絶縁抵抗計	1	1	1	1	1	1	6
	プロジェクター一式		1		1			2
救助用資機材	かぎ付きはしご		5	1	4	1		11
	三連はしご		5	1	5	1	3	15
	金属製折りたたみはしご		3		1		2	6
	救助マット		3	1	4	1	1	10
	救助幕(ソフトランディング)		1		1			2
	救命索発射銃 M-300 型				1			1
	救命索発射装置(レスキューマックス)		1					1
	担架		3		1			4
	油圧式救助器具		2		1			3
	大型油圧スプレッダー	1	1		1			3
	可搬ウインチ		5		4	1	1	11
	マット型空気ジャッキ		1		1			2
	油圧切断機		1		1			2
	エンジンカッター		6	1	4	1	1	13
	ガス溶断機		1		1			2
	エアーツール		1		1			2
	削岩機		1		1			2
	ハンマードリル		2		1			3
	放射線測定器		4		1			5
	酸欠、爆発性、毒ガス警報器		7	2	4	2	2	17
	酸素呼吸器		5					5
	耐電手袋		21	7	19	7	6	60
	耐電衣		11		4			15
	耐電ズボン		11		4			15
	耐電長靴		13	2	6	2	2	25
	耐電ヘルメット				2			2
	空気のこ		1		1			2
	防毒衣一式		10		5			15
	放射線保護服		40		10			50
	潜水具一式		9		10			19
	救命胴衣		23	8	23	13	18	85
	ゴムボート(4人乗り)			1		1	1	3
	ゴムボート(6人乗り)				1			1
	ゴムボート(8人乗り)		1					1
	船外機		1		1			2

消防特殊機器材配置状況

令和3年4月1日現在

配置署別 用具別		本部	南消防署		北消防署			合計
			本署	第一分署	本署	第二分署	第三分署	
救助用資機材	緩降機		2		2			4
	マンホール救助器具		1		1			2
	地中音響探知器一式		1					1
	熱画像直視装置一式		1		1			2
	夜間用暗視装置一式		1					1
警防用資機材	東消式発泡器		1	2	1	1	1	6
	ピックアップ式泡ノズル200型			1	2		1	4
	発泡ノズル200型					1		1
	発泡ノズル400型							
	高発泡800型					1		1
	多管式ノズル1000型		1					1
	多管式ノズル500型		7	2		2		11
	水損防止用ノズル		3	2	2			7
	ジェットシューター		21	4	12	43	8	88
	排煙機		2		4			6
	ミニチェンソー		7	3	7	3	2	22
	発動発電機		11	3	8	4	4	30
	山林火災用動力噴霧器				1			1
	ラビットスーパーシューター					1		1
	草刈機（背負型・肩掛型）		1	1	1	1	1	5
	オイルフェンス		5	5			5	15
	耐熱服				3			3
	トランジスターメガホン		12	3	8	8	4	35
	空気呼吸器		28	5	20	4	10	67
救急用資機材	救急訓練用人形（大人）	7						7
	救急訓練用人形（小人）	4						4
	救急訓練用人形（乳幼児）	10						10
	救急訓練用人形（リトルアン）	16						16
	シミュレーション人形	2						2
	気道管理トレーナー	2						2
	ビデオ喉頭鏡訓練用頭部人形							
	静脈路確保訓練人形		1	1	1	1	1	5
	オゾン水生成機		1		1			2
	オゾンガス消毒器		1	1	1	1	1	5
その他	距離測定器		1		1			2
	エアーコンプレッサー		1	1	1	1	1	5
	空気ボンベ充填機		1		1			2
	急速充電機		2	1	1	1	1	6
	工具セット		1	1	2	1	1	6
	電気溶接機		1		1			2
	エアーテント一式	2			1			3

■消防水利状況

令和3年4月1日現在

署所別 市別 区 分			合 計	南 消 防 署 管 内			北消防署管内								
				本署	第一分署		本 署			第二分署		第三分署			
				観音寺市			三豊市								
				観 音 寺	大 野 原	豊 浜	高 瀬	豊 中	三 野	山 本	財 田	詫 間	仁 尾		
合 計			4,578	1,755	393	241	431	362	253	253	189	495	206		
小 計			3,325	1,528	256	174	259	294	159	122	84	338	111		
消 火 栓	配 管 別	75 mm	1,448	575	112	49	146	170	92	46	47	148	63		
		100 mm	871	423	69	62	39	70	43	33	13	90	29		
		125 mm	12	7				5							
		150 mm	603	298	58	34	41	38	17	27	18	60	12		
		200 mm	253	140	13	23	16		6	16	6	26	7		
		250 mm	89	41	3	6	17	11	1			10			
		300mm以上	49	44	1							4			
小 計			551	100	103	41	43	7	32	59	41	76	49		
防 火 水 槽	公 設	40m³未満	174	12	44		12	3	13	44	9	33	4		
		40m³以上	338	49	59	41	31	4	19	15	32	43	45		
	私 設	40m³未満	12	12											
		40m³以上	27	27											
小 計			702	127	34	26	129	61	62	72	64	81	46		
そ の 他	貯 溜	プ ー ル	46	13	2	3	6	5	4	3	2	5	3		
		池 水	417	54	17	7	112	48	55	24	34	45	21		
		溜 枡	87	46	2	7	3	6	1	5	2	2	13		
		井 戸	23	4	2	4			1		1	10	1		
	流 動	河 川 溝	79	8	6	3	8	2		29	19	3	1		
		海 水	16	2								13	1		
		下 水													
	そ の 他		34		5	2			1	11	6	3	6		

■消防隊活動状況(全署)

令和2年1月1日～令和2年12月31日

区分		件数等	出動件数	出動台数	出動人員
風水害等出動状況	風水害		4	5	17
	特別警戒		19	27	75
	偵察		112	141	498
	遭難		0	0	0
	誤報・虚報		1	2	7
	警備		0	0	0
	訓練指導		19	24	95
	その他		16	23	67
合計			171	222	759
警防調査状況	地水利		590	702	1,819
	危険区域		5	5	10
	水防・山林		42	52	138
	特殊建築物		44	45	137
	予防査察		551	626	1,518
	その他		38	39	82
合計			1,270	1,469	3,704

■警防計画書策定状況

令和2年12月31日現在

種別				警防計画書 危険区域	警防計画書 特殊建築物
署所別		市別			
南消防署管内	本署	観音寺市	観音寺	17	168
	一分署		大野原	111	27
			豊 浜	90	30
北消防署管内	本署	三豊市	高 瀬	72	120
			三 野	33	33
			豊 中	48	48
	二分署		山 本	37	21
			財 田	35	18
	三分署		詫 間	52	76
			仁 尾	25	29
合 計				520	570

情報指令



■通信指令機器設置状況

令和3年4月1日現在

名称	本部	南消防署		北消防署			その他		観音寺警察署	紫雲出山基地局	合計	備考
		本署	第一分署	本署	第二分署	第三分署	事務局	防災センタ―				
1 消防緊急通信指令台	2										2	NEC:SN760(指令制御:SV8500)
2 署所端末装置		1	1	1	1	1					5	
3 指令情報出力装置	1	1	1	1	1	1					6	
4 情報共有端末	1	1	1	1	1	1					6	
5 車両・支援・多目的表示盤	3										3	70インチカラーディスプレイ
6 指揮台	1										1	
7 無線統制台	1										1	
8 遠隔制御器	1										1	デジタル無線用
9 自動出動指定装置	3										3	23インチカラーディスプレイ
10 地図検索装置	3										3	23インチカラーディスプレイ
11 多目的ディスプレイ	3										3	23インチカラーディスプレイ
12 気象観測装置	1										1	
13 震度計	1										1	
14 音声合成装置	1										1	順次指令・自動案内用
15 順次指令装置	1										1	4回線、バックアップ用
16 災害状況等自動案内装置	1										1	20回線、バックアップ用
17 デジタル式電話交換機	1		1	1	1	1					5	
18 加入電話回線	10	1	1	3	1	1					17	ISDN4回線8局(本部・南)
19 携帯電話	3	3	1	3	1	1					12	
20 内線電話機	25	19	6	25	7	8	2	1			93	
21 FAX119受信装置	1										1	
22 メール119受信装置	1										1	
23 Eメール順次指令装置	1										1	
24 自家発電機	1		1	1	1	2				1	7	
25 専用線			1	2	1	1			1	1	7	
26 携帯電話・IP直収電話119番回線	4										4	ISDN2回線4局(携帯・IP重畳)
27 消防無線基地局(デジタル)	1									1	2	無線機(20W)
28 車載型移動局無線装置(デュアル)	8	10	5	10	4	5					42	デジタル5W/アナログ10W
29 卓上型移動局無線装置(5W)	1		1	1	1	1					5	デジタル、指令の無線バックアップ
30 可搬型移動局無線装置(5W)	1										1	デジタル
31 携帯型移動局(1W)	5	9	5	9	5	5					38	デジタル
32 デジタル用無線受令機	1		1	1	1	1					5	デジタル
33 署活系携帯型移動局(1W)	7	15	8	15	8	8					61	アナログ
34 携帯型無線機(5W)	3	1		1							5	アナログ(防災相互波)
35 署活系無線受令機	1										1	アナログ
36 香川県防災行政無線システム(端末)	1										1	
37 四国電力専用電話	1										1	
38 衛星通信電話	2	2	1	1	1	1					8	
39 NEXCO専用電話	1										1	
40 通報装置副受信制御機	1										1	七宝山トンネル
41 全国瞬時警報システム(JーALERT)	2	1		1							4	
42 緊急情報ネットワークシステム(EmーNet)	2										2	
43 電話通訳センターを介した三者間同時通訳	1										1	
備考												

気 象 状 況

■月別気象状況

令和2年

区分	気温(℃)			湿度(%)			風速(m/s)		風向	雨量(mm)	
種別 月別	最高	最低	平均	最低	平均	実効 (最低)	最高	平均	最多 風向	月合計	24H最高
1	19.7	0.1	8.4	47.4	79.7	70.2	23.1	0.4	東北東	61.0	13.5
2	16.7	-0.3	7.5	32.2	77.4	69.8	22.6	2.2	西	34.0	12.0
3	21.2	0.4	10.6	20.0	77.8	61.2	20.9	2.0	西北西	58.5	13.5
4	22.4	3.0	13.1	22.2	67.7	58.4	18.4	2.3	東北東	126.5	53.0
5	29.1	11.1	20.2	18.8	75.0	65.2	17.3	1.8	北東	54.0	13.0
6	33.1	17.4	24.2	29.9	82.3	71.5	13.3	1.5	東北東	123.5	38.5
7	35.1	19.8	25.7	53.0	87.9	79.5	13.7	1.5	西北西	246.0	69.5
8	37.5	24.5	30.2	29.9	75.2	68.2	13.5	1.4	東北東	5.0	5.0
9	36.1	14.7	25.0	34.1	80.6	70.7	20.4	1.8	東北東	188.5	66.0
10	28.1	7.4	18.2	40.0	81.6	75.6	16.1	2.1	東	95.5	31.5
11	26.2	5.5	14.1	43.3	81.3	73.8	18.9	1.8	西	50.0	36.5
12	15.8	0.2	8.1	47.4	75.5	64.3	25.6	2.6	西北西	21.5	8.5

※気温・湿度の最高・最低は毎月における極値を記載

※実効湿度は毎月における最低値を記載

■警報注意報等発令状況

令和2年

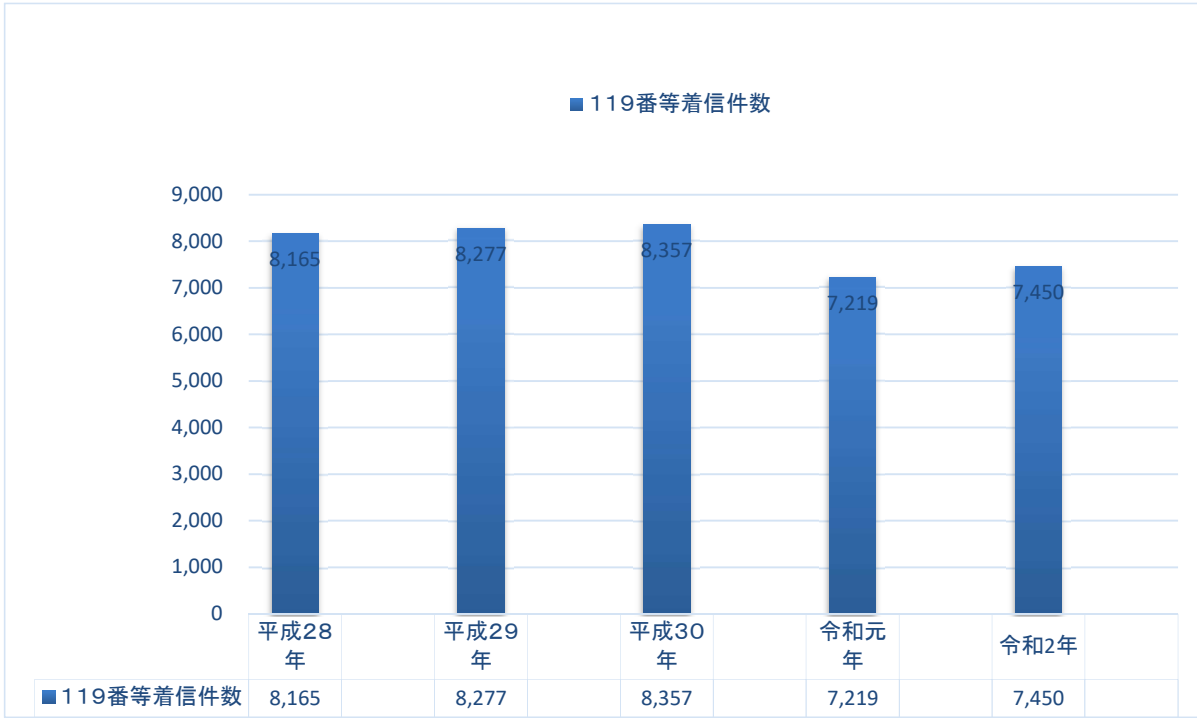
種別 月別	警 報							注 意 報													情報	
	大雪	暴風	波浪	大雨	洪水	高潮	小計	風雨	風雪	強風	波浪	高潮	大雨	洪水	大雪	雷	乾燥	濃霧	霜	低温	小計	各種
1										3	3					2	1	1			10	9
2									1	2	2				1	2	3	3			14	7
3										4	4	1				6	2	1	12		30	5
4										4	4			1		5	8	1	8		31	6
5										1	1					4	4	1			11	1
6													1			7	1	2			11	5
7				3	1								4	2		11					17	15
8												3				13	2				18	1
9					1					2	2	2	3	2		9	1				21	14
10										1	1	1				1					4	6
11										2	2					1	1				6	1
12										6	6				1	1	5				19	8
合計				3	2		5		1	25	25	7	8	5	2	62	28	9	20		192	78

■119番等受信状況

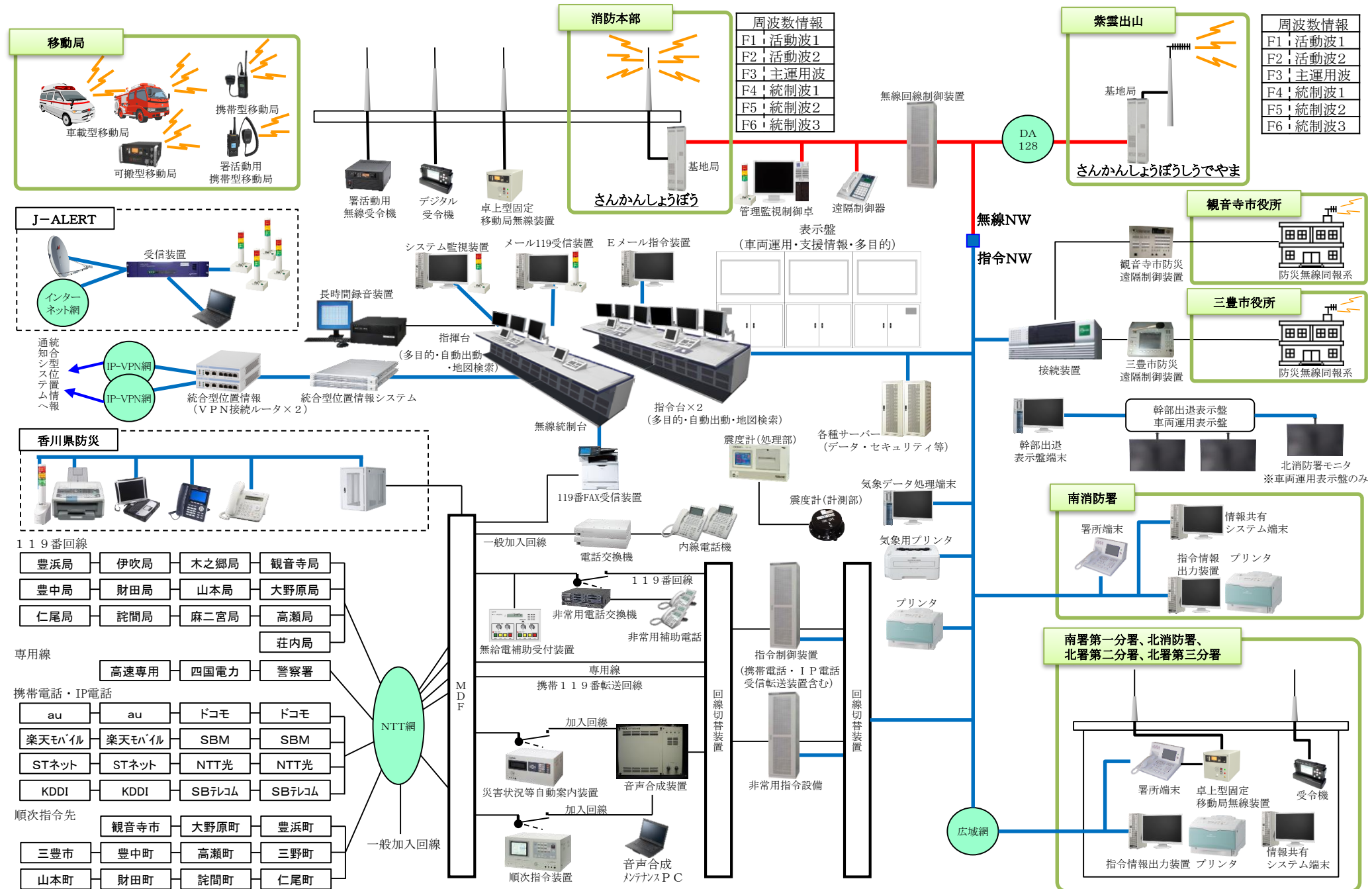
令和2年(単位／件)

		計	火災	救急	救助	その他災害	通報訓練	いたずら	問い合わせ	病院紹介	その他
119番 通報	固定電話	2,238	5	1,304	2	7	215	3	84	12	606
	IP電話	1,697	6	1,389	2	5	90	3	54	9	139
	携帯電話	3,113	30	1,964	29	38	68	8	245	56	675
加入電話		199	3	136	1	59					
駆け付け通報		38		36		2					
警察専用電話		118	1	96	14	7					
自己覚知		35		21	1	13					
高速専用電話		6	1	2	3						
その他		6	1	3		2					
合 計		7,450	47	4,951	52	133	373	14	383	77	1,420
災 害 案 内		受付件数	27,789				あふれ件数 (話中)		3,765		

	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
119番等着信件数	8,165	8,277	8,357	7,219	7,450
災害案内件数	34,148	52,444	38,008	27,037	27,789



消防救急緊急システム・通信構成図



火 災 統 計

2021年度全国統一防火標語

『おうち時間 家族で点検 火の始末』



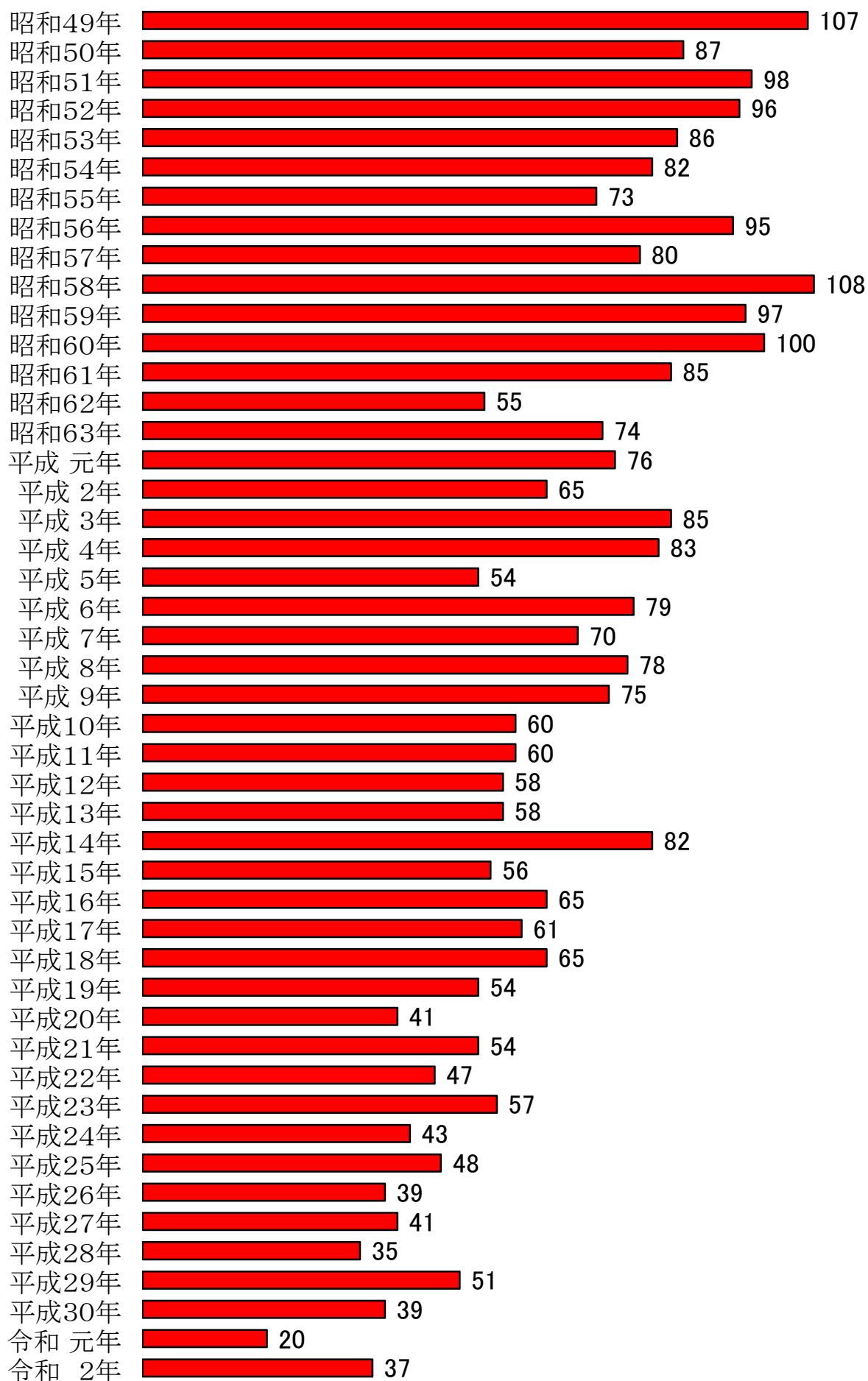
住宅用火災警報器を設置し、
定期的に点検をしましょう。

古くなった警報器は、電池や電
子部品の寿命等で火災を感知
しなくなる可能性があります。
10年を目安に交換することを推
奨します。

■広域消防発足以来の火災件数及び損害額

年 別	件 数	火災種別						爆 発	焼損面積		損 害 額 (千円)							
		建 物	林 野	車両		船 舶	その他		建 物 (㎡)	林 野 (a)	建 物	林 野	車 両		船 舶	そ の 他	爆 発	計
				自 動 車	鉄 道								自 動 車	鉄 道				
S47	77	61	8	6		1	1		3,244	60	158,854	1,020	1,278		5	10		161,167
S48	95	67	9	7		2	10		3,124	47	96,285	2,765	6,965		75	85		106,175
S49	107	54	24	4			25		1,971	17	48,736	869	197			1,732		51,534
S50	87	48	12	10		1	16		2,493	67	97,184	407	1,688		381	827		100,487
S51	98	72	5	8			13		3,698	68	126,140	255	1,038			652		128,085
S52	96	61	20	4		1	10		2,163	222	70,932	1,023	95		250	5		72,305
S53	86	50	16	6		2	12		3,353	305	118,887	260	1,293		32,220	386		153,046
S54	82	58	11	3		1	9		3,532	430	144,732	8,037	310		55,000	73		208,152
S55	73	63	4	3			3		3,623	426	234,196	1,920	102			1,660		237,878
S56	95	73	3	1		1	17		4,803	104	330,467	1,000	250		40	1,515		333,272
S57	80	53	5	7		2	13		2,407	203	114,034	155	5,529		1,044	432		121,194
S58	108	70	10	9		1	18		4,940	744	541,239	2,135	694		4,350	917		549,335
S59	97	69	4	4		1	19		4,102	300	366,667	865	348		700	1,614		370,194
S60	100	76	7	4			13		5,728	14,605	321,770	83,645	1,104			640		407,159
S61	85	57	10	4		1	13		5,104	5,072	367,229	37,967	2,995		864	664		409,719
S62	55	42	2	2			9		2,962	122	185,912	1,495	547			2,156		190,110
S63	74	60	1	5		1	7		5,611	10,500	336,093	26,000	3,343		10	12,250		377,696
H元	76	52	4	12			8		9,641	2,270	507,878	5,308	4,415			225		517,826
H 2	65	49	4	7		2	3		2,636	115	227,504		5,976		473	4,540		238,493
H 3	85	60	3	9		1	12		9,215	176	557,461		2,360		725	1,666		562,212
H 4	83	62	2	11		1	7		5,180	18	695,476		12,244		6,275	1,516		715,511
H 5	54	39	4	6			5		3,715	428	359,350		4,638			1,432		365,420
H 6	79	57	3	5			14		4,432	171	322,599	44	1,498			3,073		327,214
H 7	70	48	5	6			11		3,692	1,470	277,282	18,261	2,569			1,778		299,890
H 8	78	48	6	9	1		14		9,305	376	858,434	580	5,103	60,216		6,583		930,916
H 9	75	52	2	13			8		3,883	31	276,917		18,129			187		295,233
H10	60	46	3	4			7		2,273	2,435	107,486	15,677	589			529		124,281
H11	60	37	3	10			10		2,924	26	242,889		7,569			1,905		252,363
H12	58	36	4	6			12		5,517	7,049	310,033	51,950	1,334			1,459		364,776
H13	58	40	2	9			7		4,558	59	463,032		12,738			1,378		477,148
H14	82	59	4	8			11		4,240	1,768	680,839	20,579	4,505			2,311		708,234
H15	56	44		7			5		10,219		908,019		1,525			27		909,571
H16	65	48	1	5			9	2	3,409	3	345,519		2,663			81		348,263
H17	61	33	5	6			17		2,614	101	202,009	8,649	39,228			22		249,908
H18	65	49		6			10	2	3,499		124,818		2,059			38		126,915
H19	54	37	2	3		1	11		4,075	6	236,971	29	1,720		10,181	18		248,919
H20	41	25		2			14		3,478	3	155,146		97			1,677		156,920
H21	54	33	1	15		1	4	1	5,161	13	315,850		8,386					324,236
H22	47	39	1	5			2		4,259	60	320,654	180	2,050			732		323,616
H23	57	37	1	4			15		2,635	30	160,059		955			203		161,217
H24	43	32		3			8		4,344		220,036		757			276		221,069
H25	48	30		7			11	1	4,135		304,676		2,561			560		307,797
H26	39	22	2	9			7		6,279	40	228,747		5,527			24,764		259,038
H27	41	31		2		1	7		2,641		155,687		283		1,608	2,458		160,036
H28	35	26		3			6		1,510		39,295		178					39,473
H29	51	31	2	7			11	1	2,271	29	81,333		6,292			18,375		106,000
H30	39	25	1	5			8		2,129	12	116,209		226			5,156		121,591
R元	20	10		3			7		2,627		50,299		1,585			30		51,914
R2	37	24	2	3			8		1,128	10	38,601		1,310			21,618		61,529

■ 広域消防発足以後の火災件数推移グラフ



■広域消防発足以来の主な火災

年別	出火 月日	火災 種別	出火 時分	鎮火 時分	出火 場所	火元 用途	焼損面積等		類焼棟数 (棟)	死者	負傷者	出火原因	損害額計 (千円)
							(㎡)	(a)					
S47	10月29日	建物	10:30	13:00	三豊郡豊中町本山	工場	660		1		1	溶接機・切断機	50,000
S48	4月3日	建物	22:00	4日0:09	観音寺市栗井町	工場	697		1		1	溶接機・切断機	70,286
S54	12月18日	建物	20:55	21:51	三豊郡詫間町詫間	船舶						溶接機・切断機	55,000
S56	3月23日	建物	22:45	23:46	観音寺市村黒町	店舗住宅	396					不明	61,083
S56	12月3日	建物	4:10	5:55	観音寺市柞田町	倉庫	348		2			不明	55,201
S58	1月14日	建物	3:05	4:29	観音寺市中田井町	事務所	540		2			不明	84,093
S58	8月3日	建物	2:50	5:01	三豊郡詫間町詫間	住宅	406		2			たばこ	51,673
S58	8月27日	建物	19:48	20:58	三豊郡大野原町中姫	工場	500					電気炉	241,008
S59	1月15日	建物	1:15	2:50	三豊郡高瀬町佐保	工場	470					石油ストーブ	162,956
S60	2月2日	林野	18:30	5日10:00	三豊郡豊浜町箕浦	普通林		13,600				不明	61,302
S60	5月3日	建物	18:00	21:40	観音寺市伊吹町	店舗	1,229		10		1	不明	64,943
S61	3月8日	林野	13:00	9日10:15	三豊郡詫間町大浜	人工林		100			3	不明	23,879
S61	8月20日	林野	15:50	23日14:00	観音寺市栗井町	制限林		400			2	たき火	490
S61	10月31日	建物	11:15	18:00	三豊郡山本町財田西	作業場	1,575					火花	177,660
S63	2月7日	建物	2:20	6:50	観音寺市柞田町	作業場	929					不明	116,583
H元	1月1日	建物	14:20	18:00	三豊郡仁尾町仁尾	学校	3,304					不明	128,581
H元	4月18日	林野	15:40	22日9:40	三豊郡豊中町下高野	普通林		200			4	火入れの火の粉	5,200
H元	12月10日	建物	11:30	16:35	三豊郡豊浜町姫浜	工場	1,278				2	摩擦による	92,331
H3	2月3日	建物	5:30	9:32	三豊郡詫間町大浜	養鶏場	5,184					不明	296,475
H4	1月21日	建物	3:07	5:17	三豊郡豊浜町和田浜	作業場	1					不明	212,162
H4	7月16日	建物	1:34	6:04	観音寺市観音寺町	店舗	784					不明	134,546
H5	7月18日	建物	3:35	5:02	三豊郡高瀬町佐股	作業場	339					不明	112,413
H8	11月28日	建物	16:50	19:30	三豊郡詫間町詫間	工場	4,403			2	10	不明	539,543
H10	9月16日	林野	13:15	17日19:30	三豊郡詫間町大浜	制限林		200				煙突の火の粉	15,472
H12	2月18日	林野	10:50	15:30	三豊郡豊浜町箕浦	原野		700			2	たき火	51,844
H13	3月14日	林野	13:37	15日8:15	三豊郡詫間町詫間	制限林		50				たばこ	0
H13	4月7日	建物	20:30	22:24	三豊郡豊中町上高野	工場	153					静電気のスパーク	193,992
H14	6月1日	建物	2:30	4:09	三豊郡豊浜町姫浜	作業場	791		1			不明	440,303
H14	12月14日	林野	14:20	19日15:00	三豊郡詫間町栗島	原野		1,700				その他	20,579
H15	1月26日	建物	21:50	27日1:24	三豊郡高瀬町新名	店舗	890		1			配線器具	66,380
H15	4月23日	建物	18:53	22:40	三豊郡豊中町比地大	店舗	6,256					マッチ・ライター	694,645
H16	1月7日	建物	20:40	8日0:10	三豊郡豊中町岡本	作業場	512					たき火	72,895
H16	8月23日	建物	20:20	21:25	観音寺市瀬戸町	作業場	410					落雷	80,236
H17	4月2日	建物	0:15	4:59	観音寺市柞田町	作業場	56					金属の火花	51,313
H17	7月15日	建物	19:55	22:13	三豊郡山本町財田西	作業場	496					溶接機・切断機	51,968
H19	11月10日	建物	17:45	20:25	三豊市詫間町箱	住宅	552		7			不明	53,961
H20	2月28日	建物	9:30	11:00	三豊市高瀬町上麻	工場	1,322					溶接機・切断機	50,993
H21	8月25日	建物	1:05	14:30	観音寺市柞田町	工場	2,544		2			金属の衝撃火花	194,703
H22	7月22日	建物	2:00	4:00	観音寺市伊吹町	工場	533		1			発電機	94,550
H24	7月20日	建物	不明	7:35	三豊市詫間町詫間	作業場	1,337		1			不明	81,651
H25	10月10日	建物	14:30	21:00	観音寺市大野原町	工場	2,500		1		1	スイッチの火花が飛ぶ	259,528
H26	8月3日	建物	15:20	4日3:25	三豊郡山本町財田西	工場	3,802					不明	108,747
H27	1月8日	建物	14:55	16:47	三豊市詫間町松崎	住宅	600		5		1	不明	56,784
H29	6月1日	林野	23:50	2日10:50	観音寺市豊浜町和田	人工林		2				落雷	0
H30	11月20日	建物	17:40	23:04	三豊市財田町財田上	工場	46					グラインダーの火花	958
R元	2月16日	建物	22:15	17日6:00	観音寺市伊吹町	住宅	1,331		16			放火の疑い	22,399

※ 損害額が5,000万円以上、出火から鎮火までに5時間以上要した火災、林野火災で焼損面積が500a以上の火災。

■管内市別火災件数の推移

(単位:千円)

署所別				年 別		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
				市 別						
南消防署管内	本署	観音寺市	観音寺	件 数	9	13	7	9	11	
				損害額	14,792	21,704	29,077	29,888	5,595	
	第一分署		大野原	件 数	3	6	1	2	4	
				損害額	2,037	29,749	4,610	4,991	5,890	
			豊 浜	件 数	2	5	2	1	3	
				損害額	60	2,641	12,792	231	108	
小 計				件 数	14	24	10	12	18	
				損害額	16,889	54,094	46,479	35,110	11,593	
北消防署管内	本署	三豊市	高 瀬	件 数	5	7	6	2	4	
				損害額	4,128	5,032	4,854	15,085	18,581	
			三 野	件 数	1	5	3		1	
				損害額	40	17,189	34,124		375	
			豊 中	件 数	5	6	2	1	3	
				損害額	13,551	7,500	736		129	
	第二分署		山 本	件 数	3	3	2	1	4	
				損害額	87	3,752	0		491	
			財 田	件 数	1	1	4	1	2	
				損害額	7	2,224	2,057	30	1,456	
	第三分署		詫 間	件 数	4	4	9	2	5	
				損害額	3,374	12,134	32,151	800	28,904	
		仁 尾	件 数	2	1	3	1			
			損害額	1,397	4,075	1,190	889			
	小 計				件 数	21	27	29	8	19
					損害額	22,584	51,906	75,112	16,804	49,936
合 計				件 数	35	51	39	20	37	
				損害額	39,473	106,000	121,591	51,914	61,529	

■出火原因の年別推移

年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
ワースト	ストーブ	たき火	たき火	たき火	たき火
1位	4	10	8	5	7
2位	たき火	たばこ	たばこ	風呂かまど	こんろ
	3	4	4	1	2
3位	こんろ	電気装置	電気機器	焼却炉	ストーブ
	2	3	3	1	2
4位	放火	放火の疑い	こんろ	内燃機関	電灯・電話線
	2	3	2	1	2
5位	風呂かまど	こんろ	焼却炉	配線器具	放火
	1	2	2	1	2
6位	焼却炉	電気機器	電灯・電話線	マッチ・ライター	放火の疑い
	1	2	2	1	2
7位	電気機器	放火	ストーブ	放火	こたつ
	1	2	1	1	1
8位	電気装置	排気管	煙突・煙道	放火の疑い	排気管
	1	1	1	1	1
9位	電灯・電話線	配線器具	配線器具		電気機器
	1	1	1		1
10位	衝突の火花	灯火	溶接機・切断機		電気装置
	1	1	1		1
11位	放火の疑い	取灰			内燃機関
	1	1			1
12位					配線器具
					1
13位					火遊び
					1
14位					灯火
					1
15位					
	その他	その他	その他	その他	その他
	7	8	6	2	6
	不明・調査中	不明・調査中	不明・調査中	不明・調査中	不明・調査中
	10	13	8	6	6
合 計	35	51	39	20	37

■令和2年火災概況

令和2年1月1日～12月31日

(1)概況総括

区 分		令和2年累計 (A)	令和元年累計 (B)	対前年増減数 (A)-(B)=(C)	増 減 率(%) (C)/(B)×100
総出火件数(件)		37	20	17	85.0
内 訳	建築物火災 (うち住宅火災)	24	10	14	140.0
		8	4	4	100.0
	林野火災	2		2	皆増
	車両火災	3	3		
	船舶火災				
	航空機火災				
	その他火災	8	7	1	14.3
焼損棟数		34	41	△7	△17.1
り災世帯数		16	15	1	6.7
り災人員		41	39	2	5.1
焼損面積	建物焼損床面積(㎡)	1,086	2,558	△1,472	△57.5
	建物焼損表面積(㎡)	42	69	△27	△39.1
林野焼損面積(a)		10		10	皆増
損害額(千円)		61,529	51,914	9,615	18.5
内 訳	建築物	38,601	50,299	△11,698	△23.3
	林野				皆増
	車両	1,310	1,585	△275	△17.4
	船舶				
	航空機				
	その他	21,618	30	21,588	71,960.0
死者数 (うち放火自殺者数)			2	△2	△100.0
負傷者数		3	7	△4	△57.1

(2)出火原因

出火原因別件数	令和2年累計 (A)	令和元年累計 (B)	対前年増減数 (A)-(B)=(C)	増 減 率(%) (C)/(B)×100
たばこ				
こんろ	2		2	皆増
かまど				
風呂かまど		1	△1	△100.0
炉				
焼却炉		1	△1	△100.0
ストーブ	2		2	皆増
こたつ	1		1	皆増
ボイラー				
煙突・煙道				
排気管	1		1	皆増
電気機器	1		1	皆増
電気装置	1		1	皆増
電灯・電話等の配線	2		2	皆増
内燃機関	1	1		
配線器具	1	1		
火遊び	1		1	皆増
マッチ・ライター		1	△1	△100.0
たき火	7	5	2	40.0
溶接機・切断機				
灯火	1		1	皆増
衝突の火花				
取灰				
火入れ				
放火	2	1	1	100.0
放火の疑い	2	1	1	100.0
その他	6	2	4	200.0
不明・調査中	6	6		
合 計	37	20	17	85.0

(3)月別出火件数

区分	件数	建 物	林 野	車 両	船 舶	航空機	その他
月	合計						
1	2			1			1
2	8	5	1				2
3	4	4					
4	5	2		1			2
5	4	3					1
6	2	2					
7	1	1					
8	4	3					1
9	3	1	1	1			
10							
11	1	1					
12	3	2					1
累計	37	24	2	3			8

(4)火災による死者の内訳

経過	死者	逃げ	出	着	放	そ	爆	不
年齢	合計	お	火	衣	火	の	発	明
		く	後	着	自	他	死	・
		れ	再	火	殺		者	調
			進	入				査
5歳以下								中
6～10歳								
11～20歳								
21～30歳								
31～40歳								
41～50歳								
51～60歳								
61～64歳								
65歳以上								
不明								
計								

(5)火災件数・損害等平均値

火災発生間隔(日)	9.9
1ヶ月平均出火件数(件)	3.1
1ヶ月平均損害額(千円)	5,127
1件平均損害額(千円)	1,663
1日平均損害額(千円)	169
1件当たり焼損面積	建物(㎡) 47.0
	林野(a) 5.0

■月別火災発生状況

令和2年1月1日～12月31日(件:千円)

市町別(月)				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計		
南 消 防 署 管 内	本署	観音寺	火災件数		2	2	2	1	2		1				1	11		
			うち爆発															
			損 害 額		215	964	513	232	3,648					23	5,595			
	第一分署	大野原	火災件数		2	1									1	4		
			うち爆発															
			損 害 額		4,959	930							1		5,890			
		豊 浜	火災件数		2										1	3		
			うち爆発															
			損 害 額		108											108		
	北 消 防 署 管 内	本署	高 瀬	火災件数					2		1		1				4	
				うち爆発														
				損 害 額					142		18,439						18,581	
三 野			火災件数								1						1	
			うち爆発															
			損 害 額								375					375		
豊 中			火災件数		1		1	1									3	
			うち爆発															
			損 害 額		35			94								129		
第二分署			山 本	火災件数	1	1						1	1					4
				うち爆発														
				損 害 額	80	14						14	383				491	
			財 田	火災件数			1						1					2
				うち爆発														
				損 害 額			276						1,180				1,456	
第三分署			詫 間	火災件数	1			2				1				1	5	
				うち爆発														
				損 害 額	21,343			6,913			488				160	28,904		
		仁 尾	火災件数															
			うち爆発															
			損 害 額															
火災件数				2	8	4	5	4	2	1	4	3		1	3	37		
うち爆発																		
損 害 額				21,423	5,331	2,170	7,426	468	3,648	18,439	877	1,563		1	183	61,529		

■原因別火災発生状況

令和2年1月1日～令和2年12月31日

	総 出 火 件 数	内 訳							爆 発	焼損面積			焼損棟数				損害額(千円)										死傷者					
		建 物 火 災	林 野 火 災	車両 火災		船 舶 火 災	航 空 機 火 災	そ の 他 火 災		建 物		林 野 (a)	全 焼	半 焼	部 焼 分	ぼ や	建 物	林 野	車 両		船 舶	航 空 機	そ の 他	爆 発	合 計	死者		負傷者				
				自 動 車	鉄 道					火	爆								火	3 0 日 死 者						爆	3 0 日 死 者					
たばこ																																
こんろ	2	2							339			2				19,346									19,346							
かまど																																
風呂・かまど																																
炉																																
焼却炉																																
ストーブ	2	2							16					1	1	277									277			1				
こたつ	1	1							26				1			3,341									3,341							
ボイラー																																
煙突・煙道																																
排気管	1			1													1,180								1,180							
電気機器	1	1												1	215										215							
電気装置	1	1							8					1	14										14							
電灯・電話線	2	2							45	1				2	3,648										3,648			1				
内燃機関	1	1							347	10		3		4	6,863										6,863							
配線器具	1	1													1	57									57							
火遊び	1	1								2				1	94										94							
マッチ・ライター									82																							
たき火	7	3		1				3		28		3		2	1	1,015		80				232			1,327			1				
溶接機・切断機																																
灯 火	1	1								1					1	23									23							
衝突の火花																																
取 灰																																
火 入 れ																																
放 火	2	2							29					1	1	1,718									1,718							
放火の疑い	2		1					1			10																					
その他	6	4	1	1					72			1		1	3	1,016		50							1,066							
不明・調査中	6	2						4	122			1		1		974						21,386		22,360								
合 計	37	24	2	3				8	1,086	42	10	10	1	14	9	38,601		1,310				21,618		61,529			3					

■建物用途ごとの火災発生状況

令和2年1月1日～令和2年12月31日

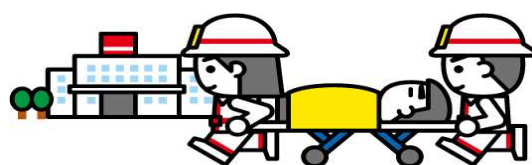
用 途 別 区 分			計	専 用 住 宅	併 用 住 宅	下 宿 ・ 共 同 住 宅	工 場 ・ 作 業 場	倉 庫 ・ 物 置	物 品 販 売 店 舗	飲 食 店	事 務 所	畜 舎	複 合 用 途	そ の 他 用 途
構造別	計		24	8	1		2	7	1		2	1		2
	耐 火 構 造		1						1					
	準 耐 火 構 造		5				2	1			1	1		
	木 造		11	6				5						
	そ の 他		7	2	1			1			1			2
焼損棟数	計		34	9	1		2	16	1		2	1		2
	全 焼		10	3				7						
	半 焼		1	1										
	部 分 焼		14	3			1	8						2
	ぼ や		9	2	1		1	1	1		2	1		
損害	焼損面積	床面積	1,086	465			46	567						8
	(㎡)	表面積	42	15				26						1
	損害額(千円)		38,601	25,001	57		4,010	9,092	215		101	98		27
り災世帯数	計		16	9	1		1	5						
	全 損		4	3				1						
	半 損		1	1										
	小 損		11	5	1		1	4						
り 災 人 員			41	19	1		5	16						
原因別	計		24	8	1		2	7	1		2	1		2
	た ば こ													
	こ ん ろ		2	2										
	か ま ど													
	風 呂 か ま ど													
	炉													
	焼 却 炉													
	ス ト ー ブ		2	1							1			
	こ た つ		1	1										
	ボ イ ラ ー													
	煙 突 ・ 煙 道													
	排 気 管													
	電 気 機 器		1						1					
	電 気 装 置		1											1
	電 灯 ・ 電 話 線		2				1							1
	内 燃 機 関		1					1						
	配 線 器 具		1		1									
	火 遊 び		1					1						
	マッチ・ライター													
	た き 火		3	1				2						
	溶接機・切断機													
	灯 火		1	1										
	衝 突 の 火 花													
	取 灰													
	火 入 れ													
	放 火		2	1							1			
	放 火 の 疑 い													
	そ の 他		4	1			1	1				1		
	不明・調査中		2					2						

■令和2年中の主な火災

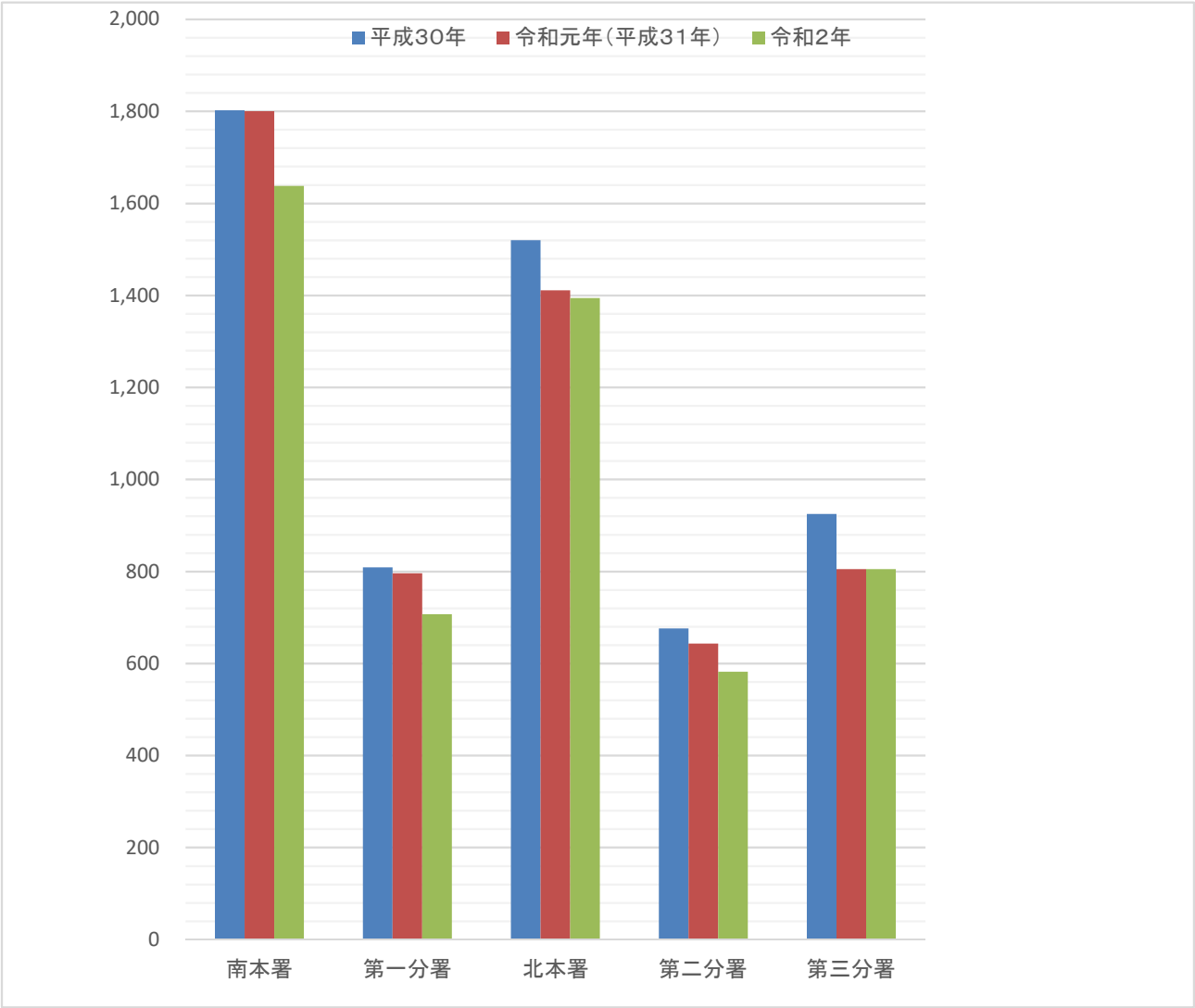
整理 番号	火災 種別	出 火 月 日	出 火 時 分	入 電 時 分	鎮 火 時 分	出 火 場 所	火 元 用 途	焼 損 面 積 等 (㎡)	死 者	3 0 日 死 者	出 火 原 因	損 害 額 計 (千円)
1	その他	1月 5日	5日11:10	7日 8:13	5日11:30	三豊市詫間町	太陽光発電施設				不明	21,343
2	建物	2月11日	11日 8:00	12日17:18	11日 8:05	観音寺市大野原町	住宅	26			こたつ	3,341
3	建物	4月29日	21:05	21:18	23:28	三豊市詫間町	納屋(倉庫)	357			内燃機関	6,863
4	建物	6月29日	20:00	20:33	21:39	観音寺市伊吹町	作業場	45			電灯・電話線	3,635
5	建物	7月16日	13:00	13:05	15:03	三豊市高瀬町	住宅	281			こんろ	18,439

※ 損害額が300万円以上の火災、死者の生じた火災、出火から鎮火までに3時間以上要した火災、林野火災で焼損面積が2㍍以上の火災。

救急統計

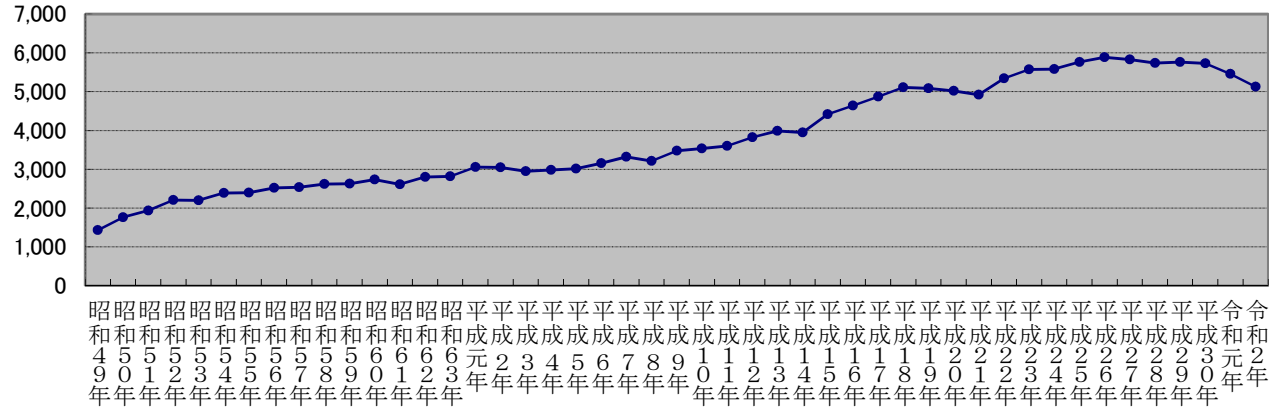


■署別、年別救急出動状況



年別	南消防署管内		北消防署管内			合計
	南本署	第一分署	北本署	第二分署	第三分署	
平成30年	1,802	809	1,520	676	925	5,732
令和元年(平成31年)	1,800	796	1,411	643	805	5,455
令和2年	1,638	707	1,394	582	805	5,126

救急件数の推移



■出動先別、事故別出場状況

令和2年1月1日～令和2年12月31日

[illegible]

■出動先別、事故別搬送人員状況

令和2年1月1日～令和2年12月31日

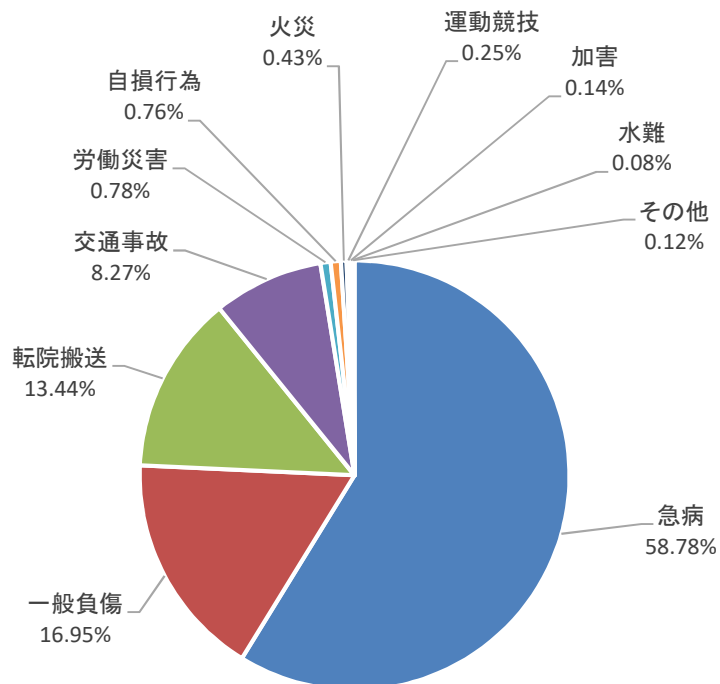
[illegible]

■出動先別、月別救急出場状況

令和2年1月1日～令和2年12月31日

出動先			月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
			区分														
観音寺市	観音寺	出場件数	151	117	130	110	121	106	133	161	142	137	138	152	1,598		
		搬送人員	139	106	110	99	116	98	124	153	131	126	126	136	1,464		
		不搬送件数	13	11	20	11	7	8	9	11	12	12	12	17	143		
	大野原	出場件数	30	40	40	29	30	30	30	32	45	39	35	45	425		
		搬送人員	30	35	35	28	29	28	27	29	41	36	31	41	390		
		不搬送件数	1	7	5	1	1	2	3	4	4	3	4	4	39		
	豊浜	出場件数	35	24	24	21	32	24	25	38	38	25	25	23	334		
		搬送人員	31	21	22	18	29	21	23	35	35	22	23	18	298		
		不搬送件数	4	3	2	3	3	3	2	3	3	3	2	5	36		
小計			出場件数	216	181	194	160	183	160	188	231	225	201	198	220	2,357	
			搬送人員	200	162	167	145	174	147	174	217	207	184	180	195	2,152	
			不搬送件数	18	21	27	15	11	13	14	18	19	18	18	26	218	
三豊市	高瀬	出場件数	89	53	36	40	57	59	58	75	63	56	56	72	714		
		搬送人員	80	49	35	34	53	55	56	70	59	52	51	66	660		
		不搬送件数	9	4	1	6	4	5	3	5	4	4	5	6	56		
	豊中	出場件数	35	41	30	26	25	39	26	44	40	30	42	37	415		
		搬送人員	33	39	29	21	24	37	23	43	39	29	37	35	389		
		不搬送件数	2	2	1	5	1	2	3	1	1	2	5	2	27		
	三野	出場件数	26	30	25	22	17	28	22	27	37	23	21	29	307		
		搬送人員	23	29	22	18	16	25	21	25	37	20	21	27	284		
		不搬送件数	3	2	3	4	1	3	1	2	0	3	1	2	25		
	山本	出場件数	23	29	24	25	34	23	25	29	33	29	23	43	340		
		搬送人員	21	28	23	24	33	22	24	28	32	28	21	41	325		
		不搬送件数	2	1	1	1	1	1	2	1	1	1	2	4	18		
	財田	出場件数	22	14	8	11	9	6	8	24	16	20	10	21	169		
		搬送人員	18	11	5	10	9	6	8	22	12	19	10	21	151		
		不搬送件数	4	3	3	1	0	0	0	2	4	1	0	2	20		
	詫間	出場件数	46	47	36	40	66	49	52	59	47	50	40	41	573		
		搬送人員	44	46	33	36	55	45	51	55	45	47	37	34	528		
		不搬送件数	2	1	3	4	11	4	1	5	2	3	3	7	46		
	仁尾	出場件数	16	17	25	21	20	22	22	18	14	15	15	20	225		
		搬送人員	14	15	23	18	18	21	22	19	14	14	14	19	211		
		不搬送件数	2	2	2	4	2	1	0	1	0	1	1	1	17		
小計			出場件数	257	231	184	185	228	226	213	276	250	223	207	263	2,743	
			搬送人員	233	217	170	161	208	211	205	262	238	209	191	243	2,548	
			不搬送件数	24	15	14	25	20	16	10	17	12	15	17	24	209	
高速道路			出場件数	1	4	3	1	0	3	1	2	10	0	1	0	26	
			搬送人員	1	3	0	1	0	3	1	2	8	0	0	0	19	
			不搬送件数	0	1	3	0	0	0	0	0	2	0	1	0	7	
その他			出場件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			搬送人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			不搬送件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計			出場件数	474	416	381	346	411	389	402	509	485	424	406	483	5,126	
			搬送人員	434	382	337	307	382	361	380	481	453	393	371	438	4,719	
			不搬送件数	42	37	44	40	31	29	24	35	33	33	36	50	434	

■事故別出場件数



■覚知別出場件数

令和2年1月1日～令和2年12月31日

[illegible]

■月別、事故別出場件数

令和2年1月1日～令和2年12月31日

月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
区分														
出 場 件 数		474	416	381	346	411	389	402	509	485	424	406	483	5,126
搬 送 人 員		434	382	337	307	382	361	380	481	453	393	371	438	4,719
不 搬 送 件 数		42	37	44	40	31	29	24	35	33	33	36	50	434
事故別 出場 場 件 数	火災	2	2	2	5	2	2	1	2	2			2	22
	自然災害													
	水難		1		1		1						1	4
	交通事故	21	44	30	19	21	45	40	46	54	35	26	43	424
	労働災害	1	2	2	2	2	5	3	5	4	5	4	5	40
	運動競技	3		1				1	3	2		1	2	13
	一般負傷	84	66	70	51	68	65	76	77	75	84	67	86	869
	加害			1		2			2		1		1	7
	自損行為	4	3	3	2	1	3	4	1	4	1	4	9	39
	急病	296	237	214	217	246	216	225	305	293	238	255	271	3,013
その他	そ 転院搬送	62	61	56	49	69	52	51	68	50	60	48	63	689
	の 医師搬送			2										2
	資器材等輸送													
その他	1						1		1		1			4
合 計		474	416	381	346	411	389	402	509	485	424	406	483	5,126

■曜日別、事故別出場状況

令和2年1月1日～令和2年12月31日

曜日別		月	火	水	木	金	土	日	合計
事故種別	火災	2	1	4	5	7		3	22
	自然災害								
	水難		1	1				2	4
	交通事故	68	62	68	57	55	73	41	424
	労働災害	7	7	4	7	8	1	6	40
	運動競技		1	2	1		4	5	13
	一般負傷	116	130	130	123	107	116	147	869
	加害	2	1		1	2	1		7
	自損行為	5	6	6	8	5	3	6	39
	急病	456	454	454	426	405	386	432	3,013
	その他の	転院搬送	115	128	137	87	118	79	689
		医師搬送				2			2
		資器材等輸送							
	その他	1	1		1	1			4
合計		772	792	806	718	708	663	667	5,126

■時間別、事故別出場状況

令和2年1月1日～令和2年12月31日

事故種別 時間別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他の				合計
											転院 搬送	医師 搬送	資器材 等輸送	その他	
0～2	1			1	1		30		1	137	6				177
2～4	1			4			17		1	105	3			1	132
4～6	1			8			22		2	113	3			1	150
6～8	3		1	34	5		76		2	229	7				357
8～10	2			72	9	2	135		6	403	92				721
10～12	1			71	6	3	120	1	4	335	170				711
12～14	3			37	5	4	84	2	2	321	133				591
14～16	6		1	62	7	3	93		1	247	125			2	547
16～18	1		1	68	3	1	94		3	301	94	1			567
18～20	1			34	1		108	1	10	330	36	1			522
20～22	2			20	2		58	3	4	276	14				379
22～24			1	13	1		32		3	216	6				272
合計	22		4	424	40	13	869	7	39	3,013	689	2		4	5,126

■年齢区分別、事故別、傷病程度別搬送人員

令和2年1月1日～令和2年12月31日

事故別 年齢	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計	死亡	重症	中等症	軽症	その他
新生児				1						4	3	8			7	1	
乳幼児				10		1	23			72	8	114		1	32	81	
少年				30		10	12			50	3	105	1		32	72	
成人	1		2	202	35	2	121	5	16	609	112	1,105	24	124	364	593	
高齢者				149	4		657	2	9	2,005	561	3,387	97	519	1,790	981	
合計	1		2	392	39	13	813	7	25	2,740	687	4,719	122	644	2,225	1,728	

※年齢区分は次により分類

新生児 生後28日以内の者
乳幼児 生後29日以上満7歳未満の者
少年 満7歳以上満18歳未満の者
成人 満18歳以上満65歳未満の者
高齢者 満65歳以上の者

※傷病程度は、初診時における医師の診断（救急業務実施基準
第20条第2項の医師の所見）に基づき次により分類

死亡 初診時において、死亡が確認されたもの
重症 傷病の程度が三週間以上の入院加療を必要とするもの
中等症 傷病の程度が入院を要するもので重症に至らないもの
軽症 傷病の程度が入院加療を必要としないもの
その他 医師の診断がないもの及び搬送先がその他の場所へ搬送したもの

■現場到着所要時間別出場件数

令和2年1月1日～令和2年12月31日

現場 到着 事故 種別	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	合計
急病	33	86	1,720	1,114	60	3,013
交通事故	1	16	232	165	10	424
一般負傷	8	19	510	309	23	869
その他	6	134	467	197	16	820
合計	48	255	2,929	1,785	109	5,126

■収容所要時間別搬送人員

令和2年1月1日～令和2年12月31日

収容所要 時間 事故 種別	10分未満		10分以上 20分未満		20分以上 30分未満		30分以上 60分未満		60分以上 120分未満		120分以上		合計	
		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外
急病			31	9	605	21	1,979	374	125	61			2,740	465
交通事故			7		74		285	42	26	13			392	55
一般負傷			11		185	2	570	90	47	21			813	113
その他			10		268	20	433	146	60	46	3	2	774	214
合計			59	9	1,132	43	3,267	652	258	141	3	2	4,719	847

■住民に対する応急手当普及啓発活動の状況

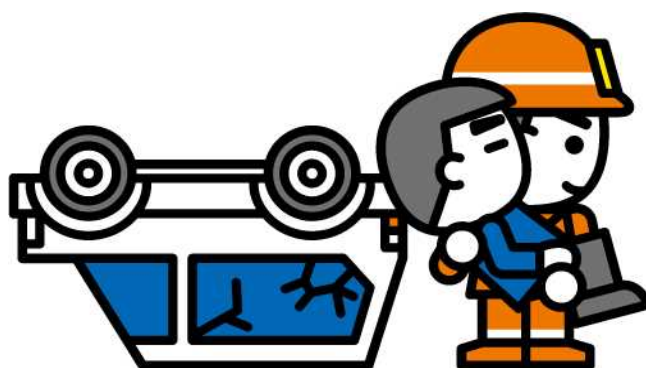
令和2年1月1日～令和2年12月31日

市別				種別	救命基礎講習（１時間）		普通救命講習（３時間）		上級救命講習（８時間）	
				回数	受講人員	回数	受講人員	回数	受講人員	
合 計				17	537	3	29	0	0	
南 消 防 署 管 内	本署	観音寺市	観 音 寺	8	138	20		0		
	第一分署		大 野 原	0	0	2		0		
			豊 浜	1	5	2		0		
	小 計			9	143	24		0		
北 消 防 署 管 内	本署	三 豊 市	高 瀬	3	142	0		0		
			三 野	0	0	0		0		
			豊 中	1	12	5		0		
	第二分署		山 本	1	98	0		0		
			財 田	0	0	0		0		
	第三分署		詫 間	1	45	0		0		
			仁 尾	2	97	0		0		
	小 計			8	394	5		0		
管 轄 外 居 住 者						0		0		

*救命基礎講習（回数）にあつては講習場所の市町

*上級・普通救命講習にあつては受講者の居住地市町

救 助 統 計



■署別・市町別・事故種別出動状況

令和2年1月1日～令和2年12月31日

署別・市町別			事故別	合計	火災		交通事故	水難事故	自然災害	機械による事故	建物による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故
					建物	建物以外								
合 計			出動件数	59			46	4		1				8
			活動件数	34			23	2		1				8
			救助人員	38			27	2		1				8
南消防署管内	本署	観音寺	出動件数	19			15	1						3
			活動件数	12			8	1					3	
			救助人員	13			9	1					3	
	第一分署	大野原	出動件数	5			2			1				2
			活動件数	4			1			1			2	
			救助人員	4			1			1			2	
		豊浜	出動件数	3			3							
			活動件数	2			2							
			救助人員	2			2							
	小 計		出動件数	27			20	1		1				5
			活動件数	18			11	1		1				5
			救助人員	19			12	1		1				5
北消防署管内	本署	高瀬	出動件数	7			5							2
			活動件数	3			1						2	
			救助人員	4			2						2	
		豊中	出動件数	3			3							
			活動件数	2			2							
			救助人員	2			2							
		三野	出動件数	5			5							
			活動件数	2			2							
			救助人員	2			2							
	第二分署	山本	出動件数	2			2							
			活動件数	2			2							
			救助人員	3			3							
		財田	出動件数	3			2	1						
			活動件数	1				1						
			救助人員	1				1						
	第三分署	詫間	出動件数	4			2	1						1
			活動件数	1									1	
			救助人員	1									1	
		仁尾	出動件数	3			2	1						
			活動件数	2			2							
			救助人員	2			2							
	小 計		出動件数	27			21	3						3
			活動件数	13			9	1						3
			救助人員	15			11	1						3
圏域外			出動件数	5			5							
			活動件数	3			3							
			救助人員	4			4							
高速道路 (内書き)			出動件数	8			8							
			活動件数	3			3							
			救助人員	4			4							

※高速道路については内書きとする

活動件数とは、出動件数のうち消防機関が何らかの救助活動を行った件数である。

救助人員には、消防機関と他機関が共同して救助活動中、他機関が救助した人員を含む。

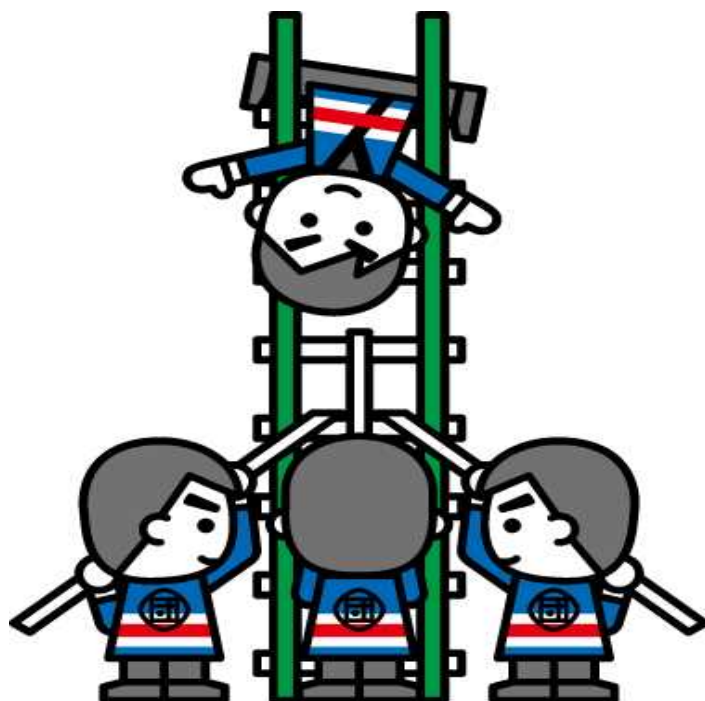
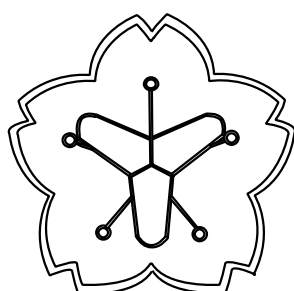
■救助技術大会出場状況

区分 回数別	四 国 大 会				全 国 大 会			
	大 年 月 日	出 場 種目数	入賞数	開催地	大 年 月 日	出 場 種目数	入賞数	開催地
1	47 . 9 . 20	1		高知市	47 . 9 . 28	1		東京都
2	48 . 8 . 12	1	1	松山市	48 . 9 . 21	1	1	大阪市
3	49 . 8 . 11	1	1	松山市	49 . 9 . 18	1		横浜市
4	50 . 8 . 21	19	10	高松市	50 . 9 . 10	2	1	東京都
5	51 . 8 . 16	14	9	高松市	51 . 9 . 10	2	2	名古屋市
6	52 . 8 . 9	14	10	徳島市	52 . 8 . 18	3	3	横浜市
7	53 . 8 . 9	12	8	徳島市	53 . 8 . 22	2	2	千葉市
8	54 . 7 . 31	11	10	高知市	54 . 8 . 24	2	1	大阪市
9	55 . 7 . 22	11	7	高知市	55 . 8 . 29	2		名古屋市
10	56 . 7 . 22	13	12	松山市	56 . 8 . 19	2	1	横浜市
11	57 . 7 . 26	12	11	松山市	57 . 8 . 19	2	2	横浜市
12	58 . 7 . 28	8	8	高松市	58 . 8 . 19	3	3	大阪市
13	59 . 8 . 1	7	7	高松市	59 . 8 . 24	1	1	名古屋市
14	60 . 7 . 26	7	6	徳島市	60 . 8 . 23	1	1	広島市
15	61 . 7 . 18	6	4	徳島市	61 . 8 . 22	1	1	神戸市
16	62 . 7 . 30	8	8	高知市	62 . 8 . 21	2	2	千葉市
17	63 . 7 . 28	6	6	高知市	63 . 8 . 19	1	1	横浜市
18	元 . 7 . 27	4	3	松山市	元 . 8 . 25			名古屋市
19	2 . 7 . 26	3	2	松山市	2 . 8 . 24	1	1	広島市
20	3 . 7 . 17	4	4	高松市	3 . 8 . 28			大阪市
21	4 . 7 . 17	4	4	高松市	4 . 8 . 28	1	1	千葉市
22	5 . 8 . 5	4	3	徳島市	5 . 8 . 20	1	1	福岡市
23	6 . 8 . 4	6	6	徳島市	6 . 8 . 25	1	1	京都市
24	7 . 7 . 27	5	5	高知市	7 . 8 . 25	1		北九州市
25	8 . 7 . 25	5	4	高知市	8 . 8 . 23			北海道
26	9 . 7 . 24	6	5	松山市	9 . 8 . 22			千葉市
27	10 . 7 . 30	6	3	松山市	10 . 8 . 28	1	1	大阪市
28	11 . 7 . 22	6	4	高松市	11 . 8 . 19	1	1	横浜市
29	12 . 7 . 26	6	4	高松市	12 . 8 . 18	1	1	熊本市
30	13 . 7 . 18	5	5	徳島市	13 . 8 . 8			東京都
31	14 . 8 . 7	6	5	徳島市	14 . 8 . 23			名古屋市
32	15 . 8 . 6	3	3	高知市	15 . 8 . 28			仙台市
33	16 . 8 . 6	4	3	高知市	16 . 8 . 26	1		神戸市
34	17 . 7 . 27	4	4	松山市	17 . 8 . 25	1		さいたま
35	18 . 7 . 26	6	4	松山市	18 . 8 . 24	2	2	札幌市
36	19 . 7 . 26	5	5	高松市	19 . 8 . 22	1	1	東京都
37	20 . 7 . 24	5	5	高松市	20 . 8 . 29	1		北九州市
38	21 . 7 . 23	5	4	徳島市	21 . 8 . 20	2	2	横浜市
39	22 . 7 . 22	6	6	徳島市	22 . 8 . 27	1	1	京都市
40	東日本大震災を考慮し中止			高知市	東日本大震災を考慮し中止			さいたま市
41	24 . 7 . 11	7	7	松山市	24 . 8 . 7	1	1	東京都
42	25 . 7 . 19	6	4	松山市	25 . 8 . 22	1	1	広島市
43	26 . 7 . 25	7	7	高松市	広島市土砂災害を考慮し中止			千葉市
44	27 . 7 . 24	5	5	高松市	27 . 8 . 29			神戸市

■救助技術大会出場状況

区分 回数別	四 国 大 会				全 国 大 会			
	大 年 月 日	出 場 種 目 数	入賞数	開催地	大 年 月 日	出 場 種 目 数	入賞数	開催地
45	28 . 7 . 29	6	6	松山市	28 . 8 . 24	2	2	松山市
46	29 . 7 . 21	6	4	徳島市	29 . 8 . 23	1	1	宮城県
47	平成30年7月豪雨災害を考慮し中止			高知市	平成30年7月豪雨災害を考慮し中止			京都府
48	元 . 7 . 27	6	6	高知市	元 . 8 . 25	1	1	岡山県
49	新型コロナウイルス感染拡大を考慮し中止			松山市	新型コロナウイルス感染拡大を考慮し中止			福岡県

消 防 団



■ 構成市消防団関係状況

令和3年4月1日 現在

市町 区分		観音寺市		市町 区分		三豊市		合計
		人員	報 酬			人員	報 酬	
条 例 定 員		713		条 例 定 員		1,091		1,804 人
人員の状況等	計	681		人員の状況等	計	1,071		1,752 人
	実員	団 長	1 180,000		実員	団 長	1 178,000	2 人
		副 団 長	4 160,000			副 団 長	2 103,000	6 人
		方 面 隊 長	8 120,000			方 面 隊 長	7 96,000	15 人
						副 方 面 隊 長	7 89,000	7 人
		分 団 長	21 90,000			分 団 長	40 82,000	61 人
		副 分 団 長	22 60,000			副 分 団 長	41 61,000	63 人
		部 長	32 44,000			部 長	74 43,000	106 人
		班 長	105 40,000			班 長	162 39,000	267 人
		団 員	488 33,000			団 員	737 32,000	1,225 人
	出務報酬	水 火 災	2,600		出務報酬	水 火 災	2,500	
		警 戒	2,300			警 戒	2,000	
		訓 練	2,300			訓 練	2,000	
		そ の 他				そ の 他	分団運営費 一人当たり年額 18,000円 方面隊運営費 一人当たり年額 2,000円	
ポンプ保有状況	消 防 ポンプ	21		ポンプ保有状況	消 防 ポンプ	22		43 台
	自 動 車	4			自 動 車	50		54 台
	積 載 車	27			積 載 車	52		79 台
分 団 数		22		分 団 数		40		62 分団

■消防団員の年齢状況

令和3年4月1日 現在

区 分 分団別	定 員	実 員	年 齢 別										
			20 歳 未 満	20 ～ 24	25 ～ 29	30 ～ 34	35 ～ 39	40 ～ 44	45 ～ 49	50 ～ 54	55 ～ 59	60 歳 以 上	平 均
観音寺市	713	681	0	16	48	92	126	126	127	82	45	19	42.0
三 豊 市	1,091	1,071	0	16	50	98	162	206	217	121	110	91	45.0
合 計	1,804	1,752	0	32	98	190	288	332	344	203	155	110	43.8

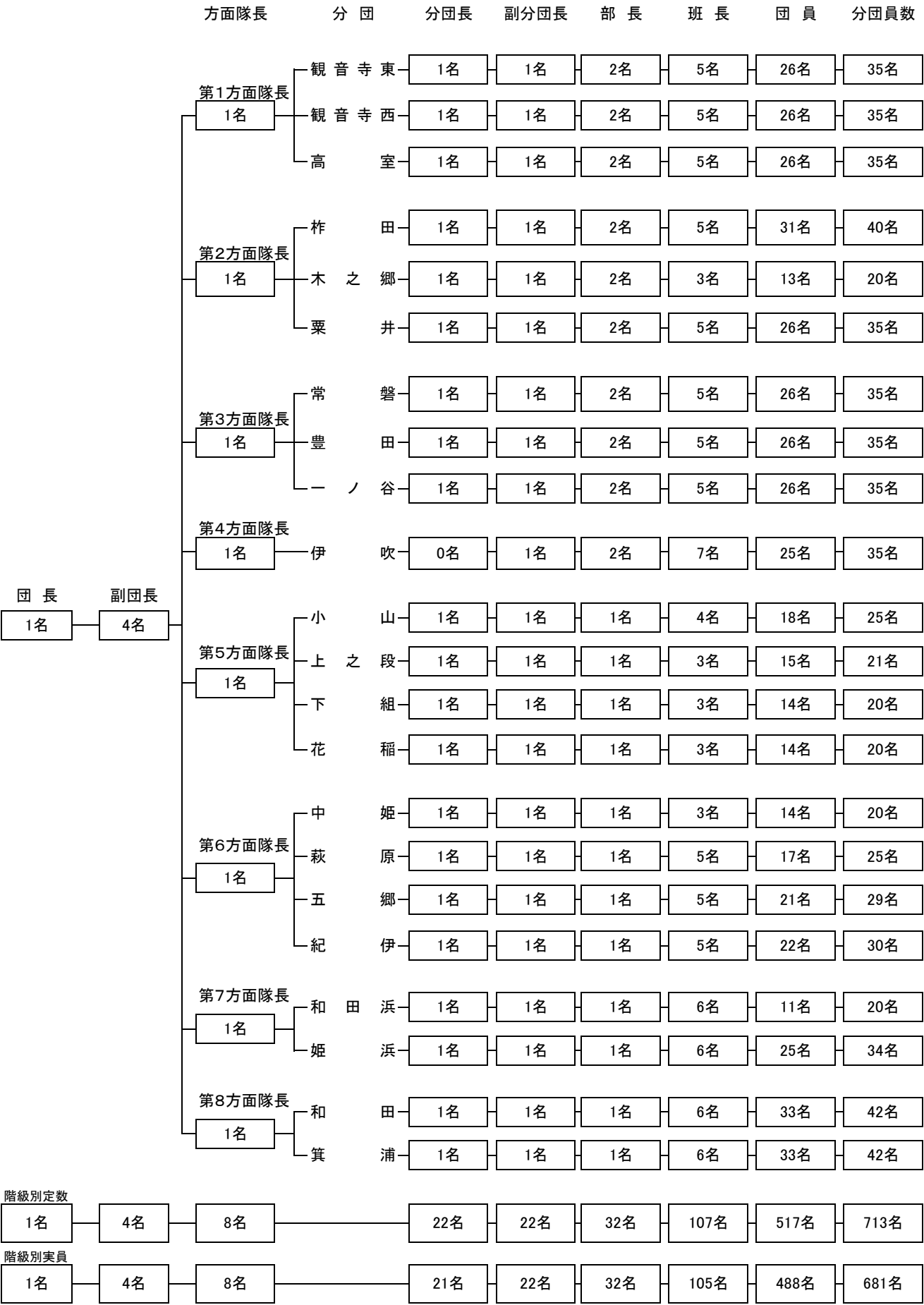
■消防団員の在職年数状況

令和3年4月1日 現在

区 分 分団別	定 員	実 員	在 職 年 数							
			5 年 未 満	5 ～ 9	10 ～ 14	15 ～ 19	20 ～ 24	25 ～ 29	30 年 以 上	平 均
観音寺市	713	681	163	131	119	115	87	44	22	12.6
三 豊 市	1,091	1,071	205	196	202	169	150	73	76	13.9
合 計	1,804	1,752	368	327	321	284	237	117	98	13.3

■観音寺市消防団組織

令和3年4月1日 現在



■観音寺市消防団管轄区域および保有資機材等

分 団 名	区 域	屯 所、器 具 庫 等	ポンプ車(台)	積載車(台)	可搬ポンプ(台)
団 本 部	市内全域	南消防署内		1	2
観 音 寺 分 団 西	観音寺町〔三架橋(一部)、七間橋(一部)、中洲、中新、若宮、春日、大和(一部)、上若、蛭子、南〕、有明町、昭和町二丁目(一部)、昭和町三丁目、南町一丁目、南町二丁目、南町三丁目、南町四丁目、南町五丁目、西本町一丁目、西本町二丁目、港町一丁目、港町二丁目、三本松町一丁目、三本松町二丁目、三本松町三丁目、三本松町四丁目、琴浪町一丁目、琴浪町二丁目、瀬戸町一丁目、瀬戸町二丁目、瀬戸町三丁目、瀬戸町四丁目	鉄骨造2階建	1		1
観 音 寺 分 団 東	観音寺町〔上市、川原、幸、明星、殿、中央、柳、青柳、三架橋(一部)、駅通、七間橋(一部)、大和(一部)〕、茂木町一丁目、茂木町二丁目、茂木町三丁目、茂木町四丁目、茂木町五丁目、茂西町一丁目、茂西町二丁目、八幡町一丁目、八幡町二丁目、八幡町三丁目、天神町一丁目、天神町二丁目、天神町三丁目、坂本町一丁目、坂本町二丁目、坂本町三丁目、坂本町四丁目、坂本町五丁目、坂本町六丁目、坂本町七丁目、幸町、栄町一丁目、栄町二丁目、栄町三丁目、昭和町一丁目、昭和町二丁目(一部)	〃	1		1
高 室 分 団	室本町、高屋町	〃	1		1
柞 田 分 団	柞田町	〃	1		1
木 之 郷 分 団	木之郷町	〃	1		1
粟 井 分 団	粟井町	〃	1		1
常 磐 分 団	流岡町、村黒町、植田町、出作町	〃	1		1
豊 田 分 団	池之尻町、新田町、原町	木造平屋建	1		1
一ノ谷分団	本大町、吉岡町、古川町、中田井町	鉄骨造2階建	1		1
伊 吹 分 団	伊吹町	鉄骨造平屋建		3 (軽特殊含む)	4
小 山 分 団	大野原町小山地区	鉄骨造2階建	1		1
上 之 段 分 団	〃 上之段地区	鉄骨ブロック造平屋建	1		1
下 組 分 団	〃 下組地区	鉄骨造2階建	1		1
花 稻 分 団	〃 花稲地区	鉄骨造平屋建	1		1
中 姫 分 団	〃 中姫地区	鉄骨造平屋建	1		1
萩 原 分 団	〃 萩原地区	木造平屋建	1		1
五 郷 分 団	〃 五郷地区	鉄骨造2階建	1		1
紀 伊 分 団	〃 紀伊地区	鉄骨ブロック造2階建	1		1
和 田 浜 分 団	豊浜町和田浜地区	〃	1		1
姫 浜 分 団	〃 姫浜地区	鉄骨造2階建	1		1
和 田 分 団	〃 和田地区	〃	1		1
箕 浦 分 団	〃 箕浦地区	〃	1		1
合 計			21	4	27

観音寺市消防団の沿革

平成17年10月11日、観音寺市、三豊郡大野原町及び三豊郡豊浜町が市町合併し、新たに「観音寺市」を設置する。それに伴い、観音寺市消防団、大野原町消防団及び豊浜町消防団を統合し、新たに「観音寺市消防団」を設置する。

- | | | |
|-------|--------|--|
| 平成17年 | 10月11日 | 市町合併に伴い、新たに「観音寺市消防団」となり、組織は8方面隊23分団、定員735人とする
初代団長 近藤辰一 |
| | 12月10日 | 日本消防協会長より表彰旗を受賞 |
| 平成18年 | 9月17日 | 香川県消防操法大会において和田分団がポンプ車の部で出場し、優勝する |
| | 10月19日 | 第20回全国消防操法大会において柞田分団がポンプ車の部で出場し、総合10位優秀賞を受賞する |
| 平成19年 | 5月21日 | 近藤辰一団長が、香川県消防協会会長に就任 |
| | 9月16日 | 香川県消防操法大会において上之段分団が小型ポンプの部で出場し、優秀賞を受賞する |
| | 10月25日 | 小山分団にモリタ式CD－1型消防ポンプ車を新規更新する |
| 平成20年 | 3月 7日 | 自治体消防制度60周年記念式典において日本消防協会長より竿頭綬を受賞する |
| | 3月19日 | 観音寺東分団、常磐分団、姫浜分団の各消防屯所を新築移転する |
| | 4月 1日 | 組織改編により統括副団長・指導部長の階級を廃止し、副団長・方面隊長体制とする |
| | 8月29日 | 紀伊分団にモリタ式CD－1型消防ポンプ車を新規更新する |
| | 9月14日 | 香川県消防操法大会において栗井分団がポンプ車の部で出場し、準優勝する |
| 平成21年 | 3月26日 | 花稻分団の消防屯所を新築移転する |
| | 5月20日 | 近藤辰一団長が、香川県消防協会会長を退任 |
| | 9月13日 | 香川県消防操法大会において五郷分団がポンプ車の部で出場し、優秀賞を受賞する |
| | 11月24日 | 観音寺西分団、上之段分団、姫浜分団にモリタ式CD－1型消防ポンプ車を新規更新する |
| 平成22年 | 4月 1日 | 組織改編により本部分団を解散し、定員713人で編成する
第2代団長 大西光雄 |
| | 9月12日 | 香川県消防操法大会において木之郷分団がポンプ車の部で出場し、優秀賞を受賞する |
| | 9月17日 | 下組分団にモリタ式CD－1型消防ポンプ車を新規更新する |
| 平成23年 | 9月11日 | 香川県消防操法大会において和田浜分団がポンプ車の部で出場し、優勝する |
| | 9月13日 | 一ノ谷分団にモリタ式CD－1型消防ポンプ車を新規更新する |
| 平成24年 | 9月 9日 | 香川県消防操法大会において小山分団がポンプ車の部で出場し、優秀賞を受賞する |
| | 9月12日 | 観音寺東分団にモリタ式CD－1型消防ポンプ車を新規更新する |
| 平成25年 | 9月 8日 | 香川県消防操法大会において常磐分団がポンプ車の部で出場し、準優勝する |
| | 10月22日 | 大西光雄団長が、香川県消防協会会長に就任 |
| | 11月 6日 | 豊田分団にモリタ式CD－1型消防ポンプ車を新規更新する |

平成26年	3月20日	中姫分団の消防屯所を新築移転する
	9月14日	香川県消防操法大会において萩原分団が小型ポンプの部で出場し、優勝する
平成27年	2月 6日	花稲分団にモリタ式CD-1型消防ポンプ車を新規更新する
	2月16日	常磐分団に救助資機材搭載型消防ポンプ車(消防庁からの無償貸付車両)を新規更新する
	9月13日	香川県消防操法大会において豊田分団がポンプ車の部で出場し、準優勝する
	10月 1日	五郷分団の消防屯所を新築移転する
平成28年	4月 1日	伊吹防災センターを新築し、伊吹分団屯所がセンター内へ移転する
	9月18日	香川県消防操法大会において姫浜分団がポンプ車の部で出場し、優秀賞を受賞する
	9月16日	和田分団にモリタ式CD-1型消防ポンプ車を新規更新する
	12月28日	栗井分団の消防屯所を新築移転する
平成29年	3月 7日	日本消防協会定例表彰式において日本消防協会長より竿頭綬を受賞する
	3月 8日	消防功労者消防庁長官定例表彰式において消防庁長官より竿頭綬を受賞する(三観広域行政組合消防本部と連名)
	4月 1日	各方面隊の名称変更を行う 第3代団長 田中 健一
	8月 3日	中姫分団にモリタ式CD-1型消防ポンプ車を新規更新する
	9月10日	香川県消防操法大会において下組分団がポンプ車の部で出場し、準優勝する
	11月 1日	下組分団の消防屯所を新築移転する
平成30年	7月27日	栗井分団にモリタ式CD-1型消防ポンプ車を新規更新する
	9月 9日	香川県消防操法大会において一ノ谷分団がポンプ車の部で出場し、優秀賞を受賞する
平成31年	2月 3日	柞田分団の消防屯所を新築移転する
	4月 1日	第4代団長 矢野 幹和
令和元年	9月 8日	香川県消防操法大会において中姫分団がポンプ車の部で出場し、優秀賞を受賞する
	9月27日	高室分団にモリタ式CD-1型消防ポンプ車を新規更新する
令和2年	2月14日	豊田分団の消防屯所を新築移転する
	12月11日	萩原分団の消防屯所を新築移転する
	12月15日	萩原分団にモリタ式CD-1型消防ポンプ車を新規更新する

旧観音寺市消防団の沿革

本市の消防は、明治初期より各集落において消防の自主組織があり消火に従事していたが明治23年、町制施行と同時に義勇消防に代わり公設観音寺消防組を設置。

その後昭和14年の警防団への改組、さらに昭和22年勅令によって「消防団令」が施行され消防団として発足、その後合併等を経て現在に至っている。

寛延元年	観音寺村に大火、500 戸が全焼す。
文化 4年	仮屋地区より出火、折からの季節風に町内九分通り焼失す。
慶応 2年	8 月大洪水あり、被害甚大、世人寅年の大洪水と称す。
明治 6年	西讃竹槍騒動、寺院・庄屋等のめぼしい建物が焼き打ちさる。
明治10年	川北庄の合田為七が身内 20 名で火消愛宕組を組織し義勇消防が生まれた。
明治12年	加茂田地区の軽便連中により火消一心社が組織された。
明治23年	町制施行と同時に義勇消防に代わり公設観音寺消防組を設置。二分し、東部は人力車夫、西部は沖仲仕、各 30 名で組織す。
大正 8年	伊吹島に消防組と別に、火の元用心と出漁時の地区を守るため火防団(女子)が誕生した。
昭和14年 4月	警防団令の公布により消防組は解散し、新たに警防団を組織し消防業務の他、防空救護の業務を附加される。
昭和23年 3月	消防組織法が施行され、消防行政は従来の警察制度から分離独立し、警防団は廃止となり再び消防団として発足した。
昭和25年	国家消防庁より表彰を受ける。
昭和26年11月	四国地区で最初のジープ型消防車 2 台を購入。
昭和28年	国家消防本部長より優良消防団として竿頭授受賞。
昭和29年	日本消防協会長より優良消防団として竿頭授受賞。
昭和30年 1月	第一次合併が行われ(観音寺町・柞田・常磐・高室村)市制の施行と同時に 1 団 7 ヶ分団 448 名に編成をする。
1月 1日	初代団長 三宅 省一(前職、観音寺町消防団長)
3月	国家消防本部長より優良消防団として表彰旗受賞。
4月	第二次合併が行われ(豊田・栗井村・紀伊村の一部木之郷)1 団 10 ヶ分団 671 名に編成替をする。
昭和31年 9月	第三次合併(一ノ谷・伊吹村)1 団 12 ヶ分団 705 名に編成替をし第 12 分団(伊吹島)に女子団員 40 名を配置。
昭和32年 5月	香川県操法大会において、第 7 分団(高室)が手引の部で優勝。
昭和33年 9月	四国地区消防操法大会において、第 7 分団(高室)が準優勝。
昭和35年 4月	消防団組織改革を行い、1 団 10 ヶ分団 443 名とする。 (内、伊吹女子消防団員 20 名)
昭和41年10月 1日	第 2 代団長 牧野 国光
昭和47年 4月	広域消防発足に伴い消防団事務を組合消防に委託する。
昭和48年 4月 1日	第 3 代団長 植松 利

昭和53年 5月	香川県知事より優良消防団として表彰旗受賞。
昭和56年 2月	日本消防協会長より優良消防団として表彰旗受賞。
昭和57年10月	第 8 回全国消防操法大会に第 5 分団(高室)出場する。
昭和58年 4月 1日	第 4 代団長 浜田 清
昭和59年 3月	消防庁長官より優良消防団として竿頭綬受賞。
昭和62年 4月 1日	第 5 代団長 安藤 安雄
昭和63年 4月	消防団組織改編により本部分団を増設 1 団 11 ヶ分団 370 名で 4 方面隊制とする。
平成 2年 9月	香川県消防操法大会において栗井分団がポンプ車の部で準優勝。
平成 3年 4月 1日	第 6 代団長 高橋 努
平成 4年 4月 1日	消防団サイレン吹鳴装置運用開始。
9月20日	香川県消防操法大会に伊吹分団女子団員が出場する。
平成 5年 2月16日	日本消防協会定例表彰式において、特別表彰「まとい」受賞。
4月 1日	第 7 代団長 清水 宏郎
7月	第 48 回国民体育大会に警備出場する。
11月	自治体消防45周年記念大会参加。
平成 6年 2月	日本消防協会長より優良消防団として竿頭綬受賞。
9月18日	香川県消防操法大会において観西分団がポンプ車の部で優勝。
平成 7年 1月 1日	第 8 代団長 秋山 友義
9月17日	香川県消防操法大会において高室分団がポンプ車の部で準優勝。
平成 9年 4月 1日	観音寺市防災行政無線運用開始。
4月 1日	第 9 代団長 篠原昭元
平成10年 9月17日	香川県消防操法大会において栗井分団がポンプ車の部で準優勝。
平成11年 4月 1日	第 10 代団長 中塚 敏夫
9月12日	香川県消防操法大会に常磐分団が出場する。
平成12年 9月10日	香川県消防操法大会において豊田分団がポンプ車の部で準優勝。
平成13年 4月 1日	第 11 代団長 近藤 辰一
9月 9日	香川県消防操法大会において一ノ谷分団がポンプ車の部で準優勝。
平成14年 9月15日	香川県消防操法大会において伊吹分団女子部が小型ポンプの部で優秀賞及び特別表彰敢闘賞を受賞。
平成15年 5月23日	観音寺西分団屯所を防災基盤整備事業により観音寺西防災センターとして、観音寺市観音寺町甲 2579 番地 1 に新築移転(建築面積 55.0 m ² ・延べ面積 110.0 m ² ・敷地面積 561 m ²)した。
9月14日	香川県消防操法大会において観音寺東分団がポンプ車の部で準優勝。
11月	自治体消防55周年記念大会参加
平成16年 9月12日	香川県消防操法大会において観音寺西分団がポンプ車の部で準優勝。
平成17年 9月18日	香川県消防操法大会において高室分団がポンプ車の部で優秀賞。
10月11日	市町合併に伴い、観音寺市消防団、大野原町消防団、豊浜町消防団が合併し、観音寺市消防団となる。

旧大野原町消防団の沿革

昭和30年に大野原村は萩原村、五郷村と合併し、続いて紀伊村とも合併が成り大野原町となった。同時に消防団も合併の精神に則って団が結成され、571名となった。

翌昭和31年には、団員の減少による経費の節減を行い、消防機械導入により消防力を充実させるよう461名に整理し、機構改革を行った。

その後、社会の経済成長に伴って農村にも急激な変化が起こり、人口は減少傾向をたどり、在町消防団員も減少を見るに至った。

この事態を解消するため、昭和40年には当時の21ヶ分団461名を行政区画に合わせた8ヶ分団243名に、新しく編成替えを行い、消防の機動化を図ることとした。

さらに昭和44年に団員を193名に整理、この期昭和47年には消防団本部を設置し、役場消防隊7名を配置、さらに昭和50年には本部5名増強し、総勢205名として編成替えを完了し、現在の消防組織の基盤を確立した。

昭和22年 9月18日 初代団長 平田 庫太

昭和40年 2月 日本消防協会長より表彰旗受賞

昭和43年 4月 4日 第2代団長 小西 良隆

昭和51年 4月 4日 第3代団長 石川 弘

昭和56年 3月 消防庁長官より竿頭綬受賞

昭和58年 5月 香川県知事より表彰旗受賞

昭和59年 2月 日本消防協会より竿頭綬受賞

昭和61年 5月12日 第4代団長 福田 清孝

昭和63年 3月 消防庁長官より表彰旗受賞

平成 元年 5月 香川県知事より竿頭綬受賞

平成 2年 9月 香川県消防操法大会優勝

10月 第12回全国消防操法大会敢闘賞

平成 9年 2月 日本消防協会長より竿頭綬受賞

平成10年 4月 1日 第5代団長 守谷 彰介

平成11年 9月 香川県消防操法大会優勝

平成15年 3月 消防庁長官より地域活動表彰受賞

4月 1日 第6代団長 大西 俊一

平成17年 2月 消防庁長官より褒状受賞(台風第21号による災害)

10月11日 市町合併に伴い、観音寺市消防団、大野原町消防団、豊浜町消防団が合併し、観音寺市消防団となる。

旧豊浜町消防団の沿革

明治27年		公設姫之江村消防組を設置
明治32年	2月10日	町制施行により豊浜町消防組になる
昭和14年	4月	警防団令の公布により豊浜町警防団に改組
昭和22年	10月	消防団令の施行により豊浜町消防団に改組
昭和28年	2月11日	日本消防協会長より優良消防団として表彰旗受賞
昭和30年	4月 1日	町村合併により豊浜町消防団と和田村消防団が合併し、豊浜町消防団となり現在に至る。
		初代団長 高森 菊太郎
昭和31年	3月 1日	消防庁長官より竿頭綬受賞
		香川県消防操法大会出場 優良賞受賞
	12月26日	第2代団長 横内 勇三郎
昭和33年	3月 7日	消防庁長官より優良消防団として表彰旗受賞
昭和34年	12月26日	第3代団長 柴川 栄
昭和40年	12月26日	第4代団長 大廣 久市
昭和43年	12月26日	第5代団長 山口 元春
昭和45年	5月21日	香川県消防協会長より竿頭綬受賞
	12月 1日	本部分団を設置し、役場団員14名を配備
昭和48年	12月	消防ポンプ自動車A-1級を第3分団に配備
昭和49年	12月26日	第6代団長 宝田 昇
昭和50年		香川県消防操法大会出場 優良賞受賞
昭和51年	3月 3日	日本消防協会長より竿頭綬受賞
昭和52年	12月	消防ポンプ自動車A-2級を第1分団に配備
	12月26日	第7代団長 大廣 敏一
昭和53年	9月	可搬ポンプ積載車を本部分団に配備
昭和54年	3月	可搬ポンプB-3級を第2分団に配備
昭和55年		香川県消防操法大会出場 優良賞受賞
昭和57年	5月29日	香川県知事より竿頭綬受賞
昭和58年	12月26日	第8代団長 合田 綾和
昭和60年	2月 2日	愛媛県川之江市より山林火災発生
		箕浦地区町有林へ延焼 142ヘクタール焼失
	3月	可搬ポンプB-3級を第1・第3・第4分団に配備
		香川県消防操法大会出場 優良賞受賞
	11月	消防ポンプ自動車A-2級を第2分団に配備
平成 元年	4月	可搬ポンプB-3級を本部分団に配備
	12月26日	第9代団長 横山 実雄
平成 2年	10月	消防ポンプ自動車A-2級を第4分団に配備
平成 4年	10月	消防ポンプ自動車A-2級を第3分団に配備
平成 5年	4月 1日	第10代団長 久保 彰市
平成 6年	2月15日	日本消防協会長より竿頭綬受賞
	5月26日	香川県知事より竿頭綬受賞
	5月26日	香川県消防協会長より竿頭綬受章(3年間無火災 第4分団)
	8月	可搬ポンプ積載車を本部分団に配備
	9月18日	香川県消防操法大会出場 優良賞受賞
平成 7年	1月 8日	三豊地区消防連合会会長より竿頭綬受賞(1年間無火災)
	6月 6日	香川県消防協会長より竿頭綬受賞(3年間無火災 第3分団)
平成 8年	5月28日	香川県知事より優良消防団として表彰旗受賞
	9月28日	消防ポンプ自動車A-2級を第1分団に配備
平成11年	2月 9日	日本消防協会長より優良消防団として表彰旗受賞
	4月 1日	第11代団長 佐野 清一
平成12年	1月10日	三豊地区消防連合会会長より竿頭綬受賞(1年間無火災)
	2月18日	豊浜町箕浦魚見山山林火災発生
		箕浦地区の町有林など 70ヘクタール焼失
平成14年	3月 6日	可搬ラビット消防ポンプP-382Sを第2分団に配備

平成15年 9月14日 香川県消防操法大会出場 優勝

12月21日 モリタ式CD-1型ポンプ車を第4分団に配備

12月24日 ホースカーを第2分団に配備

平成17年 4月1日 第12代団長 田中 健一

10月11日 市町合併に伴い、観音寺市消防団、大野原町消防団、豊浜町消防団が合併し、
観音寺市消防団となる。

		分団	分団長	副分団長	部長	班長	団員	分団員数			
団 長 1名	副団長 2名	高瀬 方面隊長 1名	高瀬 副方面隊長 1名	幹部会	—	—	—	—	17名		
		山本 方面隊長 1名	山本 副方面隊長 1名	本 部	1名	1名	2名	3名	17名	24名	
				第 1	1名	1名	2名	2名	22名	28名	
				第 2	1名	1名	2名	2名	13名	19名	
				第 3	1名	1名	2名	2名	15名	21名	
				第 4	1名	1名	3名	3名	26名	34名	
		三野 方面隊長 1名	三野 副方面隊長 1名	第 5	1名	1名	5名	5名	34名	46名	
				本 部	1名	1名	1名	1名	16名	20名	
				第 1	1名	1名	4名	4名	23名	33名	
				第 2	1名	1名	4名	4名	21名	31名	
				第 3	1名	1名	5名	5名	22名	34名	
		豊中 方面隊長 1名	豊中 副方面隊長 1名	第 4	1名	1名	4名	4名	21名	31名	
				第 1	1名	1名	1名	5名	27名	35名	
				第 2	1名	1名	1名	5名	27名	35名	
				第 3	1名	1名	1名	5名	27名	35名	
				第 1	1名	1名	3名	3名	28名	36名	
		詫間 方面隊長 1名	詫間 副方面隊長 1名	第 2	1名	1名	3名	3名	21名	29名	
				第 3	1名	1名	3名	4名	25名	34名	
				第 4	1名	1名	3名	3名	22名	30名	
				第 5	1名	1名	3名	3名	22名	30名	
				第 1	1名	1名	1名	5名	13名	21名	
		仁尾 方面隊長 1名	仁尾 副方面隊長 1名	第 2	1名	2名	1名	5名	21名	30名	
				第 3	1名	1名	1名	5名	15名	23名	
				第 4	1名	1名	1名	5名	15名	23名	
				第 5	1名	1名	1名	7名	15名	25名	
				第 6	1名	2名	—	6名	14名	23名	
		財田 方面隊長 1名	財田 副方面隊長 1名	第 7	1名	2名	—	6名	12名	21名	
				第 8	1名	2名	—	5名	14名	22名	
第 1	1名			1名	1名	3名	14名	20名			
第 2	1名			1名	1名	4名	15名	22名			
第 3	1名			2名	2名	4名	20名	29名			
女性部		第 4	1名	2名	2名	5名	18名	28名			
		本 部	1名	2名	—	5名	14名	22名			
		第 1	1名	1名	2名	5名	13名	22名			
		第 2	1名	—	1名	3名	10名	15名			
		第 3	1名	—	1名	5名	12名	19名			
		第 4	1名	—	1名	3名	10名	15名			
		第 5	1名	—	1名	3名	13名	18名			
		第 6	1名	1名	2名	5名	15名	24名			
		第 7	1名	—	1名	3名	9名	14名			
		第 8	1名	—	1名	3名	10名	15名			
女性部		—	—	1名	1名	13名	15名				
階級別定数		1名	2名	7名	7名	36名	41名	78名	162名	757名	1,091名
階級別実数		1名	2名	7名	7名	40名	41名	74名	162名	737名	1071名

N0	分団名	区域	屯所、器具庫等	ポンプ車 (台)	積載車 (台)	可搬ポン プ(台)
1	高瀬方面隊本部分団	高瀬町全域	鉄筋コンクリート	2	1	1
2	高瀬方面隊第1分団	高瀬町上高瀬、高瀬町新名	鉄骨造 平屋		1	1
3	高瀬方面隊第2分団	高瀬町上勝間、高瀬町下勝間	鉄骨造 平屋		1	1
4	高瀬方面隊第3分団	高瀬町比地中、高瀬町比地	鉄骨造 平屋		1	1
5	高瀬方面隊第4分団	高瀬町佐股、高瀬町羽方	鉄骨造 平屋	1	2	2
6	高瀬方面隊第5分団	高瀬町上麻、高瀬町下麻、高瀬町上勝間	鉄骨造 平屋	1	3	3
7	山本方面隊本部分団	山本町全域	鉄骨造 二階	1		
8	山本方面隊第1分団	山本町辻	鉄骨造 平屋		2	2
9	山本方面隊第2分団1部	山本町長野	コンクリートブロック造		1	1
	山本方面隊第2分団2部	山本町上河内	〃		1	1
	山本方面隊第2分団3部	山本町中河内	木造		1	1
	山本方面隊第2分団4部	山本町下河内	〃		1	1
10	山本方面隊第3分団1部	山本町三側	コンクリートブロック造		1	1
	山本方面隊第3分団2部	山本町下大野	木造		1	1
	山本方面隊第3分団3部	山本町西光寺	コンクリートブロック造		1	1
	山本方面隊第3分団4部	山本町財田西(西上、西中)	〃		1	1
	山本方面隊第3分団5部	山本町財田西(庵上、庵下)	鉄骨造 平屋		1	1
11	山本方面隊第4分団1部	山本町川原、山本町岩瀬、山本町山才	コンクリートブロック造		1	1
	山本方面隊第4分団2部	山本町立石、山本町田ノ口、山本町土井	〃		1	1
	山本方面隊第4分団3部	山本町長瀬、山本町砂古、山本町中屋敷	〃		1	1
	山本方面隊第4分団4部	山本町大坪、山本町砂川、山本町大池	〃		1	1
12	三野方面隊第1分団	三野町大見	鉄骨ブロック 平屋 鉄骨造 二階(久保谷)	1	1	1
13	三野方面隊第2分団	三野町下高瀬	鉄骨造 平屋	1		
14	三野方面隊第3分団	三野町吉津	鉄骨造 平屋	1	1	1
15	豊中方面隊第1分団	豊中町桑山	鉄筋コンクリート 二階	1	2	2
16	豊中方面隊第2分団	豊中町比地大	鉄筋コンクリート 平屋	1		
17	豊中方面隊第3分団	豊中町笠田	〃	1		
18	豊中方面隊第4分団	豊中町上高野	鉄骨ブロック 二階	1		
19	豊中方面隊第5分団	豊中町本山	鉄筋コンクリート 二階	1	1	1
20	詫間方面隊第1分団	詫間町松崎	鉄骨造 平屋	1		
21	詫間方面隊第2分団	詫間町詫間(新的場、池尻、桃山、中郷、的場、蟻の首、雇用促進、宮の下、神田下、神田上、田井、マリ ンガーデン)、詫間町志々島	鉄筋コンクリート 二階 木造 平屋	1		2
22	詫間方面隊第3分団	詫間町詫間(天満、本村上、本村中、浜田、塩生、 塩生ヶ原、高谷、西野団地、松本)	木造 一階	1		
23	詫間方面隊第4分団	詫間町詫間(須田東、須田西、新浜)、詫間町香田	鉄骨造 平屋	1		
24	詫間方面隊第5分団	詫間町大浜(名部戸)、詫間町大浜(鴨の越、大浜、 波止艾、肥地木)	木造 平屋 鉄骨ブロック 二階	1	1	1
25	詫間方面隊第6分団	詫間町大浜(船越、伊佐子)、詫間町積	木造 平屋 鉄骨ブロック 二階		2	2
26	詫間方面隊第7分団	詫間町箱、詫間町生里(生里、仁老浜)	木造、木造、木造		3	3
27	詫間方面隊第8分団	詫間町粟島(潟、上新田)	木造 二階、木造 平屋		2	2
28	仁尾方面隊第1分団	仁尾町曾保	軽量鉄骨 二階		1	1
29	仁尾方面隊第2分団	仁尾町(天王、新開、草木、土井、石ヶ谷、江尻、鳶 見、南)	鉄筋コンクリート 二階	1		
30	仁尾方面隊第3分団1部	仁尾町(峠、千代、片山、砂入加嶺、道場前、矢田、 山下、門前)	★総合屯所 鉄筋コンクリート 二階	1		
	仁尾方面隊第3分団2部	仁尾町(宿入、中津賀、境目、中の丁、宮の端、樋の 口、新道、宮西、宮西団地)	★総合屯所		1	1
31	仁尾方面隊第4分団1部	仁尾町(詫間越、朝日、仁尾の上、古江、大北、美浜)	鉄骨造 平屋	1		
	仁尾方面隊第4分団2部	仁尾町家の浦	鉄筋スレート 平屋		1	1
32	財田方面隊本部分団	財田町全域	鉄筋コンクリート 平屋	1		
33	財田方面隊第1分団	財田町(屋丹波、別所、黒川、野田原)	木造		2	2
34	財田方面隊第2分団	財田町(正宗、戸川、石野)	〃		1	1
35	財田方面隊第3分団	財田町(山才、山王、高倉、北地)	〃		1	1
36	財田方面隊第4分団	財田町(久保の下、雉子尾)	〃		1	1
37	財田方面隊第5分団	財田町(北野、本篠、中元、山岡)	〃		1	1
38	財田方面隊第6分団	財田町(長野、林明、泉平、入樋)	〃		2	2
39	財田方面隊第7分団	財田町(吉田、大野地)	〃		1	1
40	財田方面隊第8分団	財田町(芋尾、轟、荒戸、帰来)	〃		1	1
合 計				22	50	52

三豊市消防団の沿革

平成18年1月1日、香川県三豊郡の高瀬町・山本町・三野町・豊中町・詫間町・仁尾町・財田町の7町が合併し三豊市が誕生した。これに伴い7町の消防団も統合・再編し、旧町の消防体制を残した7方面隊、44分団、定員1,091名の三豊市消防団が発足した。

平成18年 1月 1日 7町合併による三豊市誕生と同時に、旧7町の消防団が統合し三豊市消防団が発足。

初代団長 藤原 俊治

平成19年 6月 5日 香川県知事より竿頭授受賞

平成20年 2月23日 仁尾方面隊第7分団 消防ポンプ車を更新

平成21年 9月17日 高瀬方面隊本部分団消防ポンプ車を更新

平成21年 9月28日 詫間方面隊第4分団消防ポンプ車を更新

平成21年 10月25日 三野方面隊第1分団(久保谷)小型ポンプ付積載車を更新

平成21年 10月25日 仁尾方面隊第6分団小型ポンプ付積載車を更新

平成22年 2月25日 消防庁長官より消防団等地域活動表彰受賞

平成22年 3月28日 三野方面隊第1分団消防ポンプ車を更新

平成22年 3月31日 消防庁より救助資機材搭載型消防車両無償貸付

平成22年 4月 1日 第2代団長 田中保志

平成22年 10月 3日 山本方面隊第3分団4部小型ポンプ付積載車を更新

平成22年 10月17日 仁尾方面隊第5分団小型ポンプ付積載車を更新

平成23年 3月24日 詫間方面隊第1分団消防屯所建替

平成23年 10月 8日 詫間方面隊第6分団小型動力ポンプ付積載車を更新

平成23年 10月 8日 詫間方面隊第7分団小型動力ポンプ付積載車を更新

平成23年 10月 8日 詫間方面隊第8分団小型動力ポンプ付積載車を更新

平成23年 10月 8日 高瀬方面隊第4分団小型動力ポンプ付積載車を更新

平成23年 10月23日 山本方面隊第1分団3部小型動力ポンプ付積載車を更新

平成23年 10月23日 山本方面隊第2分団2部小型動力ポンプ付積載車を更新

平成23年 11月 3日 山本方面隊第4分団1部小型動力ポンプ付積載車を更新

平成24年 9月 9日 香川県消防操法大会(ポンプの部)豊中方面隊優勝

平成24年 11月18日 高瀬方面隊第2分団2部小型動力ポンプ付積載車を更新

平成24年 11月24日 豊中方面隊第3分団消防ポンプ車を更新

平成25年 9月 8日 香川県消防操法大会(ポンプの部)詫間方面隊優勝

平成25年 3月10日 三野方面隊第1分団久保谷消防屯所建替

平成25年 12月 1日 高瀬方面隊第4分団3部小型動力ポンプ付積載車を更新

平成25年 12月 1日 山本方面隊第3分団1部小型動力ポンプ付積載車を更新

平成26年 4月 1日 第3代団長 藤川淳一

平成26年 11月 9日 山本方面隊第1分団1部小型動力ポンプ付積載車を更新

平成26年 11月 9日 財田方面隊第2分団小型動力ポンプ付積載車を更新

平成27年 3月 1日 詫間方面隊第1分団消防ポンプ車を更新

平成27年 9月13日 香川県消防操法大会(小型ポンプの部)財田方面隊優勝

平成27年 12月13日 山本方面隊第2分団1部小型動力ポンプ付積載車を更新

平成27年 12月13日 財田方面隊第1分団1部小型動力ポンプ付積載車を更新
平成27年 12月23日 豊中方面隊第4分団消防ポンプ車を更新
平成27年 12月23日 高瀬方面隊第2分団消防屯所建替
平成28年 9月18日 香川県消防操法大会(ポンプの部)高瀬方面隊準優勝
平成28年 11月11日 仁尾方面隊第2分団消防ポンプ車を更新
平成28年 11月29日 高瀬方面隊第1分団小型動力ポンプ付積載車を更新
平成28年 11月29日 三野方面隊第3分団小型動力ポンプ付積載車を更新
平成28年 12月 7日 三野方面隊第3分団消防屯所建替
平成29年 9月10日 香川県消防操法大会(小型ポンプの部)山本方面隊優勝
平成30年 3月 4日 財田方面隊第3分団小型動力ポンプ付積載車を更新
平成30年 3月 4日 財田方面隊第8分団小型動力ポンプ付積載車を更新
平成30年 3月17日 豊中方面隊第2分団消防ポンプ車を更新
平成30年 4月 1日 第4代団長 鈴木朝則
平成30年 9月16日 香川県消防操法大会(小型ポンプの部)仁尾方面隊優勝
平成31年 1月12日 山本方面隊第4分団小型動力ポンプ付積載車を更新
平成31年 3月 8日 消防庁長官より竿頭授受賞
平成31年 3月16日 仁尾方面隊第4分団消防ポンプ車を更新
平成31年 3月17日 財田方面隊第7分団小型動力ポンプ付積載車を更新
令和元年 9月 8日 香川県消防操法大会(ポンプ車の部)詫間方面隊準優勝
令和元年 11月13日 第24回全国女性消防操法大会で女性部が優良賞(11位)を受賞
令和元年 12月 8日 高瀬方面隊第3分団小型動力ポンプ付積載車を更新
令和元年 12月15日 仁尾方面隊第1分団小型動力ポンプ付積載車を更新
令和2年 2月19日 消防庁より消防ポンプ自動車無償貸付(高瀬方面隊第4分団に配備)
令和2年 3月 7日 高瀬方面隊第5分団に消防ポンプ車を配備
令和2年 3月15日 豊中方面隊第5分団消防ポンプ車を更新
令和2年 3月29日 仁尾方面隊第4分団消防屯所新築
令和2年 12月 4日 日本消防協会より教育広報事業防災活動車交付
令和3年 2月28日 財田方面隊第1分団2部小型動力ポンプ付積載車を更新
令和3年 2月28日 財田方面隊第4分団小型動力ポンプ付積載車を更新
令和3年 3月 5日 日本消防協会より表彰旗受賞

旧高瀬町消防団の沿革

江戸の「いろは」47組の火消役のはなばなしは、あまりにも有名であるが、明治以前の高瀬町には、それらしきものは見当たらない。おそらく1894年(明治24年)の勅令により、消防組規則が公布され、続いて同年5月、県令によってその細則が定められ、初めて消防組として組織ができたのである。

当時の消防組には、組頭・小頭・消防手の職種があり、腕用ポンプ1台に消防手が約15名程度配置され、以来1939年(昭和14年)3月まで、警察署長の指揮下のもとに義勇消防として、献身的な奉仕活動が続けられている。

同年4月、消防組はしだいに戦争体制化の進む中で、民間防空自治団体である防護団と合併して「警防団」と改め、第2次世界大戦中には大いに活躍した。

大戦後の1947年(昭和22年)消防組織法により、新しい今日の消防体制ができあがった。1955年(昭和30年)3月31日に、旧5ヶ村(上高瀬・勝間・比地二・二の宮・麻)が合併し、ここに高瀬町消防団が誕生したのである。しかしながら、合併後の機構は、旧村の色彩が強いこともあり、1959年(昭和34年)5月、その機構を改め、定員も350名とした。さらに、1964年(昭和39年)4月、定員183名と改正して現在に至っている。

昭和30年 3月31日 初代団長 森 久四郎
昭和34年 5月10日 第2代団長 藤田 角良
昭和35年 2月11日 日本消防協会会長より竿頭綬を授与される。
6月 1日 第3代団長 真鍋 常三郎
10月25日 第4代団長 豊嶋 正則
昭和36年 10月30日 第5代団長 秋山 喜代矩
昭和38年 9月 4日 第6代団長 白井 義雄
昭和46年 2月20日 日本消防協会会長より表彰旗を授与される。
6月 4日 第7代団長 中岡 茂喜
昭和48年 12月 1日 第8代団長 三好 秀義
昭和53年 9月23日 香川県消防操法大会出場 優良章受賞
昭和58年 5月26日 香川県知事より竿頭綬を授与される。
9月11日 香川県消防操法大会出場 優良章受賞
昭和60年 3月 6日 消防庁長官より竿頭綬を授与される。
昭和62年 2月10日 日本消防協会会長より竿頭綬を授与される。
平成 4年 9月20日 香川県消防操法大会出場 優秀章受賞
10月14日 第9代団長 羽野 松夫
平成 8年 10月14日 第10代団長 石井 貞男
平成12年 10月14日 第11代団長 入江 謙次
平成13年 9月 9日 香川県消防操法大会出場 優勝(ポンプ車の部)
平成14年 5月 1日 第12代団長 藤原 俊治
5月31日 香川県知事より竿頭綬を授与される。
平成17年 2月10日 日本消防協会会長より竿頭綬を授与される。

旧山本町消防団の沿革

昭和30年4月1日香川県三豊郡辻村、河内村、財田大野村及び神田村が合併して新たに山本村が設置されるに伴い、旧村毎に置かれていた消防団も合併して、山本村消防団が設立された。

昭和30年 4月 初代団長 田鍋 要 団員350名
昭和31年 5月 5日 香川県消防協会長より竿頭綬受賞
昭和32年 11月 3日 町制施行に伴い山本町消防団と改称
昭和33年 4月 第2代団長 金子 信義 団員323名
昭和34年 5月23日 香川県知事より竿頭綬受賞
昭和35年 3月 8日 国家消防本部より功労章受賞(伊勢湾台風水害防止活動)
昭和37年 2月11日 日本消防協会長より竿頭綬受賞
昭和39年 6月 5日 団員155名に改正
昭和43年 2月 第3代団長 正田 実 団員155名
昭和45年 3月 3日 消防庁長官より竿頭綬受賞
昭和49年 4月 7日 第4代団長 正田 精一 団員155名
昭和50年 2月25日 日本消防協会長より表彰旗受賞
昭和52年 3月 消防庁長官より表彰旗受賞
昭和53年 9月 香川県消防操法大会(小型ポンプの部) 優勝
10月 第6回全国消防操法大会に出場する。
昭和59年 5月26日 香川県知事より表彰旗受賞
昭和63年 3月 日本消防協会長より特別表彰纏受賞
平成 3年 2月13日 日本消防協会長より竿頭綬受賞
平成 7年 4月 1日 第5代団長 田渕 恒雄 団員155名
平成10年 5月 香川県知事より竿頭綬受賞
平成13年 4月 1日 第6代団長 大藤 春雄 団員155名
平成14年 9月15日 香川県消防操法大会(小型ポンプの部) 準優勝

旧三野町消防団の沿革

明治27年		公設消防組を設置
昭和14年		消防組を警防団に改める。
昭和22年		大見村消防団、下高瀬村消防団、吉津村消防団が発足
昭和30年		町村合併により三野村消防団が発足
	4月 1日	初代団長 藤田 恒芳
昭和31年		香川県消防協会長より竿頭授受賞
		香川県消防操法大会 優勝
昭和33年		四国地区消防操法大会 優勝
昭和34年		第3分団に消防ポンプ自動車を配置
昭和35年		香川県消防協会長より竿頭授受賞
	4月 1日	第2代団長 山下 喜平
昭和36年	4月 1日	第3代団長 石井 栄
	9月 1日	町制施行に伴い三野町消防団が発足
昭和37年		香川県消防協会長より竿頭授受賞
昭和38年	4月 1日	第4代団長 小野 好春
昭和39年	6月 1日	第5代団長 小浜 貢
昭和40年		日本消防協会長より竿頭授受賞
		第2分団に消防ポンプ自動車を配置
昭和41年	6月 1日	第6代団長 関子 繁太郎
昭和43年	6月 1日	第7代団長 小野 義秋
昭和46年		第1分団に消防ポンプ自動車並びに可搬ポンプ付積載車を配置
昭和47年	6月 1日	第8代団長 松田 邦利
	12月 1日	第9代団長 吉田 繁義
昭和52年		香川県消防操法大会 最優秀賞受賞
昭和53年		香川県知事より竿頭授受賞
	6月 1日	第10代団長 芳地 邦雄
昭和56年		香川県消防操法大会 最優秀賞受賞
昭和59年	6月 1日	第11代団長 磯崎 福美
昭和60年	2月 8日	日本消防協会長より表彰旗受賞
昭和61年	3月 5日	消防庁長官より竿頭授受賞
昭和63年	6月 1日	第12代団長 藤田 武徳
平成 元年		香川県消防操法大会 優勝
平成 6年	6月 1日	第13代団長 和泉 保良
平成 7年	2月10日	日本消防協会長表彰 竿頭授受賞
平成 9年	6月 1日	第14代団長 小林 寿一
平成10年	9月13日	香川県消防操法大会 優秀賞受賞
平成12年	6月 1日	第15代団長 丸岡 功
平成14年	6月 1日	第16代団長 小野 剛
平成16年	3月 4日	消防庁長官より表彰旗受賞
		香川県知事より竿頭授受賞
平成17年	6月1日	第17代団長 嶋田 勲

旧豊中町消防団の沿革

大正 7年	桑山村・笠田村に消防組が創設され、集落ごとにグループを作り水火災に出動し活躍を始めた。
昭和14年	桑山村・比地大村・笠田村・上高野村・本山村の五ヶ村がそれぞれ消防組から警防団に改称
昭和26年	昭和22年に笠田村警防団が消防組に改称したのをはじめ、五ヶ村が消防団に改称
昭和29年	5月 7日 香川県消防協会長から第3分団竿頭綬受賞
昭和30年	五ヶ村が合併し、豊中村が誕生。これに伴い同年10月2日に豊中村消防団として発足。 10月 2日 初代団長 合田 始
昭和31年	2月11日 日本消防協会長より竿頭綬受賞
昭和32年	1月 1日 豊中町消防団に改称 3月 1日 消防庁長官より竿頭綬受賞
昭和35年	2月11日 日本消防協会長より表彰旗受賞
昭和36年	5月25日 香川県消防協会長より第3分団竿頭綬受賞
昭和37年	5月23日 香川県知事より竿頭綬受賞
昭和39年	5月14日 香川県消防協会長より第1分団竿頭綬受賞
昭和41年	5月31日 香川県消防協会長より第4分団竿頭綬受賞
昭和42年	5月10日 香川県消防協会長より第2分団竿頭綬受賞 9月25日 第2代団長 石井 登名八
昭和43年	5月14日 香川県消防協会長より第5分団竿頭綬受賞
昭和50年	11月 8日 第3代団長 鳥取 武雄
昭和61年	5月24日 香川県消防協会長より第2分団が5ヶ年無火災表彰受賞
昭和62年	11月 8日 第4代団長 大江 豊
昭和63年	3月 9日 日本消防協会長より竿頭綬受賞
平成 2年	5月22日 香川県消防協会長より第4分団が3ヶ年無火災表彰受賞
平成 3年	3月 6日 消防庁長官より表彰旗受賞 9月20日 第3分団に消防ポンプ自動車を更新配備 11月 8日 第5代団長 則包 晴幸
平成 4年	6月 4日 香川県消防協会長より第4分団が5ヶ年無火災表彰受賞
平成 5年	3月29日 第4分団に消防ポンプ自動車を更新配備 5月28日 香川県知事より表彰旗受賞 11月15日 第2分団に消防ポンプ自動車を更新配備
平成 7年	6月 6日 香川県知事より竿頭綬受賞 11月13日 第5分団に消防ポンプ自動車を更新配備
平成 9年	9月20日 第3分団に小型動力ポンプ付積載車を更新配備
平成12年	4月 1日 第6代団長 横田 尚和
平成14年	5月31日 日本消防協会長より竿頭綬受賞
平成16年	2月13日 日本消防協会長より表彰旗受賞
平成17年	4月 1日 第7代団長 平尾 武勇 9月18日 香川県消防操法大会(ポンプ車の部)優勝

旧詫間町消防団の沿革

江戸時代は、村内に火災が発生した場合、寺の鐘を乱打して一般に警報するのを慣例とし、一般の人は、鳶口・とうぐわなどを持って消火にあたった。明治20年消防組が発足し、集落ごとに自衛的に小型ポンプ1台を中心にグループを作り、水火災に出動した。大正のはじめそれを統合し、第1・2・3・4の分団に分けて消防組織がととのった。

- 昭和 3年 消防力の向上充実を図るため、公設消防組を改組し、昭和22年それを消防団と改称した。
- 昭和22年 11月 1日 消防組を消防団と改称した。
- 昭和25年 25馬力のガソリンポンプ1台が初めて配備される。
- 昭和26年 5月28日 香川県消防協会長より第8分団が3ヶ年無火災表彰受賞
- 昭和27年 5月20日 香川県消防協会長より竿頭綬受賞
- 昭和30年 4月 1日 町村合併と同時に詫間町・荘内村・栗島村の消防団が統合し詫間町消防団として発足。
初代団長 安藤 清誉
- 5月 1日 第2代団長 吉田 栄吉
- 5月22日 詫間町消防団条例が施行される。定数338名
- 昭和32年 5月12日 香川県消防協会長より竿頭綬受賞
香川県消防協会長より第8分団が4ヶ年無火災表彰受賞
- 昭和33年 6月 4日 香川県消防協会長より第9分団が10ヶ年無火災表彰受賞
- 昭和34年 9月26日 台風15号により町内の港湾護岸に大被害を受ける。
- 昭和35年 3月30日 建設大臣より水防の功績により表彰される。
6月 3日 香川県消防協会長より第2分団が竿頭綬受賞
- 昭和37年 2月11日 日本消防協会長より竿頭綬受賞
- 昭和38年 10月 1日 第3代団長 三田 定一
- 昭和40年 4月 1日 第4代団長 横山 永由
- 昭和41年 4月 1日 詫間町消防団条例が改正される。本部分団以下9分団となり定数200名となった。
- 昭和43年 5月14日 香川県知事より竿頭綬受賞
- 昭和51年 6月 1日 第5代団長 渡辺 幸男
9月10日 台風17号により荘内半島全域に被害を受ける。
- 昭和52年 9月24日 防災行政無線電話を設置
- 昭和54年 2月10日 日本消防協会長より表彰旗受賞
- 昭和55年 2月 2日 名部戸地区山林火災発生
- 昭和57年 3月 3日 消防庁長官より竿頭綬受賞
- 昭和61年 3月 8日 紫雲出山より出火、12.5ヘクタール焼失
- 昭和63年 6月 1日 第6代団長 村沢 隆
9月18日 香川県消防操法大会において第3分団ポンプ車の部で準優勝
12月27日 大浜地区で本町戦後最大の山林火災が発生、105ヘクタール焼失
- 平成 2年 3月 8日 消防庁長官より表彰旗受賞
- 平成 4年 2月13日 日本消防協会長より竿頭綬受賞
- 平成 6年 5月26日 香川県消防協会長より第5分団が3ヶ年無火災表彰受賞
香川県消防協会長より第4分団が5ヶ年無火災表彰受賞
- 平成 8年 6月 1日 第7代団長 真鍋 時敏
11月28日 大倉工業(株)詫間工場で工場火災発生
- 平成10年 5月31日 香川県消防協会長より第9分団が3ヶ年無火災表彰受賞
9月16日 名部戸地区林野火災発生、24ヘクタール焼失
- 平成12年 6月 1日 第8代団長 田中 保志
6月 7日 香川県消防協会長より第9分団が5ヶ年無火災表彰受賞
香川県消防協会長より第1分団が3ヶ年無火災表彰受賞
- 平成13年 6月 5日 香川県知事より竿頭綬受賞
- 平成14年 5月31日 香川県消防協会長より第6分団が3ヶ年無火災表彰受賞
12月14日 栗島紫谷山林野火災発生、17ヘクタール焼失
- 平成15年 6月 3日 香川県知事より表彰旗受賞
- 平成16年 6月 1日 香川県消防協会長より第6分団が5ヶ年無火災表彰受賞

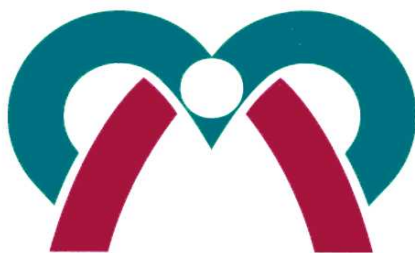
旧仁尾町消防団の沿革

明治17年 10月 1日 仁尾村消防組(私設)
明治27年 2月 1日 仁尾村消防組(公設)
大正13年 4月 1日 仁尾町消防組(町制施行)
昭和 3年 11月28日 観音寺警察部長表彰
昭和 6年 12月28日 初代団長 塩田 要
昭和 9年 3月 香川県警察部長表彰
昭和14年 4月 1日 仁尾町警防団と改組
昭和22年 3月 7日 仁尾町消防団と改組
昭和25年 10月10日 消防ポンプ自動車トヨタ1951年式配備
10月28日 第2代団長 森 清義
昭和26年 1月17日 香川県消防協会長より竿頭綬受賞
昭和31年 3月31日 消防ポンプ自動車ニッサンA級配備
5月 5日 香川県消防操法大会四輪自動車部優勝
昭和32年 5月12日 香川県消防操法大会四輪自動車部準優勝
5月12日 香川県知事表彰
昭和33年 2月11日 日本消防協会より表彰旗受賞
9月28日 第1回四国消防操法大会優勝
昭和34年 2月 8日 第3代団長 中橋 正希
昭和35年 10月30日 消防ポンプ自動車トヨタA2級配備
昭和37年 3月 7日 消防庁長官より竿頭綬受賞
昭和43年 12月23日 消防ポンプ自動車トヨタA2級配備
昭和44年 12月25日 積載車ミニエース配備
昭和45年 3月 3日 消防庁長官より竿頭綬受賞
10月15日 第2回全国消防操法大会出場
昭和50年 1月 1日 第4代団長 曾根 将夫
6月 5日 積載車ダイハツデルタ配備
9月10日 三豊郡消防操法大会優秀賞
10月11日 香川県消防操法大会優秀賞(竿頭綬)
10月30日 消防ポンプ自動車トヨタSF-56配備
昭和51年 5月 5日 積載車ニッサンサニーキャブトラック配備
11月10日 香川県知事感謝状受賞
昭和52年 6月 8日 全国防災協会長表彰
昭和53年 1月 1日 第5代団長 曾根 建夫
昭和54年 9月23日 香川県消防操法大会優良賞(竿頭綬)
昭和55年 1月 1日 第6代団長 中井 正勝
昭和59年 1月 1日 第7代団長 浪越 利幸
11月18日 消防ポンプ自動車CD-1型配備
昭和61年 2月 4日 日本消防協会長より竿頭綬受賞
昭和61年 9月13日 積載車マツダボンゴワイドロー配備
昭和61年 9月14日 香川県消防操法大会優良賞(竿頭綬)
昭和63年 4月 1日 第8代団長 真鍋 啓三
5月25日 香川県知事より表彰旗受賞
平成 2年 5月22日 香川県知事より竿頭綬受賞
平成 3年 10月31日 消防ポンプ自動車BD-1型配備
平成 4年 1月 1日 第9代団長 藤田 安
平成 7年 1月 1日 第10代団長 西山 義夫
9月17日 香川県消防操法大会優秀賞(竿頭綬)
12月26日 消防ポンプ自動車CD-1型配備
平成 8年 3月19日 積載車トヨタハイエース配備
平成12年 4月 1日 第11代団長 楠本 久雄
7月31日 仁尾町防災センター 落成
平成14年 2月 8日 日本消防協会より表彰旗受賞
平成16年 9月12日 香川県消防操法大会優秀賞(竿頭綬)
平成17年 2月10日 日本消防協会長より竿頭綬受賞

旧財田町消防団の沿革

昭和14年		警防団令により消防組の名称を警防団と改称
昭和22年	8月 1日	初代団長 大矢 訶吉
	8月 9日	消防団発足 団員250名 腕用手押ポンプ10台
昭和27年		可搬動力ポンプを第3分団へ配属
昭和28年		可搬動力ポンプを第4・8分団へ配属
昭和29年	4月 1日	第2代団長 滝頭 春雄
		可搬動力ポンプを第2分団へ配属
昭和33年	4月 1日	第3代団長 久保 一実
	4月	可搬動力ポンプを第1分団へ配属
	6月	可搬動力ポンプを第5分団へ配属
	9月	可搬動力ポンプを第6分団へ配属
昭和35年	2月	可搬動力ポンプを第7分団へ配属
昭和36年	10月	可搬動力ポンプを第6分団へ配属
昭和37年	4月 1日	第4代団長 岡崎 政廣
昭和39年	10月	可搬動力ポンプを第1分団へ配属
昭和43年	3月 7日	日本消防協会長より竿頭綬受賞
昭和47年	12月 1日	第5代団長 松本 勝
昭和51年	7月 1日	第6代団長 行成 利徳
		消防積載車を第6分団へ配属
昭和53年	5月26日	香川県知事より竿頭綬受賞
		消防積載車を第1・2・3分団へ配属
昭和54年		消防ポンプ車を本部分団へ配属
		消防積載車を第4・5・7・8分団へ配属
昭和55年	5月17日	香川県知事より表彰旗受賞
		消防積載車を第1・6分団へ配属
昭和58年	3月 2日	消防庁長官より竿頭綬受賞
平成 元年	2月10日	日本消防協会長より表彰旗受賞
平成 4年	4月 1日	第7代団長 角岡 昌
	8月	本部分団 消防ポンプ車を更新
平成 5年	2月16日	日本消防協会長より竿頭綬受賞
平成 6年	5月26日	香川県知事より竿頭綬受賞
	11月 4日	小型ポンプ積載車を第1分団1部及び第2分団へ配属
平成 7年	10月22日	小型ポンプ積載車を第3分団及び第4分団へ配属
平成 8年	10月26日	小型ポンプ積載車を第5・7・8分団へ配属
平成 9年	1月12日	三豊地区消防連合会会長より竿頭綬(1年間無火災)受賞
	10月24日	小型動力ポンプ積載車を第1分団2部及び第6分団2部へ配属
平成11年	1月10日	三豊地区消防連合会会長より竿頭綬(1年間無火災)受賞
	3月 5日	消防庁長官より表彰旗受賞
平成12年	9月10日	香川県消防操法大会(小型ポンプの部)優勝
平成13年	1月14日	三豊地区消防連合会会長より竿頭綬(1年間無火災)受賞
平成16年	1月11日	三豊地区消防連合会会長より竿頭綬(1年間無火災)受賞
	4月 1日	第8代団長 谷川 利行
平成17年	3月 6日	本部分団 消防ポンプ車を更新

組 合 規 約



三觀広域行政組合徽章

三 観 広 域 行 政 組 合 規 約

(昭和46年 3月20日 香川県知事許可)

変更(昭和47年 3月14日 香川県知事許可)	(昭和49年 3月 1日 香川県知事許可)
(昭和49年 3月28日 香川県知事許可)	(昭和53年 3月28日 香川県知事許可)
(昭和54年 2月27日 香川県知事許可)	(昭和55年 2月28日 香川県知事許可)
(昭和58年11月14日 香川県知事許可)	(昭和61年 4月 1日 香川県知事許可)
(平成 元年11月24日 香川県知事許可)	(平成 4年 1月30日 香川県知事許可)
(平成 5年 2月12日 香川県知事許可)	(平成 7年 3月 2日 香川県知事許可)
(平成 7年11月20日 香川県知事許可)	(平成 8年 4月24日 香川県知事許可)
(平成 8年12月13日 香川県知事許可)	(平成 9年11月10日 香川県知事許可)
(平成10年 8月11日 香川県知事許可)	(平成11年 4月 1日 香川県知事許可)
(平成12年 2月28日 香川県知事許可)	(平成12年 4月 1日 香川県知事許可)
(平成13年 4月 1日 香川県知事許可)	(平成14年 4月 1日 香川県知事許可)
(平成15年 1月21日 規 約 第 1 号)	(平成15年12月22日 規 約 第 2 号)
(平成16年 4月 1日 香川県知事許可)	(平成16年 7月23日 香川県知事許可)
(平成18年 3月23日 香川県知事許可)	(平成19年 3月28日 香川県知事許可)
(平成20年 3月31日 規 約 第 1 号)	(平成21年 1月15日 香川県知事許可)
(平成21年10月 9日 香川県知事許可)	(平成22年 3月15日 香川県知事許可)
(平成24年 3月30日 香川県知事許可)	(平成25年 3月19日 香川県知事許可)
(平成27年 2月 3日 香川県知事許可)	(平成27年10月20日 香川県知事許可)
(平成30年 1月19日 香川県知事許可)	

(名称)

第1条 この組合は、三観広域行政組合（以下「組合」という。）という。

(構成市)

第2条 組合は、観音寺市及び三豊市（以下「関係市」という。）をもって組織する。

(共同処理する事務)

第3条 組合は、次の各号に定める事務を共同処理する。

- (1) 関係市より移管された、関係市における滞納市税等の整理に関する事務。
- (2) 消防組織法(昭和22年法律第226号)及び消防法(昭和23年法律第186号)に定める消防事務(水利施設の設置及び管理並びに非常備消防に関する事務を除く。)
- (3) ガス事業法(昭和29年法律第51号。以下この号において「法」という。)に基づく事務のうち、次に掲げる事務。
 - ア 法第46条第1項の規定による報告徴収
 - イ 法第47条第1項の規定による立入検査
 - ウ 法第47条の2第1項の規定による命令
- (4) 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律(昭和42年法律第149号。以下この号において「法」という。)に基づく事務のうち、次に掲げる事務。
 - ア 法第16条の2第2項の規定による命令(イの届出に係るものに限る。)
 - イ 法第38条の3の規定による届出の受理

ウ 法第 8 2 条第 1 項の規定による報告徴収

エ 法第 8 3 条第 1 項の規定による立入検査等

オ 法第 8 3 条第 3 項の規定による立入検査等（イの届出に係るものに限る。）

カ 法第 8 3 条の 2 第 1 項の規定による命令

- (5) 在宅当番医制事業の委託に関する事務。
- (6) 病院群輪番制病院事業の補助金に関する事務。
- (7) 小児救急医療支援事業の補助金に関する事務。
- (8) 救急勤務医支援事業の補助金に関する事務。
- (9) 電子計算センターの設置及び運営管理に関する事務。
- (10) 戸籍事務に係る電子情報処理組織の管理に関する事務。
- (11) ごみ処理施設の設置及び運営管理に関する事務。
- (12) 圏域内における地域情報化の推進及びこれに関する事務。
- (13) 介護保険法（平成 9 年法律第 1 2 3 号）に基づく事務のうち、介護認定審査会における要介護認定及び要支援認定並びに生活保護法（昭和 2 5 年法律第 1 4 4 号）に基づく介護扶助のための要介護状態等の審査判定業務に関する事務。
- (14) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成 1 7 年法律第 1 2 3 号）に基づく事務のうち、介護給付費等の支給に係る審査判定業務に関する事務。
- (15) 市町広域連携事業に関する事務。

（事務所の位置）

第 4 条 組合の事務所は、観音寺市坂本町一丁目 1 番 7 号に置く。

（組合の議会）

第 5 条 組合の議会の議員（以下「組合議員」という。）の定数は 1 6 人とし、その選出区分は次のとおりとする。

観音寺市 8 人

三 豊 市 8 人

2 前項の組合議員は、関係市議会において、その議会の議員のうちから選挙する。

3 組合議員に欠員を生じたときは、その組合議員を選挙した関係市議会は、直ちに補欠選挙を行わなければならない。

（組合議員の任期）

第 6 条 組合議員の任期は、関係市の議員としての任期による。

（管理者及び副管理者）

第 7 条 組合に、管理者及び副管理者 1 人を置く。

2 管理者及び副管理者は、関係市長において、関係市の長のうちから選挙する。

3 管理者及び副管理者の任期は、それぞれ関係市の長としての任期による。

（会計管理者）

第 8 条 組合に、会計管理者を置く。

2 会計管理者は、関係市の会計管理者のうちから管理者が任命する。

（監査委員）

第 9 条 組合に、監査委員 2 人を置く。

2 監査委員は、管理者が組合議会の同意を得て、識見を有する者及び組合議員のうちから各 1 人を選任する。

3 監査委員の任期は、識見を有する者にあつては4年とし、組合議員のうちから選任された者にあつては、当該組合議員としての任期による。

(事務局)

第10条 組合に事務局を置く。

(職員)

第11条 組合に、事務局長その他の必要な職員を置く。

2 前項の職員は、法令に特別の定めのある者のほか、管理者が任免する。

(組合の経費の支弁方法)

第12条 組合の経費は、関係市の負担金、組合財産及び事業より生ずる収入、法令により組合に属する収入、その他の収入をもってあてる。

2 前項に規定する関係市の負担金の負担割合は、別表に定めるところによる。

3 前項の規定にかかわらず特別の事情があるときは、関係市の負担金の負担割合の全部又は一部について、組合議会の議決を経て定める方法により、関係市に分賦することができる。

附 則

この規約は、香川県知事の許可のあった日から施行する。ただし、第3条第4号及び第5号の規定については、昭和46年4月1日から施行する。

附 則

この規約は、香川県知事の許可のあった日から施行する。ただし、第3条第6号の規定は、昭和47年4月1日から施行する。

附 則

(施行日)

1 この規約は、香川県知事の許可のあった日から施行する。ただし、改正後の規約第3条第7号中「養護老人ホームの運営管理に関する事務」及び別表中「養護老人ホームの運営管理費」の規定は、三豊老人ホーム事務組合の解散の日の翌日から施行する。

(建設費の特例)

2 改正後の規約第3条第7号により設置される養護老人ホームの建設費については、別表の規定にかかわらず、設置初年度建設計画(100床)に係る当該建設費の負担割合は、次のとおりとする。

建 築 費	建築関係費	100床建築関係費中50床分については、全額観音寺市が負担し、残り50床分については、関係市町が人口割により分担する。
	用地関係費	200床建築用地関係費中50床分については、全額観音寺市が負担し、残りの用地関係費については、関係市町が人口割により分担する。

附 則

この規約は、昭和49年4月1日から施行する。

附 則

この規約は、香川県知事の許可のあった日から施行する。ただし、改正後の規約中、視聴覚ライブラリーに関する規定は、昭和53年4月1日から施行する。

附 則

この規約は、香川県知事の許可のあった日から施行し、昭和53年度の事業から適用する。

附 則

この規約は、昭和 5 5 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規約は、香川県知事の許可のあった日から施行し、昭和 5 8 年度の事業から適用する。

附 則

この規約は、香川県知事の許可のあった日から施行する。

附 則

この規約は、香川県知事の許可のあった日から施行する。

附 則

この規約は、香川県知事の許可のあった日から施行する。

附 則

この規約は、平成 5 年 4 月 1 日から施行する。ただし、改正後の規約中特別養護老人ホーム、老人短期入所事業に係る施設、老人デイサービスセンター及び在宅介護支援センターの運営管理費の規定の施行期日は規則で定める。

附 則

この規約は、平成 7 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規約は、香川県知事の許可のあった日から施行する。

附 則

この規約は、香川県知事の許可のあった日から施行する。

附 則

この規約は、平成 9 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規約は、香川県知事の許可のあった日から施行する。

附 則

この規約は、香川県知事の許可のあった日から施行する。

附 則

この規約は、香川県知事の許可のあった日から施行する。

附 則

この規約は、香川県知事の許可のあった日から施行する。

附 則

この規約は、香川県知事の許可のあった日から施行する。

附 則

この規約は、香川県知事の許可のあった日から施行する。

附 則

この規約は、平成 1 4 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規約は、公布の日から施行し、平成 1 4 年 1 2 月 9 日から適用する。

附 則

この規約は、公布の日から施行する。

附 則

この規約は、平成１６年４月１日から施行する。

附 則

この規約は、香川県知事の許可のあった日から施行する。

附 則

この規約は、平成１８年４月１日から施行する。

附 則

（施行期日）

１ この規約は、平成１９年４月１日から施行する。

（経過措置）

２ この規約の施行の際現に在職する収入役は、その任期中に限り、なお従前の例により在職するものとする。この場合においては、変更後の第８条の規定は、適用しない。

附 則

この規約は、公布の日から施行し、平成２０年２月１日から適用する。

附 則

この規約は、平成２１年４月１日から施行する。

附 則

この規約は、香川県知事の許可のあった日から施行し、平成２１年４月１日から適用する。

附 則

この規約は、平成２２年４月１日から施行する。

附 則

この規約は、平成２４年４月１日から施行する。

附 則

この規約は、平成２５年４月１日から施行する。

附 則

この規約は、平成２７年４月１日から施行する。

附 則

この規約は、香川県知事の許可のあった日から施行する。

附 則

この規約は、香川県知事の許可のあった日から施行する。

別表（第１２条関係）

関係市が負担する負担割合

区 分		割 合
市 税 等 の 滞 納 整 理		均 等 割 2,000,000円
		滞納整理済額割 20%
		人口割 均等割、滞納整理済額割、その他の収入をもってしても、なお歳出に不足する額
消 防		地方交付税の消防費基準財政需要額割
ガ ス 事 業 法 に 基 づ く 事 務		処理件数割
液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律に基づく事務		処理件数割
組合が譲渡した養護老人ホームの建替え又は改修に要する経費の補助に関する事務		均 等 割
在 宅 当 番 医 制 事 業		均 等 割
病 院 群 輪 番 制 病 院 事 業		均 等 割
小 児 救 急 医 療 支 援 事 業		均 等 割
救 急 勤 務 医 支 援 事 業		均 等 割
電 子 計 算 セ ン タ ー	建 設 費	全額 観音寺市
	運営管理費	人口割。ただし、いずれかの市のみの仕様に係る費用にあつては当該市の負担。
戸 籍 事 務 に 係 る 電 子 情 報 処 理 組 織		人口割。ただし、いずれかの市のみの仕様に係る費用にあつては当該市の負担。
ご み 処 理 施 設	運営管理費	実 績 割
	施設閉鎖に伴う費用	人 口 割
介 護 認 定 審 査 及 び 介 護 扶 助 の た め の 要 介 護 状 態 等 の 審 査 判 定		30%均等割、70%人口割（65歳以上）
介 護 給 付 費 等 の 支 給 に 係 る 審 査 判 定		30%均等割、70%審査件数割
そ の 他 組 合 の 運 営 管 理 費		均 等 割

備考 人口割に用いる人口は、当該予算の属する会計年度の地方交付税の算定に用いる人口による。

消 防 年 報

(令和2年度)

編集	三親広域行政組合消防本部総務課
発行	三親広域行政組合消防本部
住所	香川県観音寺市坂本町一丁目1番7号
電話	0875(24)0119
ホームページ	https://fdsankan.jp/
メールアドレス	soumu@fdsankan.jp